

管理者ガイド



コピーライト

©2006-2013 Celartem, Inc., doing business as Extensis. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断 複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensis の書面による承諾なし に複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者 に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

Extensis は Extensis の商標です。Extensis のロゴ、Font Sense、Font Vault、NetMediaMAX、Portfolio、Portfolio Server、Suitcase、Suitcase Fusion、Universal Type、Universal Type Client、Universal Type Core は Extensis の商標です。NetPublish、Portfolio NetPublish、Type Server、Universal Type Server、WebINK は Extensis の登録商標です。Celartem、Celartem、Inc.、Celartem のロゴは、Celartem, Inc. の商標 です。Adobe、Acrobat、Illustrator、InCopy、InDesign、Photoshop、PostScript、XMP は Adobe Systems, Incorporated の商標です。Apple、 AppleScript、Bonjour、Bonjour ロゴ、iBooks、Mac OS、OS X、QuickTime、QuickTime ロゴ、Universal ロゴ、Xsan は、Apple Inc. の登録 商標です。IOS は、米国およびその他の国における登録商標または Cisco の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。 Microsoft、Internet Explorer、PowerPoint、SQL Server、Visual Basic、Windows、Windows Vista は Microsoft Corporation の登録商標です。 Intel、Intel Core、Pentium、Xeon は Intel の登録商標です。Oracle、Java は Oracle と関連会社の登録商標です。Google は Google Inc の商標 です。Apache Tika、Apache Tomcat、Tomcat は Apache Software Foundation の商標です。Quark、QuarkXPress、XTensions、 QuarkXTensions は、Quark Inc.の商標です。IBM、DataMirror は International Business Machines Corporation の商標です。その他全ての商 標は各社が所有しています。Panasonic は Panasonic 株式会社の登録商標です。All other trademarks are the property of their respective owners.

MediaRich CORE Content On-demand Repurposing Engine © Copyright 2004–2013 Automated Media Processing Solutions, Inc. dba Equilibrium. All rights reserved. MediaRich CORE は自動コンテンツ処理、自動コンテンツ配信管理、コンテンツダイナミックビジュアライゼ ーション、帯域幅やデバイスによるビジュアルメディアの最適化、デジタルメディアアセットのダナミックオンデマンド生成について、米国 パテント番号 6,792,57、6,964,009、8381110 を取得しています。他のパテントは申請中です。

MediaRich と Equilibrium は Automated Media Processing Solutions, Inc.の登録商標です。MediaScript と AMPS は Automated Media Processing Solutions, Inc.の商標です。

Extensis は、製品の購入日より 30 日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が 無いことを保証します。製品を Extensis から直接購入し、30 日以内に障害が発生した場合、ディスクを Extensis に返送いただければ交換い たします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前に Extensis で登録する必要があります。販売店から購入した Extensis 製品は販売 店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利 益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、 「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensis は、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合 性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



Portfolio Desktop Client 11.0.0

目次

コピーライト	
目次	
Portfolio Server へようこそ	
新機能	
これまでのリリース	
はじめに	9
Portfolio Server インストール概要	
Portfolio Server のシステムの必要条件	
Portfolio Server のインストール	
Portfolio Server のアップグレード	
Portfolio Server Admin アプリケーションを開く	
Portfolio Server Admin アプリケーションを使う	
管理者パスワードの変更	
ライセンス番号の入力	
サーバーのステータス	
Portfolio Server の起動、停止、再起動	
ポート	
管理ログ	
カタログ	
カタログの作成	
画面プレビュー	
画面プレビューの有効化	
カタログの名前変更	
カタログの種類	
カタログの種類のカスタム作成	
カタログをオフラインにする	
カタログの削除	
ユーザー	
ユーザーの追加	
新規ユーザーデフォルト	
ユーザーのカタログメンバシップの付与	
ユーザーアクセスレベル	
アクセスレベルとウェブクライアント	
アクセスレベルとデスクトップクライアント	
アクセスレベルの設定	
ユーザーの編集	
ユーザーの削除	

ディレクトリサービス	
ディレクトリサービス概要	
ディレクトリサービスの設定	
ディレクトリサービスマッピングの表示と編集	
Portfolio とディレクトリサービスの同期	
ディレクトリサービス設定の削除	
カタログの管理	
カタログのカスタマイズ	
オートシンク	
Portfolio Server の管理	
Portfolio Server のバックアップ	
Portfolio Server とアセット処理のログ	
設定ファイル	
ウェブクライアントの管理	
ウェブクライアントのデフォルト表示設定	
クイック検索パラメータの設定	
クライアントアクセスレベルのカスタマイズ	
ワークフォルダ	
ウェブクライアントログインページのカスタマイズ	63
NetMediaMAX	
NetMediaMAX と Web クライアント	
NetMediaMAX と NetPublish	
NetMediaMAX と API	
NetMediaMAX と Media Engine クラスタ	
NetMediaMAX の活用事例	
NetMediaMAX インストール概要	
NetMediaMAX システム必要条件	
外部 Media Engines のインストール	
Media Engines のネットワークアクセス	
外部 Media Engines の設定	
Media Engine の整合性	
MediaScripts の作成	
外部 Media Engines の再起動	
Portfolio Enterprise Edition	
SQL Connect	
LDAP ユーザー管理と同期	
Portfolio API	
Portfolio Enterprise Edition の動作環境	
Portfolio Enterprise Solution Pack のインストール	
Mac OS X 上での MySQL の設定	
Windows での MySQL セットアップ	
Windows での SQL Sever 設定	
Windows での Oracle 設定	
Windows への ODBC ドライバのインストール	

SQL データベースの公開	
SQL データベース管理ツール	
Portfolio NetPublish	
Portfolio NetPublish インストール概要	
NetPublish アシスタント	
NetPublish ファイルロケーション	
NetPublish Server の設定	
NetPublish サイト管理	
NetPublish サイトの編集	
Portfolio Server API	
技術付録	
デフォルトカラープロファイルを変更	
用語集	
連絡先	
索引	

Portfolio Serverへようこそ

Portfolio Server はパワフルで容易に実行できる、デジタル資産管理およびメディア配信ソリューションです。ドキュメント、写真、オーディオ、ビデオファイルなどを一カ所で管理し、重要なファイルと関連情報を一元管理できるようになります

Portfolio Server には、ブラウザで利用できるサーバー管理ウェブアプリケーションとウェブクライアント、Mac/Windows 用のデスクトップ クライアント、Express アプリケーションが含まれています。

- サーバー管理アプリケーションでは、サーバー管理、カタログの作成、ユーザーアカウントの作成と管理、アクセス権が設定できます。
- Portfolio ウェブとデスクトップクライアントでは、カタログ内のアセット管理、アセットの追加、メタデータの適用、検索、様々なフォーマットに変換してのダウンロードなどを行えます。Portfolio Express アプリケーションでは、アプリケーションを超えてアセットをドラッグ&ドロップすることできます。

各アプリケーションには検索可能なオンラインヘルプが用意されています。ブラウザベースのサーバー管理とウェブクライアントアプリケー ションは、ブラウザウィンドウの右上の**ヘルプ**をクリックしてください。デスクロップクライアントアプリケーションでは、**ヘルプ**メニュ ーからヘルプを開くことができます。

ヘルプページでは、画面左のパネルにコンテンツや目次が用意されています。また特定の用語を検索することもできます。また多くのページ には関連トピックへのリンクも用意されています。

Portfolio Server 管理

Portfolio Server Admin アプリケーションは、Flash が動くウェブブラウザで動きます。ネットワーク設定によってはネットワークのどこから でも Portfolio Server の管理が行えます。

Portfolio Server 管理アプリケーションで行える基本的な機能:

- ライセンス: (ページ 19) Portfolio Server にシリアル番号を入力します。
- カタログ作成: (ページ 32) デジタルアセットを保存、検索、利用をするための設定
- ユーザーアカウント作成 (ページ 37)
- **ユーザーアクセス管理**(ページ38)
- **サーバー設定管理**(ページ 21)

新機能

新規サポートファイルフォーマット

我々は Panasonic P2 MXF ビデオのサポートだけでなく、新しい Camera Raw 形式を追加しました。

サポートしているファイルフォーマットやカメラは、Extensis ウェブサイト(http://www.extensis.com/downloads/documents/supportedfile-formats-camera-models/)から"Supported File Formats and Camera Models" PDF をダウンロードしてご確認ください。

PostScript ファイルフォーマットの取り扱いの向上

Portfolioの PDF、EPS、Adobe Illustrator ファイルのカタログ登録、変換が向上されました。

メタデータの拡張

Portfolio では最新(2012年9月)のIPTC Photo Metadata standard (http://www.iptc.org/IPTC4XMP/)と、PLUS (Picture Licensing Universal System; http://www.useplus.com) XMP ネームスペースをサポートしました。

ファイルパスからのキーワードの拡張

カタログに登録する際にファイルパスからキーワードを生成する機能にオプションが追加されました。デスクトップクライアントで行った設 定は、ウェブクライアント、デスクトップクライアント、オートシンクを使ってアセットを登録する際にも適用できます。

ウェブクライアントの変更

Portfolio ウェブクライアントでは、新ファイルフォーマットのカタログ登録とプレビューをサポート。Portfolio Server がサポートしている メタデータの表示と編集もサポートしました。ウェブクライアントでは以下の改善もされています:

- お気に入りオーガナイザ:特定のオーガナイザをお気に入りとして指定できます。すばやくアクセスできるように、オーガナイザ パネルの一番上に別のリストとして表示されます。
- オーガナイザパネルの改善:オーガナイザパネルが広がり、ギャラリーやフォルダ、お気に入りオーガナイザの表示領域が広くなり ました。
- フィルタされたフィールドと検索、ソート間の同期の改善:フィールドメニューがソートや検索機能で使えるようになりました。すべてのフィールドまたはフィルタされたフィールドリストの両方のフィールドセットが、プロパティパネルに表示されます。
- カスタマイズログインページ:システム管理者は、ウェブクライアントのログインページのカラーを変更できます。他のウェブサイトへリンクしている画像の追加も可能です(変更画面は Sever Admin アプリに用意されています)。
- 複数カタログへのアクセスパフォーマンスの改善:ウェブクライアントで、複数カタログへアクセスしている場合のパフォーマンス を向上し、カタログの更新がスムースに行われます。

デスクトップクライアントの変更

Portfolio デスクトップクライアントは新規ファイルフォーマットのカタログ登録とプレビューをサポートしました。Portfolio Server がサポートしているメタデータの表示と編集もサポートしました。

デスクトップクライアントでは、カタログ登録時にファイルパスからキーワードを書き出す際の新規オプションが用意されました。これまで はパスキーワードオプションしかありませんでしたが、ファイル名、上位フォルダ、フォルダ構造、ボリューム、サーバー名などのパスから、 アセットのキーワードとして書き出す内容を選択することができるようになりました。

これまでのリリース

- Portfolio Server API:新規の Application Programming Interface によって、Portfolio カタログメタデータ、アセット、プレビュー、 バッチ処理タスク、その他 Portfolio Server の機能を、ビジネスアプリケーションに統合するための簡単な手法を開発者に提供しま す。
- 新規ファイル処理とメディアサポートの拡張:新規のファイル処理モジュールが拡張され、PDF や Office ドキュメントなどの処理、 高速で信頼性の高い処理が可能になりました。
- ディレクトリサービス (LDAP) の統合:ネットワークログイン証明書を使ってカタログに接続できるよう、アクティブディレクト リやオープンディレクトリを使用します。
- ビデオサポートの拡張:プレビュークリップを自動的に作成し、ウェブクライアントやデスクトップクライアント上で再生が可能です。ビデオやオーディオフォーマットの XMP メタデータをサポート。NetPublish のテンプレートでビデオ再生とダウンロードをサポート。NetMediaMAX で様々な形式のフォーマットのダウンロード可能なビデオ生成をサポート。
- NetPublish テンプレートの改善:検索の改善、ビデオプレビューと再生、新規タブレット用テンプレートなどが追加されています。
- マルチスレッドオートシンク:これまで以上にカタログ登録の同時処理が可能になりました。
- ウェブクライアントの改善点: PDF コンタクトシートの作成、コンピュータやブラウザを問わずに表示の設定保存が可能、ショート カットメニューのサポート追加

リリースノート、システム動作環境、ドキュメントダウンロードは、以下を参照してください。ドキュメントダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html)

はじめに

Portfolio Serverインストール概要

Portfolio Server のインストールおよび設定に必要な手順の総括を説明します。

1. システムの必要条件を確認します。

Make sure your server and desktop systems meet or exceed the specifications listed in the System Requirements here: ドキュメント ダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html).

2. サーバーに必要なソフトウェアをインストールします。

サーバーに QuickTime をインストールする必要があります。また Adobe DNG フォーマットへの書き出しを行う場合には、Adobe DNG Converter をインストールします。

Macintosh ユーザー: これらのソフトウェアをインストールする場合は、Portfolio Server をインストールして利用するのと同じア カウントでコンピュータにログインして行う必要があります。

3. ファイアウォール設定を確認します。

サーバーとクライアントユーザーの間にファイアウォールがある場合には、Portfolio Server がクライアントとコミュニケーションで きるように、ファイアウォールにいくつかのポートを開ける必要があります。ファイアウォールがサーバー内にある場合は、ネット ワーク上の他のコンピュータがアクセスできるように必要なポートを開けてください。ファイアウォールがネットワークとインター ネットの間にある場合は、ネットワーク外のユーザーがサーバーにアクセスできるようにポートを開けてください。 ポートを開ける作業は Portfolio Server のインストールより*前に*行ってください。

4. Portfolio Server をインストールします。

Windows ユーザー:ドメインユーザーオプションかローカルシステムアカウントオプションのどちらを利用するかを事前に決定す る必要があります。

Macintosh ユーザー: Portfolio Server をインストールする場合は、OpenOffice.org や Adobe DNG Converter をインストールしたの と同じアカウントでコンピュータにログインして行う必要があります。

詳細は Portfolio Server のインストール 10 ページのを参照してください。

5. Portfolio Server のシリアル番号を入力します。

詳細はシリアル番号の入力 19 ページのを参照してください。

6. カタログを作成します。

詳細はカタログの作成 32 ページのを参照してください。

7. ユーザーを追加します。

Portfolio ユーザーアカウントを作成して、カタログへアクセスできるユーザー権限を設定します。 Portfolio アカウントの作成についての詳細は**ユーザーの追加** 37 ページのを参照してください。 Portfolio のためのディレクトリサービスアカウントについての詳細は**ディレクトリサービス** 43 ページのを参照してください。

8. Portfolio デスクトップクライアントをインストールします。

デスクトップクライアントにはいくつかのカタログ管理機能が搭載されています。サーバーマシンに Portfolio デスクトップクライ アントをインストールしておくと、サーバーマシンから直接設定が可能です。 You can find the installer on your Portfolio CD or DVD, or download it here: ドキュメントダウンロード

(http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html).

9. クライアントからカタログに接続します。

サポートしているブラウザを使ってウェブクライアントから接続することもできます。またはデスクトップクライアントアプリケー ションをインストールします。 インストールが完了したら、Portfolio デスクトップクライアントを使って、ワークフローにあわせて以下のような調整が可能です。

- カスタムフィールドの作成やデフォルトフィールドの設定を行います。
- カスタムメタデータマッピングを設定します。
- カタログ作成オプション設定を作成して同期フォルダに適用します。
- マスターキーワードリストを作成します。

詳細は Portfolio デスクトップクライアントユーザーガイドまたはヘルプを参照してください。

Portfolio Serverのシステムの必要条件

For the most up-to-date information about the latest release of Portfolio Server, please see: ドキュメントダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html).

または国内販売代理店のサイトをご覧ください:

http://www.swtoo.com/product/extensis/

Portfolio Serverのインストール

Windows へのインストール

Portfolio Server のインストーラをダウンロードして、インストーラをダブルクリックしガイドに従うとインストールできます。

Windows でのインストールプロセスの間、オプションでドメインユーザーアカウントを入力するか、ローカルシステムアカウントでインストールするか決めるように要求されます。ドメインユーザーアカウントオプションは、ネットワーク上の複数のユーザーが Portfolio カタロ グにアクセスする場合に推奨される便利な方法です。

インストールが完了すると、ご利用のウェブブラウザが自動的に起動して Portfolio Server Admin アプリケーションが開きます。

ドメインユーザーアカウントオプション

ドメインユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを使って、サーバーシステムにログインします。このアカウントは Portfolio Server を実行し、ブラウザベースの Portfolio Server Admin アプリケーションを提供するのに利用します。

このアカウントは、Portfolio Server のユーザーが利用できるようにするためのファイル(プレビューを含む)を含んでいるすべてのネット ワークロケーションに対して、そのアカウントが完全な読み取り/書き込みを行うアクセス権限を持っている必要があります。

このアカウントは、Portfolio Server のプログラムディレクトリやシステムファイルを完全に制御できるように、ローカルの管理者グループのメンバーでもある必要があります。

さらに、アカウントが Windows サービスとして実行されるためには、ローカルセキュリティポリシーコンソールの中で**サービスとしてログ** オン特権を与えられる必要があります。このオプションを利用するには、ドメインユーザーアカウント(できれば、Portfolio Server サービ ス専用のアカウント)を作成し、Portfolio Server のインストーラを実行する前に、そのアクセスを設定する必要があります。

注意

通常、ドメインユーザーアカウントは、ユーザーにパスワードの変更を頻繁に要求するシステムポリシーに従います。このオプションを使用する場合、使用するアカウントがこのポリシーに制約されないようにしてください。そうでない場合は、パスワードがサービスの認証に 失敗し、サーバーコンソールでパスワードの変更に対処するまで Portfolio Server が動作しません。

ローカルシステムアカウントオプション

Portfolio Server のユーザーが利用するためのすべてのファイルが置いてある Windows システムに Portfolio Server をインストールする場合 は、ネットワークアクセス用にドメインユーザーアカウントを設定する必要はありません。ローカルシステムオプションが選択できます。

Macintosh へのインストール

Portfolio Server のインストーラをダウンロードして、インストーラをダブルクリックし、ガイドに従うとインストールできます。 インストールが完了すると、ご利用のウェブブラウザが自動的に起動して Portfolio Server Admin アプリケーションが開きます。

Macintosh へのインストールの際に考慮すること

OS X では、Portfolio Server はインストールの際にユーザーとしてログインする必要があります。ユーザーアカウントは、カタログに登録し たファイルが置かれているすべてのネットワークロケーションに対して、読み/書きのアクセス権を持っている必要があります。

そのほかの注意点:

- リモートボリュームをマウントしてカタログに登録したい場合は、Portfolio Server が継続的にこのボリュームにアクセスできるよう に、これらのコンピュータにログインし続ける必要があります(コンピュータスクリーンはロックしても大丈夫です)。
- Macintoshのデスクトップクライアントから、Macintosh上のPortfolio Server に接続する場合は、Portfolio Server と同じリモート ボリュームをマウントする必要があります。これによってクライアントとサーバーシステムがアセットとプレビューに対して同じデ ィレクトリパスを持つことができます。
- Portfolio Server がポート 80 と 443 を利用するように設定している場合は特に、他の Web サーバーは使用停止にしたほうが良いで しょう。OS X Lion では、システム環境設定のウェブ共有のチェックを外します。Lion Server と Mountain Lion Server では、Server app を使ってウェブとウェブサイトサービスを停止します。

Web クライアントポート

デフォルトでは、Portfolio Server は、ウェブクライアント用のポートに 8090 と 9443 (SSL 用)を使用します。多くの場合、この設定を変 更する必要はありません。しかし、もし 1024 より低い数値に変更する場合には、Portfolio Server をルートユーザーアカウント以下にインス トールする必要があります。

Mac OS X の Server バージョン以外を利用する場合は、デフォルトではルートユーザーは利用できません。ルートユーザーを利用可能にする には、以下のサイトを参照してください:http://support.apple.com/kb/HT1528

Mac OS X Server では、デフォルトでルートユーザーが利用できます。

アンインストール

Windows で Portfolio Server をアンインストールする場合は、コントロールパネルを開いて、プログラムと機能をダブルクリックし、 Portfolio Server をクリックしてから、アンインストールをクリックして、画面の指示に従います。

Macintosh では、以下の場所にあるアンインストーラをダブルクリックしてください:

/アプリケーション/Extensis/Portfolio Server/applications/Uninstaller/Portfolio Server 11.0 Uninstaller.pkg インストーラの指示に従います。

Portfolio Serverのアップグレード

Portfolio 11 は、Portfolio Server 8.5~10.2 からアップグレードすることができます。Portfolio スタンドアロン版バージョン 8.5 のカタログ も利用できます。

ディレクトリサービスの準備(Enterprise 版)

Portfolio Server とアクティブディレクトリまたはオープンディレクトリサービスを統合して、ユーザーやグループを Portfolio カタログにマ ッピングできます。この機能を利用する場合は、Portfolio のユーザーアカウントをディレクトリサービスのアカウント名と同じになるよう にあらかじめ変更しておきます。 例:ユーザー「Joe Doakes」さんの Portfolio アカウント名が JoeDoakes で、彼のネットワークログイン名が jdoakes の場合は、Portfolio のアカウント名を jdoakes(または JDoakes、または JDOAKES)に変更します。ディレクトリサービスアカウント(または彼のアカウント が含まれているグループ)を Portfolio カタログにマッピングすると、Portfolio Server とディレクトリサービスが同期して、ディレクトリサ ービスアカウントが Portfolio アカウントとして利用できるようになります。

Portfolio Server のアップグレード

重要

Macintosh ユーザーは Portfolio Server をインストールしたアカウントと同じアカウントでログインする必要があります。

変更したポート値をコピーする

- 1. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左の一覧からポートをクリックします。
- 3. 現在の値とデフォルトの値を比較します。デフォルトから変更されている値があればメモしておきます。

サーバーを停止する

- 1. 左の一覧からステータスをクリックして、サーバーを停止をクリックします。
- 2. **ログアウト**をクリックします。
- 3. ウェブブラウザを閉じます。

既存のカタログのバックアップ

注意

SQL ベースのカタログを利用している場合は、利用している SQL データベースのアプリケーションを使ってすべてのファイルをバックアップしてください。

Portfolioの Catalogs フォルダを安全な場所にコピーします。デフォルトではフォルダは以下の場所にあります:

32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\Catalogs\

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\Catalogs\

Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/native-server/Catalogs/

他のソフトウェアのインストールまたはアップデート

 最新版の QuickTime を Apple の QuickTime ページ(http://www.apple.com/quicktime/download/)からダウンロードしてインスト ールします。

Macintosh ユーザー:Apple メニューからソフトウェアアップデートを選び、最新バージョンになっていることを確認してください。

- 最新版の Adobe Flash を Adobe 社のサイト(http://get.adobe.com/flashplayer/)からダウンロードしてインストールします。
- 最新の Adobe DNG Converter を Adobe 社の DNG ページ(http://www.adobe.com/products/dng/main.html) からダウンロードしてインストールします。

アカウント名 (Windows のみ)

- サービスコンソールを開きます。
 Windows 7、Windows Server 2008、Windows Server 2012 では、スタート > 管理ツール > サービスを開きます。
 Windows 8 デスクトップインターフェイスでは、WIN-Iキーを押して、コントロールパネルをクリック、アイコンで表示をクリック、管理ツールをクリック、そしてサービスをダブルクリックします。
 Windows 8 のタイルインターフェイスでは、WIN-Iキーを押して、タイルをクリック、管理ツールを表示をはいにセットします。
 タイルに戻ってから、サービスタイルをクリックします。
- 2. Portfolio Server の Name コラムを見て、Log On As コラムのドメインとアカウント名を確認してメモしておきます。

Portfolio Server のインストール

- Portfolio Server のインストーラを起動します。 インストーラの最新版はドキュメントダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html)Extensis のウェブサイトからダウンロードできます。 Windows ユーザー: Domain\User を訪ねる画面が表示されたら、上記でメモしておいたドメインとアカウント名を入力し、そのア カウントのパスワードを入力します。 Macintosh ユーザー: Portfolio Server インストーラは、PostgreSQL の共有メモリ設定をチェックします。設定が十分でない場合は インストーラが設定を変更するので、その後コンピュータの再起動とインストーラの再実行が必要です。
- インストールが完了すると、Portfolio Server Admin アプリケーションが起動します。
 ネイティブカタログはこの時点でアップグレードされます。SQL カタログはエンタープライズソリューションパックのライセンス入力が完了するとアップグレードされます。
- 3. administrator アカウントと、自分で設定したオリジナルのパスワードでログインします。
- 4. 画面左の**ライセンス**をクリックして、Portfolio のライセンス番号を入力します。
- 5. Enterprise Solution Pack や NetPublish を利用する場合は、そのライセンス番号を入力します。 NetMediaMAX を利用する場合はそのライセンスも入力します。ただし、このライセンスを入力すると Portfolio Server の再起動が求められます。そのため他の設定をすべて終えてからこのライセンスを入力すると良いでしょう。
- 6. ポート番号の変更が必要な場合は、画面左のポートをクリックして、上記でメモしておいたポート番号に変更します。
- 7. NetMediaMAX ソリューションパックライセンスをお持ちの場合は、左の**ライセンス**をクリックして、ライセンス番号を入力し Portfolio Server を再起動します。

Portfolio Server 8.5 からのアップグレード時に必要な特別な設定

ユーザーベースのカタログ

ユーザーベースのカタログは特に設定しなくても動きます。アップグレード後最初にカタログが公開された際に、ユーザーアカウントは Portfolio Server 11の新規フォーマットに変換されます。

古いユーザーアカウントを削除したり、ディレクトリサービスを使ってユーザーアカウントを再度追加することもできます。詳しくは、ディ レクトリサービス (43 ページの)を参照してください。

アクセスベースのカタログ

Portfolio Server 9 以降のバージョンでは、アクセスベースのカタログはサポートしていません。アクセスレベルとパスワードを使ってログ インしているユーザーがいるカタログがある場合は、これらのユーザー用にアカウントを追加する必要があります。各ユーザーには、カタロ グごとにアクセスレベルを設定することができます。詳しくは、ユーザー (37 ページの)を参照してください。

ディレクトリサービスを使ってユーザーアカウントを追加することもできます。詳しくはディレクトリサービス (43 ページの)を参照して ください。

同期フォルダ

カタログの中に同期している監視フォルダがある場合は、これらの監視フォルダをオートシンクフォルダとして再度追加する必要があります。 カタログが更新されると、すべてのアイテムはカタログ内に残りますが、オリジナルファイルにアクセスできるようにするには、監視フォル ダをオートシンクフォルダとして再度追加する必要があります。詳しくは、**オートシンク**(48 ページの)を参照してください。

Portfolio Standalone 8.5 のカタログを取り込む

Portfolio Server 11 では、自動的に Portfolio 8.5 のカタログを認識することができません。Portfolio Server 11 でこれらのカタログを使うに は、以下の場所に.fdb ファイルをコピーします:

```
64-bit Windows:
```

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\Catalogs\ 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\Catalogs\

```
Macintosh :
```

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/native-server/Catalogs/

新しい場所にカタログをコピーしたら、Portfolio Server を再起動します。

プレビューファイルの再作成

カタログのプレビューオプションを設定するには、プレビューオプション (33 ページの)を参照してください。

Portfolio デスクトップクライアントを使って、編集者レベル以上のユーザーアカウントからアカタログにアクセスして、カタログ内のすべてのアイテムを選択したら、アイテム>サムネールの再作成を選択します。これでカタログ内のすべてのアイテムのサムネールとプレビューファイルが再作成されます。

変更点

前バージョンからの変更点

- ブートしていないパーティションにも Portfolio Server をインストールできます。
- Portfolio NetPublish のライセンスを、他のライセンスと同様に、Server Admin アプリケーションから入力できます。
- ウェブクライアントアプリケーションのログイン画面をカスタマイズできるようになりました。Server Admin アプリケーションから 行えます。
- ウェブクライアントでは、オーガナイザパネルが常に開いています。ユーザーはポップアップメニューからカタログを選択できます。
 新しく組み込まれたオーガナイザでは、ユーザーはお気に入りとしてフォルダやギャラリーを追加しておくことができます。

Portfolio Server 9.5.x 以前からの変更点

 ウェブクライアントユーザーの表示設定は、各クライアントマシン内ではなく、Portfolio Server 内に保存されています。これによっ てどのコンピュータからログインしても一貫した環境で利用することができるようになっています。Portfolio Server のアップデート を実行すると、各クライアントが保存した個別の表示設定ではなく、デフォルトの表示設定に戻ります。 カタログ管理者は、デスクトップクライントを使わずに、ウェブクライアントを使ってデフォルトのウェブクライアント表示設定を 行うことができ、設定した表示をすぐに確認することができます。 ウェブクライアントのデフォルト表示設定についての詳細は、ウェブクライアントのデフォルト表示設定(59ページの)を参照し てください。

Portfolio Server 9.0.x または 9.1.x からの変更点

 Portfolio Server のプレビューファイルの扱いが変更されています。プレビューはサーバー上に保存され、各カタログごとにプレビュ ーファイルを自動生成する、またはしないを選択できます。このオプションを有効にすると、ウェブクライアントやデスクトップク ライアントから高速にプレビューを表示できますが、サーバー上のディスク容量を使います。このオプションをオフにすると、ウェ ブクライアントやデスクトップクライアントが要求した時にプレビューを作成するため、表示が遅くなりますが、ディスク容量は節 約できます。

Portfolio Server Admin アプリケーション内で、この設定を変更できます。カタログをクリックしてから、カタログを選択し、カタ ログ詳細情報を表示/編集をクリックしてから、プレビュータブをクリックします。

- Portfolio Server のログファイルが強化されています。すべて一カ所に保存されます。場所は Portfolio Server Admin アプリケーションの、グローバル設定/ログ設定パネルに表示されています。
- カタログを新規作成すると、そのカタログ用のオートシンクフォルダをサーバー上に作成することができます。これによってウェブ クライアントユーザーはすぐにカタログにアイテムを追加できるようになります。デフォルト設定は、Portfolio Server Admin アプ リケーションの、グローバル設定/デフォルトカタログパネルで変更することができます。
- Portfolio Server では Microsoft Office ドキュメントのメタデータ種類サポートを拡張しました。カタログに登録されたドキュメント を更新するには、デスクトップクライアントから、カタログ内の Office ドキュメントを選択してアイテム > プロパティの抽出を選択 します。
- ストリーミングプレビュー機能により、プレビューが保存されている場所へのダイレクトアクセスは必要ありません。
- Portfolio Server のインストーラが、サーバーデスクトップにショートカットアイコンを追加します。このアイコンをダブルクリック すると、Portfolio Server Admin アプリケーションが開きます。ポートが変更されていても開くことができます。
- Portfolio ウェブクライアントで複数のアイテムにフラグを立てられます。
- ウェブクライアントの表示モードで、アイテムの全画面表示とスライドショーが表示できます。

Portfolio Server Adminアプリケーションを開く

Portfolio Server Admin アプリケーションは、ブラウザベースの Flash アプリケーションです。Flash プラグインがインストールされたウェブ ブラウザで開くことができます。

Portfolio Server のインストーラでは、ウェブブラウザを起動してこのアプリケーションを起動する特別なアプリケーションが追加されます。 ブラウザのショートカットを使って開くのとは異なり、起動する際に、Portfolio 管理ポート情報を入手して起動します。デフォルトの管理 ポートを変更した場合には、アプリケーションは利用できますがブックマークは切れてしまいます。

Portfolio Server Admin ランチャーを使うにはデスクトップにある Portfolio Server Admin アイコンをダブルクリックします。

注意: Portfolio Server Admin ランチャーは、同じコンピュータ上にある Portfolio Server を見に行くので、ランチャーアプリケーションを他 のコンピュータにコピーすると利用できません。

ウェブブラウザで Portfolio Server Admin アプリケーションを開くには:

- 1. サポートされているウェブブラウザを開きます。
- アドレスのフィールドに、サーバーの IP アドレス、コロン、ポート番号の順に入力します。デフォルトのサーバー管理ポートは、
 8091 です(Tomcat Web App HTTP ポートとも呼ばれます)。例:http://192.168.0.1:8091 または http://localhost:8091
- 3. 管理者のユーザーおよびパスワードを入力します。デフォルトの管理者ユーザー名は administrator、パスワードは password です。 ユーザー名とパスワードは大文字/小文字を識別するので、PASSWORD と password は異なります。

注意

インストール後、できるかぎり速やかに管理者パスワードを変更することが重要です。

安全に接続する

Server Admin アプリケーションに SSL を使って安全に接続することもできます。これによってサーバーとブラウザ間が暗号化されたやり取 りになります。

注意

Portfolio Server はデフォルトで安全な(SSL)接続のための自己署名されたセキュリティ証明書を含みます。このセキュリティ証明書は、ユ ーザーが独自にカスタム証明書を入手することなく、Portfolio Server 管理インターフェイス(ウェブ)との安全な接続を可能とします。デフ ォルトのセキュリティ証明書を利用して接続を行う場合、ブラウザ上でいくつかのセキュリティの警告が表示されます。これらの警告は、自 己署名されたセキュリティ証明書の内容を示しますが、Portfolio Server との安全な接続関係を作成することができます。ほとんどのブラウザ は、ユーザーがセキュリティ例外を記録するか、自己署名されたセキュリティ証明書を信頼することができる機能を持っています。これによ って、それ以降に警告が表示されることを回避することができます。詳細は、ご利用のブラウザのドキュメントをご覧ください。セキュリティ の最適化については、カスタムセキュリティ(SSL)証明書の利用(25ページの)を参照してください。

Server Admin アプリケーションを安全に接続するには:

- 1. サポートされているウェブブラウザを開きます。
- 2. アドレスのフィールドに、サーバーの IP アドレス、セキュアポートを入力します(Tomcat Web App HTTPS ポート)。デフォルト のサーバー管理ポートは 9453 です。例:https://192.168.0.1:9453 または https://localhost:9453
- 3. 管理者のユーザーおよびパスワードを入力します。

表示言語を変える

ログインページの言語ドロップダウンメニューから Portfolio Server Admin アプリケーションの表示言語を設定することができます。 Portfolio Server Admin アプリケーションでは、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、日本語をサポートしています。

言語の設定を変えるには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションからログアウトします
- 2. メニューから表示言語を選択してログインします。

デフォルトの言語表示は英語になっています。

Portfolio Server Adminアプリケーションを使う

Portfolio Server Admin アプリケーションはブラウザで開きます。ユーザーインターフェイスは3つのセクションに分かれています。上部に 情報バー、左側に機能メニュー、右側に大きな面積を占めるワーキングエリアが表示されます。

• •	
B	C

Α	情報バー
В	機能メニュー
C	ワーキングエリア

サーバー管理アプリケーションを起動する方法については、**Portfolio Server Admin アプリケーションを開く**(15ページの)を参照してください。

情報バー

情報バーには、ログアウトや Server Admin ヘルプシステムへのリンクが用意されています。

- 右上のログアウトをクリックすると Server 管理アプリケーションからログアウトします。
- ログアウトの左にあるヘルプをクリックすると、Portfolio Server 管理アプリケーションヘルプシステムを新規ブラウザウィンドウ、 またはタブで開きます。

機能メニュー

機能メニューを使って、Portfolio Server 管理アプリケーションの各機能のページを開くことができます。クリックしたメニューの内容がワ ーキングエリアに表示されます。

ステータス

ステータスで設定できること:

- Portfolio Server の起動、停止、再起動(ページ 21)
- Portfolio Server のバージョン、Media Engine のバージョン、ユーザー接続数についての情報表示
- **管理ログ**の表示と消去(ページ 31)

カタログ

カタログで設定できること:

- カタログの作成(ページ 32)、削除(ページ 36)、カタログのオンライン/オフライン(ページ 35)
- カタログメンバシップの適用(ページ 38)、または除外(ページ 41)
- カタログに対する MediaScriptsの利用開始/停止(NetMediaMAX Solution Pack がインストールされている場合のみ) (ページ 72)
- カタログプレビューの詳細設定(ページ33)
- カタログ名の変更(ページ 34)

ユーザー

ユーザーで設定できること:

- Portfolio ユーザーアカウントの追加(ページ 37)、編集(ページ 41)、削除(ページ 41)
- Professional と Enterprise 版のユーザーは、ディレクトリサービスを使ったユーザーアカウントの作成が可能です。(ページ 37)

Enterprise 版ユーザーは、さらに**ディレクトリサービス**エリアで、ディレクトリサービスからユーザーアカウントをマップすることができま す。

ポート

ポートでは、他のコンポーネントと接続するための Portfolio Server が使うポートの表示と変更が行えます。 (ページ 24)

ライセンス

ライセンスでは、Portfolio Server、Enterprise Solution Pack、NetMediaMAX Solution Pack、NetPublish のライセンスの追加/削除が行えま す。 (ページ 19)

Media Engines

(この機能は、Portfolio NetMediaMAX Solution Pack がインストールされている場合のみ利用可能です)

Media Engines では、Media Engines の追加、編修、削除、停止が行えます。 (ページ 70)

ディレクトリサービス

(この機能は Portfolio Server Professional、または Portfolio Enterprise Solution Pack(追加機能あり)がインストールされている場合のみ 利用可能です)

ディレクトリサービスでは、Windowsのアクティブディレクトリ、または Mac OS X のオープンディレクトリなどの LDAP ディレクトリサ ービスと Portfolio Server の接続設定が行えます。(ページ 44)

Portfolio Server Professional ユーザーは、LDAP ユーザーアカウントから自動的に Portfolio ユーザーアカウントを作成する (ページ 37) が 行えます。Enterprise Solution Pack ユーザーはさらに、Portfolio カタログにディレクトリサービスのユーザーやグループをマップすること ができます。 (ページ 44)

アクセスレベル

アクセスレベルでは、各アクセスレベルでウェブクライアントやデスクトップクライアントのユーザーが利用できる機能を設定します。 (ページ 62)

グローバル設定

グローバル設定で設定できること:

- カタログに追加される新規ユーザーのデフォルトアクセスレベルの設定(ページ 38)
- デフォルトオートシンクフォルダの作成を行うかどうか、とその場所の設定(ページ 49)
- プレビューオプションの設定と作成場所(ページ 33)
- Portfolio Server のテンポラリワークフォルダの設定(ページ 62)
- Portfolio ログファイルに追加される情報レベル、保存されるログファイル数、ログファイルの保存場所の設定(ページ 55)
- ウェブクライアント用のカスタムログイン画面の作成(ページ63)

管理者パスワードの変更

最適なセキュリティを得るために、インストール後、できるかぎり速やかにサーバー管理者のパスワードを変更することが重要です。これに より、不正なユーザーがサーバー設定を変更できないようになります。

管理者パスワードを変更するには:

- 1. Portfolio Server Admin Web アプリケーションを開き、administrator でログインします。
- 2. メインメニューから、ユーザーリンクをクリックします。
- 3. ユーザーのリストから、administrator のユーザー名を選択します。
- 4. 詳細パネルで、パスワードおよびパスワードの確認フィールドに新しいパスワードを入力します。
- 5. 適用をクリックします。

重要:

新しい管理者パスワードをメモし、安全な場所に保管してください。紛失した管理者パスワードを取り戻すのは容易ではありません。管理者 モードはサーバー管理画面にアクセスして、ユーザーの追加や新規カタログ作成などの変更ができる*唯一の*アカウントです。管理者パスワー ドを紛失した場合は、Portfolio Server の完全な再インストールが必要になります。

ライセンス番号の入力

Portfolio Server とコンポーネントはそれぞれのライセンス番号を入力することで認証されます。ライセンス番号は Portfolio Server Admin ア プリケーションから入力します。

Portfolio Server のライセンスには、特定数のクライアントライセンスが含まれています。

追加機能用のライセンスを入力することもできます:

- Enterprise Solution Pack:ディレクトリサービスマッピングの拡張と SQL ベースのカタログを追加します。
- NetMediaMAX:メディア処理機能の拡張と外部のメディアエンジンを追加します。
- NetPublish:カタログやギャラリーコンテンツをウェブサイトからダイナミックに配信できます。
 注意: Portfolio Server の以前のバージョンでは、NetPublish Server はデスクトップクライアントアプリケーションからライセンス を入力していました。

ライセンス番号を入力するには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、ライセンスをクリックします。
- 3. + をクリックして新規ライセンスを追加します。
- 4. 有効なライセンス番号を入力し、ライセンスを追加をクリックします。

Enterprise ライセンス

Portfolio Enterprise Solution Pack には、外部の SQL データベースを使ってカタログを作成できるようにする、SQL Connect が含まれていま す。また LDAP ユーザー管理を拡張し、カタログのユーザーとグループの適用、ユーザーアクセスの制限、LDAP ユーザーとグループのカス タムアクセスレベル設定を可能にします。さらに Portfolio API により、Portfolio カタログへのアクセス用のカスタムソリューションを作成 できます。

NetMediaMAX ライセンス

NetMediaMAX Solution Pack は、Portfolio Server を拡張し、Portfolio ウェブクライアントで多彩なファイル形式へのファイル変換をサポートします。また、NetPublish ウェブサイトから**別名保存**で書き出しが可能です。さらに、別のサーバーで動く外部の Portfolio Media Engine を使って、ファイル処理を実行できます。

重要:NetMediaMAX のライセンス番号を入力した後には、手動で Portfolio Server を再起動して、NetMediaMAX の全機能を組み込む必要が あります。詳しくは Portfolio Server の再起動(ページ 21)を参照してください。

ー度ライセンスが入力されて再起動すると、Media Engines オプションが Portfolio Server Admin アプリケーションのメインウィンドウに表 示されます。さらに、スクリプトタブが各カタログのカタログ詳細パネルに表示され、適切なアクセスレベルを持っているウェブクライアン トユーザーに自動メニューが表示されます。これでウェブクライアントユーザーはカスタムスクリプトを使ってファイル書き出しが可能にな ります。詳しくは、スクリプトの有効化 72 ページの を参照してください。

NetPublish ライセンス

Portfolio NetPublish を使うと、Portfolio カタログ内のファイルをインターネットを通じてダイナミックに公開することができます。ユーザ ーはインターネット経由でファイルにアクセスでき、許可されていれば選択したファイルをダウンロードすることもできます。

ライセンスを解除する

他のコンピュータに移行したい場合など、Portfolio Server のライセンスを解除することができます。

ライセンスを解除するには:

- 1. ブラウザを起動して、Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メニュー左にある**ライセンス**をクリックします。
- 3. ライセンスパネルの右下にある をクリックして、ライセンスを削除します。
- 4. 確認画面ではいボタンをクリックします。

この変更を適用するには Portfolio Server の再起動が必要です。

サーバーのステータス

カタログの作成や管理、Portfolio Server の設定、ユーザーアクセス管理などの Portfolio Server の管理は、すべて Portfolio Server Admin ア プリケーションの内部で行われます。

いくつかのカタログオプションは、Portfolio デスクトップクライアントで行います。

Portfolio カタログに含まれるアイテムレコードはメタデータは、Portfolio デスクトップおよびウェブクライアント経由でアクセスされます。

Portfolio Serverの起動、停止、再起動

Portfolio Server は、インストール後システムを再起動すると自動的に起動します。手動で停止や再起動が可能です。

サーバーを起動する:

- 1. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin Web アプリケーションを開きます。
- 2. 左のメニューにある**ステータス**をクリックします。
- 3. **サーバーを起動**ボタンをクリックします。

サーバーを停止する:

- 1. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin Web アプリケーションを開きます。
- 2. 左のメニューにあるステータスをクリックします。
- 3. サーバーを停止ボタンをクリックします。

Portfolio Server の再起動

Portfolio Server の再起動が必要な場合は、正しい終了処理と再起動処理が実行されるよう、Portfolio Server Admin Web アプリケーションを 使ってください。

Portfolio Server を再起動する場合は、接続クライアントは自動的に現在開いているカタログの接続が解除されます。サーバーアの再起動が 完了すると、クライアントは通常通り接続できます。

Portfolio Server を再起動する:

- 1. Portfolio Server を再起動することをユーザーに知らせます。
- 2. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin Web アプリケーションを開きます。
- 3. 左のメニューにあるステータスをクリックします。
- 4. サーバーを再起動ボタンをクリックします。

サーバーハードウェアを物理的に再起動する場合は、サーバーシステムが起動後、Portfolio Server は自動的に再起動します。

注意

システムが再起動すると、Portfolio Server Admin Web アプリケーションは自動的に利用可能になります。Portfolio Server が起動していない場合でも、Portfolio Server Admin Web アプリケーションは利用することができます。

ポート

Portfolio Server では、サーバー上のさまざまなポートが必要になります。これらのポートは、クライアントの接続、サーバーの管理、および内部サーバー通信に使用されます。

Portfolio Server で使用されるすべてのポートが、サーバー上の他のアプリケーションと競合しないようにする必要があります。通常は、これらのポート設定を変更する必要はありません。

ホストシステムのファイアウォールおよびオペレーティングシステムで外部ポートを開く必要があります。ポートを開くプロセスは、オペレ ーティングシステムごとに異なります。詳細については、Mac OS X Server および Microsoft Windows のマニュアルを参照してください。

外部通信用のポート

Portfolio Server では、サーバーを管理し、Web クライアントやデスクトップクライアントの接続、Portfolio Media Engine 処理を実行するために、多くのポートを開く必要があります。

特にポート 9877 を開けておくことは重要です。このポートはデスクトップクライアントから Media Engine を使う際に利用します。もし Media Engine が違うサーバーで稼働している場合は、同様にこのポートが開いている必要があります。

これらのポートは、サーバーの管理とウェブクライアントの接続の両方に定期的に使用されます:

ポート	初期設定
JBoss HTTP / Web Service ポート(Web クライアントポート)	8090
Tomcat Web App HTTP ポート(サーバー管理ポート)	8091
Tomcat Web App HTTPS ポート(SSL サーバー管理ポート)	9453
ネイティブサーバーコンポーネントポート	2903
MediaRich Embedded Server ポート	9877

セキュア接続注意:

Portfolio Server は、Portfolio Server Admin Web インターフェースへの安全な(SSL)接続のためのデフォルト、自己署名されたセキュリティ証明書を含みます。このセキュリティ証明書は、ユーザーが独自にカスタム証明書を入手することなく、Portfolio Server 管理インターフェイス(Web)との安全な接続を可能とします。デフォルトのセキュリティ証明書を利用して接続を行う場合、ブラウザ上でいくつかのセキュリティの警告が表示されます。これらの警告は、自己署名されたセキュリティ証明書の内容を示しますが、Portfolio Server との安全な接続関係を作成することができます。ほとんどのブラウザは、ユーザーがセキュリティ例外を記録するか、自己署名されたセキュリティ証明書を信頼することができる機能を持っています。これによって、それ以降に警告が表示されることを回避することができます。詳細は、ご利用のブラウザのドキュメントをご覧ください。

JBoss HTTP /Web サービスポート(Web クライアントポート)

これは、ウェブクライアントのユーザーがサーバーに接続する際、またはカスタムセキュリティ証明書を利用している場合、SSL 暗号で利用 するポートです。暗号ポートはウェブクライアントと Portfolio Server 間の暗号化を実行するために若干パフォーマンスが落ちます。ファイ アウォール内の社内のネットワークで利用する場合は、標準的なウェブクライアントポートを使って直接接続したいと思うかもしれませんが、 SSL ウェブクライアントの接続は外部のネットワークからのみ接続が可能です。

重要:

SSL ウェブクライアント接続は、独自に取得するセキュリティ証明書が必要になります。SSL ウェブクライアント接続では、デフォルトの自 己署名されたセキュリティ証明書の利用をサポートしていません。

Web クライアントがサーバーにログインするには、次の情報が必要です:

- サーバー IP アドレスまたは DNS 名
- Web クライアントポート番号。デフォルトのポート設定は、8090 です。カスタムセキュリティ証明書を利用している場合は、セキュアな (SSL) Web クライアントのデフォルトのポート設定は 9443 です。
- Portfolio ユーザー名とパスワード

Tomcat Web App r r h (Portfolio Server Admin r h)

このポートは、Portfolio Server Admin Web インターフェイスに接続している管理者が Portfolio Server を管理するのに使用されます。デフ ォルトのポート設定は、HTTP**8091、**または HTTPS **9453**です。

Portfolio Server Admin アプリケーションにログインするには、次の情報が必要です:

- サーバーの IP アドレスまたは DNS 名
- Portfolio Server Admin ポート番号。Server Admin ポート(デフォルト値 8091)、またはセキュア(SSL) Server Admin ポート(デフォルト値 9453)
- 管理者のアカウント名およびパスワード

ネイティブ Server ポート (Portfolio デスクトップクライアント接続ポート)

Portfolio デスクトップクライアントが Portfolio Server と接続するには、2903 ポートが使用されます。このポートは、クライアントとサーバー間の通信および接続に使用されます。

Portfolio デスクトップクライアントがサーバーにログインするには、次の情報が必要です:

- サーバーの IP アドレスまたは DNS 名
- クライアントのアカウント名およびパスワード

注意

ネイティブのサーバーコンポーネントがデフォルト設定から変更された場合、Portfolio デスクトップクライアントは、Portfolio Server に接 続する方法を変更する必要があります。この変更を行うには、Portfolio デスクトップクライアント内で、ファイル>サーバーへ接続へ移動 し、既存のサーバー接続を編集するか、新しいサーバーを追加します。サーバー接続の IP アドレスには、変更したポート番号を適切に付加 します。例:ネイティブのサーバーコンポーネントのポートが 2905 に変更された場合、Portfolio デスクトップクライアントのユーザーは、 サーバーダイアログに接続するサーバーの IP アドレス: 192.168.0.1:2905 内を、変更したポートに追加する必要があります。

MediaRich Embedded Server ポート

MediaRich Embedded Server ポートは、Portfolio Server の処理タスク通信に利用します。

このポートには、Portfolio デスクトップクライアントと外部 Portfolio Media Engines (Media Rich)の通信、ならびにすべての内部サーバー 処理の通信が含まれます。

MediaRich Embedded Server ポートのデフォルトは 9877 です。

外部のメディアエンジンのポートの詳細は、Network Access for Media Engines on page 69 を参照してください。

内部通信用のポート

Portfolio Server では、内部通信用にさまざまなポートが予約される必要があります。サーバーには、多くの標準 Java J2EE およびウェブサ ービスポートが必要です。

サーバー上で、Java を必要とする他のアプリケーションが実行されている可能性があります。Portfolio Server では、Java の自己完結型のバ ージョンが実行されるので、ポートの競合(コンフリクト)が発生しない限り、同じマシン上で他の Java およびウェブサービスアプリケー ションを実行させることが可能です。

ポートの競合を避けるには、ポートページを使用して、Portfolio Server に新しいポート番号を割り当てます。

Portfolio Server の内部通信には次のポートが必要です。

ポート	デフォルト値
JBoss Webservice	18093
Bootstrap JNP Server Bind Address	1109
JMX Pooled Port	4455
JMX RMI Object Port	4454
RMI Naming Service	1108

注意

Portfolio Server では、サーバーのカタログ作成と Portfolio デスクトップクライアントのアセット取得の両方のために、内部ネットワーク の共有へのアクセスに追加で標準ポートを2つ使用します(SMBマウントの共有には、ポート 445、AFPマウントの共有には、548)。こ れらのポートは、デスクトップクライアントユーザーが Portfolio Server コンピュータにアクセス共有が必要な場合に必要です。Portfolio Server がオートシンクのアセットやウェブクライアントからのアクセスを可能にするために、オリジナルアセットが置かれているリモート ファイルサーバーもこれらのポートが必要になります。

ポート競合の解決

Portfolio Server のインストーラは、デフォルトサーバーの管理ポート **8091**(Tomcat Web App)が別のアプリケーションで使用されている かどうかをチェックします。このポートがすでに使用されている場合は、Portfolio Server Admin アプリケーションが開く前に、別の利用可 能なポートがランダムに選択されます。

インストール完了後、Portfolio Server Admin アプリケーションがデフォルトのポート 8091 を使って開きます。他のポートで開いた場合は、 他のポートが競合している可能性があります。インストーラは自動的に他のポートが競合していないかどうかをチェックして、 extensis.admin.log ファイル内に記録します。

サーバーは、標準の JBoss および Tomcat ポートを使用します。この技術を使用して構築されているその他のアプリケーションがサーバー上 に存在する場合は、デフォルトの Portfolio Server ポート番号を変更する必要がある場合があります。

Portfolio Server が使用するポート番号を変更するには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、ポートリンクをクリックします。
- 3. 新しいポート番号が必要なポートごとに新しいポート番号を入力するか、ポートを検索をクリックして、オープンなポートを自動的 に検索します。
- 4. ポートページの下部にあるポートを変更リンクをクリックします。
- 5. サーバーを再起動します。

ポート概要

Portfolio Server 用に以下のポートが開いていることを確認してください。またスタンドアロンの Media Engine やファイルサーバーがある場 合は必要に応じて開いてください。コンフリクトを避けるためにポートを変更した場合には、他のシステムとの連携ポートも確認ください。

ポート	初期設定	目的
JBoss HTTP / Web Service ポート	8090	Portfolio ウェブクライアントとの外部通信
Tomcat Web App HTTP ポート	8091	Portfolio Server Admin との外部通信
Tomcat SSL ポート	9453	Portfolio Server Admin とのセキュアな外部通信
Native Server Component ポート	2903	Portfolio デスクトップクライアントとの外部通信
MediaRich Embedded Server ポート	9877	Media Engines、Portfolio Server、Portfolio デスクトップクライアント間の外部/ 内部通信
JBoss Webservice	18093	Java サポートサービス
Bootstrap JNP Server Bind Address	1109	Java サポートサービス
JMX Pooled ポート	4455	Java サポートサービス
JMX RMI Object ポート	4454	Java サポートサービス
RMI Naming Service	1108	Java サポートサービス
SMB ネットワークアクセス	445	デスクトップクライアントからマウントした Windowss 共有にアクセスする、 Portfolio Server からリモート Windows ファイルサーバー上のアセットにアクセ スする
AFP ネットワークアクセス	548	デスクトップクライアントからマウントした Mac ボリュームにアクセスする、 Portfolio Server からリモート Mac ファイルサーバー上のアセットにアクセスする
NetPublish/Web Server 通信	8085	(Windows) NetPublish とウェブサーバー間の通信
NetPublish 管理	8086	(Windows) デスクトップクライアント(NetPublish 管理)と NetPublish 間の通信.

カスタムセキュリティ(SSL)証明書の利用

初期設定では、Portfolio Server は標準の(HTTP)ウェブ接続を使って Portfolio ウェブクライアントアプリケーションと接続します。 Portfolio では、Portfolio ウェブクライアントからサーバーに接続する際に、暗号化された(HTTPS)接続(SSL)方法を利用することもでき ます。

セキュリティ証明書を入手する

Portfolio ウェブクライアントが SSL 接続できるように設定する前に、独自のドメイン名(例:assets.example.com)とそのドメイン用の カスタムセキュリティ証明書の入手が必要です。

証明書の発行機関(Certificate Authority)から利用するドメイン用に SSL 証明書を購入します。

証明書の発行機関:

- GlobalSign (http://www.globalsign.com/ssl/)
- GoDaddy (http://www.godaddy.com/ssl/ssl-certificates.aspx)
- Network Solutions (http://www.networksolutions.com/SSL-certificates/index.jsp)
- Verisign (http://www.verisign.com/ssl/)

または、Open Directory listing of Certificate Authorities

(http://www.dmoz.org/Computers/Security/Public_Key_Infrastructure/PKIX/Tools_and_Services/Third_Party_Certificate_Authorities/)を参照してください。

自分のセキュリティ証明書を作成するためのツールも用意されていますので、このガイドより詳しい情報を得ることができます。

ユーザーからの接続を確実にするためには、それぞれのブラウザにルート証明書を埋め込む必要があります。

証明書の発行機関のソフトウェア埋め込み:

- DogTag (http://pki.fedoraproject.org/wiki/PKI_Main_Page)
- OpenCA (http://www.openca.org)
- OpenSSL (http://www.openssl.org)
- XCA (http://xca.hohnstaedt.de)

注意

- デフォルトの Portfolio SSL ポート 9443 から変更する場合は、server.xml ファイルを編集する必要があります。詳細は SSL 接続のポートを変更する(30ページの)ページを参照してください。
- Mac OS X でデフォルトの Portfolio SSL ポートを 1024 以下に変更する場合は、Portfolio Server をルートユーザーとしてインスト ールする必要があります。詳細は Portfolio Server のインストール (10ページの)を参照してください。
- Windows の場合は、keytool ユーティリティにフルパスを入力する必要があります。keytool コマンドを実行する際には、以下の いずれかを入力します:

64-bit システム: C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\jre\bin\keytool 32-bit システム: C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\jre\bin\keytool システム内の%PATH%変動環境の keytool フォルダへのパスを追加することもできます。現在のコマンドウィンドウセッションのみ に実行するには、以下を入力します:

path=%PATH%;C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\jre\bin\ または

path=%PATH%;C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\jre\bin\

概要

カスタムセキュリティ証明書を埋め込むには:

- 1. Portfolio Server を停止します。
- 2. お使いのセキュリティ証明書を使ってカスタム keystore ファイルを作成します。
- 3. 新しい keystore ファイルを使って、証明書署名リクエストを生成します。
- 4. CSR を使ってセキュリティ証明書を再入力します。
- 5. 新しいカスタム証明書と中間証明書をダウンロードします。
- 6. 発行機関(CA)のルート証明書、中間証明書、カスタム証明書を keystore にインポートします。

始める前に

以下の手順を実行するには1時間、またはそれ以上かかります。すべての作業が完了するまで Portfolio ユーザーはカタログを利用できなくなりますのでご注意ください。

1. Portfolio Server を停止する

Server Admin アプリケーション内、左の機能メニューからステータスを開いて、サーバーを停止をクリックします。

2. カスタム keystore ファイルを作成する

keytool コマンドラインアプリケーションを使って、新規の Keystore ファイルを作成します。OS X では、**keytool** は OS にあらかじめイン ストールされています。Windows では、Portfolio Server インストーラが必要なコンポーネントをシステム上にインストールします。

以下のステップを実行するには、Portfolio Server が起動するアカウントにログインして行う必要があります。

<>内の名前は、実際のファイル名に置き換えてください。

コマンドを入力する際は、すべてのコマンドを1行で入力し、最後にRETURNキーを押してください。

1. コマンドウィンドウを開きます。

```
Macintosh:ユーティリティフォルダ内にあるターミナルアプリケーションを起動します。
Windows:cmd.exe を起動します。
```

2. 現在のディレクトリを Portfolio Server のデータディレクトリに変更します。

```
64-bit Windows:
    cd "c:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\data"
32-bit Windows:
    cd "c:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\data"
Macintosh:
    cd "/Applications/Extensis/Portfolio Server/data"
```

3. 既存の keystore ファイルの名前をバックアップ用に変更しておきます。

Windows: move keystore keystore.backup Macintosh: mv keystore keystore.backup

4. 新しい keystore ファイルを作成します。

keytool -genkey -keyalg RSA -keystore keystore -alias extensis -keysize 2048

注意: keysize はご利用のセキュリティ証明書の key size(または *key length*)と同じである必要があります。多くの認証機関では key size は 2048 になっています。Key size が 1024 の場合もあります。もし異なる key size の場合は、上記の最後の 2048 を置き 換えてください。

 パスワードの入力が表示されたら、kaq8thefUphuTrexeSW3sp3m と入力してから RETURN キーを押します。 注意:このパスワードを利用しないと SSL は機能しません。
 もう一度パスワードの入力を促されたら、同じパスワードを入力して RETURN キーを押します。
 TIP:このドキュメントからパスワードをコピーして、コマンドウィンドウ内に貼付けることができます。

- 氏名を入力し、セキュリティ証明書を発行した際に使ったドメイン名(FQDN)を入力して、*RETURN*キーを押します。 assets.example.comのような1つのドメイン用に証明書を購入した場合は、それを入力します。複数のサブドメインを持つドメ インを購入した場合は、アスタリスクを使ってすべてのサブドメインを指すことができます:*.example.com
- 7. keytool では組織名、部署名、住所、国名などの情報を入力する画面を表示します。SSL 証明書を購入した際に入力したのと同じ情報を正しく入力する必要があります。RETURN キーを押します。
- 8. 入力したすべての情報を keytool が表示します。表示はこのようになります:
 - Is CN=<assets.example.com>, OU=<orgunit>, O=<organization>, L=<locality>, ST=<state>, C=<country>
 correct?

```
[no]:
```

CN=に続くドメイン名が、セキュリティ証明書を購入した際に使ったドメイン名(FQDN)と完全に一致していることを確認します。 yes と入力して、*RETURN* キーを押します。

9. 最後に、keytool が extensis エイリアス用のキーパスワードを入力する画面を表示します。前に入力したのと同じパスワードを入力して、*RETURN* キーを押します。

新しい keystore ファイルが作成されます。

注意

keystore ファイルの内容は、以下のコマンドを入力すると見ることができます:
 keytool -list -v -keystore keystore
 パスワードの入力が表示されたら kag8thefUphuTrexeSW3sp3m と入力して、*RETURN* キーを押します。

- keystore ファイルの作成に失敗した場合は、以下のコマンドを入力して extensis エイリアスのエントリーを削除することができま
- す:

keytool -delete -alias extensis -keystore keystore パスワードの入力が表示されたら kaq8thefUphuTrexeSW3sp3m と入力して、*RETURN* キーを押します。

3. 証明書署名リクエストを生成する

このステップは必須です。Portfolio は keytool で作成された CRS のみ受け付けます。Open SSL からの CSR の取り込みはできません。

コマンドウィンドウ内に以下のコマンドを入力して、RETURN キーを押します:

keytool -certreq -keystore keystore -keyalg RSA -file certreq.csr -alias extensis

これで Portfolio Server のデータディレクトリ内に **certreq.csr** というファイル名の CSR が作成されます。CSR は ASCII テキストファイル で、オリジナルセキュリティ証明書を再入力する際に利用します。

4. セキュリティ証明書を再入力する

この手順は利用している認証機関によって異なります。一般的には認証機関のインポートツールを使って certreq.csr ファイルをインポー トするか、テキストエディタで certreq.csr ファイルを開いてテキストをコピーし、ベンダーの再入力ダイアログに貼付けします。

5. 新しい証明書をダウンロードする

セキュリティ証明書の再入力が成功すると、新しいカスタム証明書をダウンロードできる画面が表示されます。この手順は利用している認証 機関によって異なります。

利用している環境(Apache または Exchange 2010)にあわせたカスタム証明書をダウンロードできるようになります。通常は Tomcat に設 定された証明書アーカイブをダウンロードします。Tomcat が利用できない場合は **Other** を使います。

証明書アーカイブは通常.ZIP ファイルで用意されます。このファイルには元証明書と CSR を使って柵際されたカスタム SSL 証明書が含まれています。

注意

中間証明書はとても重要です。ダウンロードしたアーカイブ内にこのファイルが無い場合は、異なる設定で再度ダウンロードしてください。

6. keystore に証明書をインポートする

keystore に Certificate Authority の元の証明書、中間証明書、カスタム証明書を埋め込む必要があります。

元の証明書は認証機関のウェブサイトからダウンロードすることができます。

- Verisign, GeoTrust, Thawte: https://www.verisign.com/support/roots.html
- GlobalSign : http://www.globalsign.com/support/intermediate-root-install.php
- GoDaddy: https://certs.godaddy.com/anonymous/repository.seam
- 1. 認証機関の元証明書を自身のエイリアスの下の keystore にインポートします。

```
keytool -import -keystore keystore -alias rootca -trustcacerts -file <name_of_Root_CA_cert_file>
Keystore パスワードの入力が表示されたら、kaq&thefUphuTrexeSW3sp3m と入力して、RETURN キーを押します。
"Certificate already exists"というメッセージが表示されたら
```

Do you still want to add it to your own keystore? [no]: yes と入力して、*RETURN* キーを押します。

2. 認証機関が中間証明書を使っている場合(GoDaddy など)は、自身のエイリアス下の keystore にインポートします。

```
keytool -import -keystore keystore -alias intermediary -trustcacerts -file <name_of_intermed_cert_file>
Keystore パスワードの入力が表示されたら、kaq8thefUphuTrexeSW3sp3m と入力して、RETURN キーを押します。
認証機関が主要中間証明書と 2 次中間証明書を使っている場合(Verisign など)は、自身のエイリアス下の keystore にこれらのフ
アイルをインポートします。
```

```
keytool -import -keystore keystore -alias primaryintermediate -trustcacerts -file
<name_of_intermed_cert_file>
```

keytool -import -keystore keystore -alias secondaryintermediate -trustcacerts -file
<name_of_intermed_cert_file>

```
Keystore パスワードの入力が表示されたら、kaq8thefUphuTrexeSW3sp3m と入力して、RETURN キーを押します。
```

3. カスタムセキュリティ証明書をインポートします。

keytool -import -keystore keystore -alias extensis -file <name_of_custom_cert_file> パスワードの入力が表示されたら、kaq8thefUphuTrexeSW3sp3m と入力して、*RETURN* キーを押します。

4. Portfolio Server を再起動します。

SSL 接続ポートを変更する

初期設定の SSL クライアント接続ポート (JBoss TCP SSL 受信ポート) は 9443 に設定されています。このポートを変更したい場合には、 server.xml ファイルを編集する必要があります。

注意

Mac OS X でポートを **1024** に変更する場合は、root ユーザーとして Portfolio Server をインストールして動かす必要があります。詳細は **Portfolio Server のインストール**

server.xml ファイルを編集するには:

重要

特に標準的な SSL TCP ポートである 443 に変更しようとしている場合は、JBoss TCP ポートの変更時には細心の注意を払ってください。他のソフトウェア(例えば Apache や IIS など)が同じポートを参照していないことを確認します。

1. 以下の場所にある server.xml ファイルのバックアップを作成します。

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\jboss\server\default\deploy\jbosswebtomcat55.sar\server.xml

32-bit Windows:

 $\label{eq:linear} C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\jboss\server\default\deploy\jbosswebtomcat55.sar\server.xml$

Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/jboss/server/default/deploy/jbosswebtomcat55.sar/server.xml

- 2. Notepad や TextEdit などのテキストエディタを使って、オリジナルの server.xml ファイルを開きます。
- 3. port="9443"のテキストが含まれている行を探します。redirectPort="9443"の行は変更してはいけません。
- 4. 値を 9443 から、変更したいポート番号に変更します。

注意

server.xml ファイル内の他のアイテムは変更しないでください。不必要な変更をするとサーバーで問題を引き起こす可能性があります。またサーバーが適切に動かなくなる可能性があります。

- 5. server.xml ファイルを保存します(必ず UTF-8 テキストファイル形式として保存してください)。
- 6. Portfolio Server を再起動します。

注意

標準外のセキュリティシステムを利用している場合は、Extensist テクニカルサポート (155 ページの)までご連絡ください。

Mac OS X でアクティブな TCP 受信ポートを特定する:

- 1. Terminal アプリケーションを開いて、アプリケーションフォルダ内にある Utilities フォルダを開きます。
- 2. netstat -anp tcp と入力して、RETURN キーを押します。これでアクティブなすべての TCP 受信ポートを一覧します。
- 3. lsof -i :port と入力して、特定のポートのプロセスとプロセス ID を表示します(port の部分を必要なポート番号に置き換えてく ださい)。

Windows でアクティブな TCP 受信ポートを特定する:

- 1. コマンドプロンプトを開きます: Start をクリックして、Run フィールドに cmd と入力します。ENTER キーを押します。
- 2. netstat -a -b -n -o -p tcp と入力して ENTER キーを押します。

注意

Windows では、最初に来たものに最初に TCP ポートを提供するという原則で動くため、特にコンピュータを起動する際に競合を持つことができます。

セキュアポートリダイレクト

ウェブクライアントユーザーが常にセキュアポートを使って接続するために、リダイレクトを利用することができます。リダイレクトはオプ ションの手順で、SSL ポートを使用するのに必須ではありません。

web.xml ファイルを編集して通常のウェブクライアントポート(デフォルト値 8090)から、セキュア接続ポート(デフォルト値 9443)へ リダイレクトさせます。

リダイレクトを利用するには:

1. 以下の場所にあるファイルをノートパッドやテキストエディットなどのテキスト編集ツールで開きます。

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio

Server\applications\jboss\server\default\deploy\portfolio.ear\portfolio.war\WEB-INF\web.xml 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio

Server\applications\jboss\server\default\deploy\portfolio.ear\portfolio.war\WEB-INF\web.xml Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio

Server/applications/jboss/server/default/deploy/portfolio.ear/portfolio.war/WEB-INF/web.xml 2. 検索機能を使って、transport-guarantee パラメータが含まれる行を検索します。以下のように NONE パラメータを

```
CONFIDENTIAL パラメータへ変更します。
```

<transport-guarantee>NONE</transport-guarantee>

以下に変更

<transport-guarantee>CONFIDENTIAL</transport-guarantee>

3. 保存して web.xml ファイルを閉じます。

管理ログ

ステータスメニューには、以下のサーバーアクティビティのログがあります:

- Portfolio Server の停止、起動、処理が開始されたとき
- ユーザーの追加/削除、ユーザーアカウント名やパスワードの変更があったとき

管理ログを見るには:

- 1. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin Web アプリケーションを開きます。
- 2. 左のステータスメニューをクリックします。

管理ログはスクロースリストとして表示されます。一番最近のものがリストの上にあります。

ログの各行はアクティビティが起きた日時と、アクティビティの簡単な説明から成り立っています。

日時は YYYY-MM-DD hh:mm:ss のように表示されています。Portfolio Server のタイムゾーンを使用しています。

- **YYYY** は年
- MMは2桁の月(01-12)
- **DD**は2桁の日(01-31)
- **hh**は2桁の時間(00-23)
- mm は分(00-59)
- ss は秒 (00-59)

ログを消すには、管理ログを消去ボタンをクリックします。

注意:管理ログは extensis.admin.log ファイル内にも保存されます。ファイルは以下の場所にあります:

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\logs\

32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\logs\

```
Macintosh:
```

```
/Applications/Extensis/Portfolio Server/logs/
```

カタログ

カタログの作成

Portfolio Server Admin アプリケーションから、管理者は Portfolio カタログを作成および管理できます。これらのカタログは、その後、 Portfolio デスクトップクライアントおよび Portfolio ウェブクライアントによってユーザが利用できるようになります。

Portfolio カタログを作成するには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、「カタログ」リンクをクリックします。
- 3. 「カタログ」パネルで、「新規カタログを追加」リンクをクリックします。
- カタログの種類を指定します。
 カタログの種類についての詳細はカタログの種類 34 ページのを参照してください。
 カスタムカタログについての詳細はカスタムカタログを作成 35 ページのを参照してください。
- 5. データベースの種類を選択します。
 - ネイティブ (FDB) : これは、Portfolio Server におけるデフォルトのデータベースの種類です。
 - SQL database: Portfolio Enterprise Solution Pack を利用している場合は、SQL データベースにデータベースを保存できます。Portfolio Server 用に SQL データベースをインストールおよび設定する方法の詳細については、Portfolio Enterprise Solution Pack on page 78 を参照してください。
- カタログ名を入力します。
 ユーザーがウェブクライアントを使ってカタログに登録する場合は、ファイルをアップロードできる場所に同期フォルダをすぐ作成した方が良いでしょう。
- ドロップダウンメニューから「対象」を選択します。この設定は、データベース内に保存されている情報を並べ替え時に利用する言 語です。
- 8. 「作成」をクリックします。

新しいカタログを作成したら、次の作業を行います:

- カタログへのユーザの追加 (38 ページの)または LDAP ユーザーのカタログへの設定 (44 ページの);
- カタログのカスタマイズ (48 ページの)を必要に応じて実行します。
- プレビューオプション (33 ページの)

カタログパフォーマンスと最大サイズ

ネイティブ FDB カタログの最大サイズとその効果的なパフォーマンスは、多くの要素が影響します。一般的には、たくさんのアイテム、デ ータフィールドが多く入力量が多い、データのボリュームが大きいなどが影響を与えます。以下の項目がカタログのパフォーマンスに影響し ます:

- カタログに登録されているアイテム数
- サムネイルサイズ (112 ピクセルか 256 ピクセル)
- カスタムフィールドの数
- フィールドから抽出されたメタデータの量
- 各フィールド内のデータ量(例えば短い文章か長い文章など)
- テキストインデックスが実行されているかどうか

通常、これらの項目は SQL 上で動いているカタログのパフォーマンスには影響しません。カタログのパフォーマンスとサイズの限界は、デ ータベースエンジンに何を利用しているかと、サーバーハードウェアが影響します。

画面プレビュー

Portfolio では、カタログに登録した各画像のプレビュー画像を作成します。これによりディスク上の画像データにアクセスしなくても、デ スクトップクライアント、ウェブクライアントから高品質のプレビューをカタログ内で見ることができるようになります。

Portfolio Server でアイテムがカタログに登録される際に、プレビュー作成と保存の設定を行えます。また後から必要な時に作成することもできます。

アイテムのプレビューをカタログ登録時に作成するようにしておくと、ウェブクライアントやデスクトップクライアントからいつでも高解像のプレビューやクリップを参照することができます。DVD上のアイテムや通常マウントされていないネットワーク上のアイテムでも見ることができます。

アイテムのプレビューを作成しないと、ウェブクライアントやデスクトップクライアントがプレビューを開こうとする時に Portfolio Server がプレビューを作成します。オリジナルファイルとの接続が切れている場合は、高解像プレビューやクリップの代わりにサムネイル画像が表 示されます。

Portfolio Server に画面プレビューを保存すると、カタログ作成プロセスが遅くなり、より多くのディスク容量を必要とします。プレビュー を参照のたびに作成させるようにすると、ディスク容量は小さくて済みますが、デスクトップクライアントやウェブクライアントから画像を プレビューする際に表示が遅くなります。

画面プレビューの有効化

画面プレビューを有効にするには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、カタログリンクをクリックします。
- 3. カタログパネルでカタログを選択します。
- 4. 詳細パネルで、プレビュータブを選択します。
- 5. プレビューオプションの設定:

プレビュー作成: このオプションは、カタログに登録される際に各ファイルのプレビューを作成します。このオプションをオフに すると、クライアントが要求した際にのみプレビューを作成します。

最大画像サイズ:最大寸法をピクセルで指定します。プレビュー画像の長辺の最大サイズは4000ピクセルです。

オーディオ/ビデオファイルクリップ作成:このオプションを選択すると、Portfolio Server はサポートするオーディオ/ビデオファ イルがカタログに登録される際に各ファイルのプレビュークリップを作成します。プレビュークリップはデスクトップクライアント、 ウェブクライアントのどちらでも再生することができます。このオプションをオフにすると、プレビュークリップは作成されません。 最大ビデオ解像度:プレビュークリップの最大解像度を設定します。オリジナル画像が設定より低い場合は、プレビュー画像の解像 度は低くなります。

NetMediaMAX Solution Pack がインストールされている場合は、720p と 1080p (HD) 解像度のプレビュークリップを作成することができます。

プレビュークリップの長さ:プレビュークリップの最大長を設定します。

プレビューとクリップをこのフォルダに保存する:プレビュー画像とクリップが保存されるパスです。デフォルトではこれは Portfolio Server 内にあります。この設定のままにしておくことをお勧めします。もし作成されるプレビューの容量が、サーバーで利 用できるディスク容量を上回ることが予想される場合は、ネットワーク上でサーバーがアクセスできる場所に、フォルダを設定する こともできます。パス編集についての詳細は**パス設定** 34 ページのを参照してください。

6. 適用をクリックします。画像プレビューの保存先が存在しない場合は、Portfolio Server によって新しいディレクトリが作成されます。 ネットワークパスは、Portfolio Server がプレビューフォルダを作成できる権限が必要です。

パスの形式

プレビューディレクトリへのファイルパスは、普遍的/ UNC(Uniform Naming Convention)形式で指定する必要があります。これは、共有 パスに、たとえばマッピングされたドライブ文字ではなく、実際のサーバ、共有、および宛先ディレクトリを含める必要があることを意味し ます。例:

Windows: \\Server\Share\Previews Macintosh: /Volumes/Xserve/Share/Previews

注意

Macintoshの Portfolio Server では、UNCパスに加えて、コロン区切りのパスを使用します。Macintoshの Portfolio Server 上のカタログ用に 上記の例を入力すると、次のコロン区切りのパスに自動的に変換されます。::Xserve:Share:Previews

次のようなネットワーク共有を選択してください:

- Portfolio サーバに読み取り/書き込みアクセス権がある
- 他のカタログがプレビューファイルの保存に利用していない

以前にカタログ化されたファイル用に画面プレビューを作成

Portfolio では、Portfolio デスクトップクライアントを使用して、カタログ化された後のファイルについても画面プレビューを生成できます。

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーション内でカタログのプレビュー作成を設定します。
- 2. Portfolio ウェブクライアント、またはデスクトップクライアントを使ってカタログを開きます。
- 3. 画面プレビューを作成したいアイテムをカタログ内で選択します。
- デスクトップクライアントの場合は、アイテム>サムネールの再作成を選択します。
 ウェブクライアントの場合は、選択した画像の上で右クリックしてサムネールの再作成をメニューから選択します。

カタログの名前変更

Portfolio データーベースのカタログは名前を変更することができます。

カタログの名前変更:

- 1. 左側のメニューからカタログをクリックします。
- 2. カタログリストの一番下にあるカタログ詳細情報を表示/編集をクリックします。
- 3. **カタログの詳細情報**パネルでデータベースタブをクリックします。 ファイル拡張子.fdb を含める必要はありません。
- 4. 名前フィールドに新規の名前を入力します。
- 5. カタログの詳細情報パネル右下の適用ボタンをクリックします。

カタログの種類

カタログの種類を使用すると、特定の目的のために新しいカタログを設定する作業がより簡単に素早く行えます。新しいカタログを作成する 際にいくつかのカタログの種類から選択することができます。基本的に、それぞれのカタログの種類は、カタログをさらにカスタマイズする ための出発点の働きをします。

カタログの種類では、主に、それに含まれるカスタムフィールドの数と種類が異なります。Portfolio Server Admin アプリケーションを使用 すると、お客様のニーズを満たすのに最も適したカタログの種類を選択できます。

カタログの種類を選択する利点は、時間の観点から評価できます。Portfolio では、自動的にカスタムフィールドが作成されるので、必要な 設定時間はかなり短くなります。また、多数のカスタムフィールドが必要でない場合は、カタログ内のアイテムへのアクセスおよび検索が速 く行えるようになります。 最初にどのカタログの種類を選択したかにかかわらず、特定のニーズに合うようにカスタムフィールドを追加および削除したり、メタデータのマッピングを変更したりできます。

カタログの種類:

- 汎用:汎用のカタログの種類には、EXIF、IPTC、および XMP フィールドを含む、さまざまなメタデータ用のデフォルトのカスタム フィールドが多く含まれています。カタログにこれらのすべてのフィールドを含める場合、またはカタログにどの種類のメタデータ を含めるべきか確かでない場合は、このカタログの種類を使用します。
- 簡易:簡易のカタログの種類には、カスタムフィールドが含まれておらず、ファイルからメタデータを抽出するようには設定されていません。簡易カタログの種類は、手動による設定が必要な特定のカスタムフィールドや、メタデータの抽出設定が必要な複雑なカタログの出発点として役立ちます。このカタログの種類には、キーワードおよび説明のフィールドが含まれていますが、これらのフィールドにはメタデータを抽出するように設定できます。キーワードは、パスに従ってカタログ内で自動的に作成されます。

カタログの種類のカスタム作成

カタログ作成に使用できるデフォルトのカタログの種類に加えて、管理者は、将来カタログを作成する際に使用できるように、サーバー上で 使用する独自のカスタマイズされたカタログの種類を作成できます。管理者は、既存のカタログの種類をベースに、カタログの種類に表示さ れるカスタムフィールドを定義できます。

カスタマイズされたカタログの種類を作成するには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開き、既存のカタログの種類の1つに基づいて、新しいカタログを作成します。 ユーザーを新しいカタログに割り当て、そのユーザーに管理者のアクセス権限を付与します。このユーザーの権限を使用して、この 後カタログに接続します。
- Portfolio デスクトップクライアントを起動し、新しいカタログを管理者ユーザー名(administraotr)とパスワードで開いてから、 管理者モードに変更します。

管理者モードの詳細は、Portfolio デスクトップクライアントユーザーガイドを参照してください。

- カタログをカスタマイズします。カスタムのカタログの種類を変更する場合は、カタログ作成の詳細オプション、カタログ管理設定、 およびメタデータ設定の3つの領域を検討します。詳細については、Portfolio デスクトップクライアントユーザーガイドを参照して ください。
- 4. 終了したら、ファイル>カタログタイプの保存を選択します。
- 5. Windows Explorer または Macintosh Finder を使用して、カスタムのカタログの種類を保存したシステム上にある Portfolio デスクト ップクライアントのプログラムディレクトリを参照します:

Windows:

C:\Users\<username>\My Documents\Portfolio\Catalog Types\

Macintosh:

~/Documents/Portfolio/Catalog Types/

6. カタログの種類は、カタログ名の付いたディレクトリの中に保存されています。Portfolio Server のあるサーバーシステムの次のディ レクトリに、カタログの種類のディレクトリをコピーします。

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\data\catalog-settings\English\catalog-types\ 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\data\catalog-settings\English\catalog-types\ Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/data/catalog-settings/English/catalog-types/

 Portfolio Server Admin アプリケーションに再度ログインします。メインメニューから、カタログリンクをクリックします。新しい カタログを追加する際、カスタムのカタログの種類が種類ドロップダウンメニューに表示されるようになります。

カタログをオフラインにする

ユーザーがカタログへアクセスできないようにしたり、ユーザーを締め出したり、カタログのバックアップを取得したり、無制限にユーザー がアクセスできないようにするには、カタログをオフラインにできます。この方法は、カタログを削除するよりも良い方法です。なぜならば、 ユーザーのすべてのアクセス設定が保持され、カタログを再度オンラインにすると、その設定がすぐに復元されるからです。 Portfolio Studio ユーザーは、カタログをオフラインにすると、他のカタログを開くことができるようになります。

カタログをオフラインにするには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、カタログをクリックします。
- 3. カタログパネルで、カタログをクリックして選択します。
- 4. 詳細パネルのステータスタブで、オフラインにするをクリックします。

これでカタログがオフラインになり、ユーザーがカタログにアクセスできなくなりました。オフライン中でもカタログへのメンバシップは管 理できますが、その他すべてのカタログ管理タスクがこのカタログに関しては無効になります。

オフラインのカタログは簡単に識別できます。カタログパネルでオンラインのステータスが無効になります。

カタログをオンラインに戻すには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、カタログをクリックします。
- 3. カタログパネルで、オフラインのカタログをクリックして選択します。
- 4. 詳細パネルのステータスタブで、オンラインにするをクリックします。

カタログの削除

カタログが不要になったら、Portfolio Server から削除できます。カタログを削除すると、すべてのユーザーアクセスデータも削除されるの で、将来的にアセットへユーザーがアクセスする必要がない場合のみ、削除するようにしてください。

カタログを削除しても、カタログが参照しているオリジナルアセットは削除されません。

あるカタログに対して、すべてのユーザーが一時的にアクセスできないようにしたいだけの場合は、削除する代わりにカタログをオフライン にする方法をお勧めします。

カタログを削除するには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、カタログをクリックします。
- 3. カタログパネルの下部で、カタログを削除リンクをクリックします。
- 4. 選択したカタログを削除しますか?パネルで、OK をクリックして承認します。

標準の Portfolio FDB カタログが削除されると、このカタログは、カタログディレクトリから削除されたカタログディレクトリに移動されま す:

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\deleted-Catalogs\ 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\deleted-Catalogs\ Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/native-server/deleted-Catalogs/

元のファイルはすべて、追加される元となった場所に残ります。プレビューファイルを使用している場合、それらのファイルも元々作成され た場所に残ります。

SQL ベースのカタログを削除する場合、SQL データベースへのポインタが次のカタログフォルダから削除されます。

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\Catalogs\

32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\Catalogs\

Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/native-server/Catalogs/

削除が終了した後は、Portfolio Server の SOL データベース、カタログのデータ、オリジナル、およびプレビューのすべてが、SOL データベ ース内に残ります。
ユーザー

ユーザーを追加すると、それらは Portfolio Server のユーザーデータベースに追加されます。その後、ユーザーには、サーバー上のカタログ へのメンバシップが付与され、各カタログへの特定のアクセスレベルが与えられます。

注意

この項目は Portfolio Server 内で作成したユーザーアカウントについて述べています。LDAP ディレクトリサービスと一緒に Portfolio を利用 する場合の詳細はディレクトリサービス 43 ページのを参照してください。

ユーザーの追加

Portfolio で公開されているカタログには、Portfolio ユーザーアカウントまたは、LDAP ディレクトリサービスマッピングを通して

(Portfoloio Enterprise 版利用時)アクセスすることができます。ディレクトリサービスマッピングについての詳細はディレクトリサービス 43 ページのを参照してください。

管理者はユーザーアカウントを作成し、Portfolio Server Admin アプリケーション内のカタログへのアクセス権をユーザーに与えます。ユー ザーアカウントを使用すると、Portfolio デスクトップクライアントまたは Portfolio ウェブクライアントのどちらで公開されているカタログ へもアクセスできます。

ユーザーアカウントの種類

ユーザーアカウントは Portfolio Server が生成しユーザーログイン情報が保存される*ネイティブ*アカウントと、LDAP ディレクトリサービス (Windows ではアクティブディレクトリ、Mac OS X ではオープンディレクトリ)からユーザーログイン情報を生成する*ディレクトリサービ ス*アカウントがあります。

ディレクトリサービスアカウントは Portfolio Server Professional または Enterprise 版で利用できます。またあらかじめ Portfolio Server に統 合できるディレクトリサービスの準備が必要です。ディレクトリサービスとの統合の詳細はディレクトリサービスの設定 44 ページのを参照 してください。

新しいユーザーを追加する:

- 1. ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、ユーザーをクリックします。
- 3. ユーザーパネルで新規ユーザーを追加をクリックします。
- 4. 詳細パネルでアカウント名を入力し、認証方法を選択します。

(認証方法は Portfolio Server ヘディレクトリサービスを利用して接続している場合のみ利用します) 認証方法:Portfolio Server によって確認されるアカウントの場合はネイティブを選択します。LDAP ディレクトリサービスで確認す るアカウントの場合はディレクトリサービスを選択します。 ディレクトリサービスアカウントの場合は、入力するアカウント名は Portfolio Server に接続するディレクトリサービスのアカウン ト名である必要があります。パスワードもディレクトリサービスのパスワードと同じものを利用してください。

- 5. ネイティブアカウントは、パスワードを入力し、確認のためにもう一度入力します。
- 6. ユーザーの詳細情報を入力します。
- 既存のすべてのカタログに対して、新規ユーザーのアクセス権を自動的に与えることができます。ユーザーを全カタログに追加チェ ックボックスにチェックを入れて、プルダウンメニューからアクセス権を選択します(カタログパネル内で各ユーザーごとのアクセ スを変更したり取り消すことができます)。
- 8. 作成をクリックします。

接続するには、ユーザーにカタログのメンバシップが付与されている必要があります。詳細は**ユーザーのカタログのメンバシップの付与** 38 ページのを参照してください。

新規ユーザーデフォルト

既存のすべてのカタログに対して、新規ユーザーを常に追加するよう設定したり、自動的に追加されたユーザーのアクセス権を設定しておく ことができます。

- 1. Portfolio Server Admin 画面の左の一覧にあるグローバル設定をクリックします。
- 2. 次の一覧からデフォルトカタログを選択します。
- デフォルトカタログパネルにある新規ユーザーを全カタログに追加にチェックを入れます。
 この設定を有効にすると、Portfolio Server は自動的に新規ユーザーをすべての既存のカタログに追加します。その際のアクセスレベルをドロップダウンメニューから選択します。
- 新規ユーザーがカタログに追加される際のアクセスレベルをドロップダウンメニューから選択します。 カタログのメンバシップパネルで、個別のユーザーアクセスレベルを変更することができます。画面左側の一覧からカタログを選択 して、カタログパネル内のカタログのメンバシップを管理をクリックします。
- 5. デフォルトカタログパネルの右下にある適用ボタンをクリックして変更を保存します。

ユーザーアクセスレベルの詳細はユーザーアクセスレベルを参照してください。

ユーザーのカタログメンバシップの付与

サーバー上でのカタログの作成とユーザーアカウントの定義の他に、管理者はどのユーザーがカタログのメンバであるかを決定できます。

注意

LDAP ディレクトリサービスからユーザーを追加することもできます。詳細はディレクトリサービス 43 ページのを参照してください。

ユーザーヘカタログのメンバシップを付与する場合:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、カタログリンクをクリックします。
- 3. カタログパネルで、カタログを選択します。
- 4. カタログのメンバシップを管理リンクをクリックします。
- 5. 詳細パネルで、一人または複数のユーザーを選択します。Command + クリック(Mac)または Ctrl + クリック(Windows)で複数 のユーザーを選択できます。
- 6. パネルの下部のドロップダウンメニューから、このカタログのアクセスレベルを選択します。
- 7. 適用をクリックします。

ユーザーアクセスレベル

ユーザーは、各自が追加されているカタログに特有の4つのアクセスレベル(管理者、発行者、編集者、閲覧者)を使用してカタログに接続します。それぞれのユーザーレベルが、ユーザーがクライアントを使用してカタログに接続した際に付与されるアクセスレベルと機能を定 義しています。

Portfolio デスクトップクライアントを使用してカタログに接続するユーザー用に、次に説明するアクセスレベルおよびアクセス権が固定で 設定されています。

- カタログ管理者:カタログ管理者のアクセスレベルでは、カタログユーザーは、デスクトップクライアントおよびウェブクライアントのアプリケーション内で利用可能なすべてのアクションを実行できます。これには、カスタムフィールド、マスターキーワード、オートシンクフォルダの定義、およびカタログ特有のすべての設定の実行が含まれます。カタログ管理者は、基本的には概要(フィールド、値のリスト、マッピングなど)、マスターキーワード、デフォルトカタログ作成オプション、および特定のカタログ内のその他のハイレベルな設定を定義します。カタログが、Portfolio デスクトップクライアントを使用して管理者モードで開かれると、他のユーザーはそのカタログを使用できません。ただし、管理者レベルのユーザーが Portfolio ウェブクライアントを使用してカタログに接続する場合は例外です。
- 発行者:発行者のアクセスレベルは、管理者よりも1つ下のレベルで、主にユーザーにカタログ内のアイテムを追加および削除させるのに使用されます。このユーザーは、データの入力も行えますが、マスターキーワードのリストを含むフィールドの変更や定義ができない点が制限されています。
- 編集者:編集者のユーザーアクセスレベルは、主にデータ入力を実行する必要のあるユーザー向けのものです。このレベルは、主に ユーザーがカタログ内のアイテムレコードを追加または削除できないという点で発行者とは異なります。
- 閲覧者:カタログ内の閲覧者は、検索やその他の基本的なタスクは実行できますが、このアクセスレベルを持つユーザーは、カタロ グ内のフィールドを追加、削除、または編集できない点で制限されています。

アクセスレベルとウェブクライアント

Portfolio Server Admin アプリケーション内のアクセスレベルページでカスタマイズできる機能は7種類あります:

- オリジナルファイルへのアクセスと変換:オリジナルファイルのダウンロードができます。この機能と変換プリセットの使用が可能 になっていれば、ユーザーはバッチ変換機能を利用できるようになります。
- メタデータの埋め込み:ファイル内に埋め込みができるメタデータを編集できます。埋め込みが可能なメタデータは、 アイコンで表示されています。
- PDF 作成: PDF のコンタクトシートを作成することができます。
- 変換プリセットの管理:変換プリセットの編集機能と、バッチ変換ダイアログからプリセットが保存できます。
- パブリックギャラリーの管理:パブリックギャラリーの作成、アップデート、削除が行えます。
- MediaScripts の実行: MediaEngine で画像、音声、ビデオのファイル変換の可能性を拡張するカスタムスクリプトを実行することができます。

この機能を利用するには NetMediaMAX モジュールが必要です。

• 変換プリセットの使用:保存したプリセットを使用することができます。この機能とオリジナルファイルへのアクセスと変換が可能 になっていれば、ユーザーはバッチ変換機能を利用できるようになります。

各アクセスレベルはあらかじめ設定されていますが、編集可能な設定と編集できない設定があります。編集が行えない設定はグレーアウトされています。

例:発行者レベルでは、初期設定では変換プリセットを管理することはできませんが、設定を変更して編集可能にすることができます。一方、 カタログ管理者は常に利用可能ですが、閲覧者や編集者はプリセット管理は行うことはできません。

アクセスレベルとデスクトップクライアント

Portfolio Server Admin アプリケーション内のアクセスレベルページでは、デスクトップクライアントの3つの機能を利用可能/停止にできます:

- オリジナルファイルへのアクセスと変換:ユーザーによるオリジナルファイルのコピー、編修、表示が行えます。
- メタデータの埋め込み:オリジナルファイル内に編集したメタデータを埋め込めます。
- パブリックギャラリーの管理:パブリックギャラリーの作成、アップデート、削除が行えます。

(アクセスレベルページにある他の機能は、ウェブクライアントでのみ利用できる機能です。)

各アクセスレベルはあらかじめ設定されていますが、編集可能な設定と編集できない設定があります。編集が行えない設定はグレーアウトさ れています。

例:閲覧者アクセスレベルのユーザーは、初期設定ではパブリックギャラリーの管理はできませんが、すべての閲覧者ユーザーが行えるよう 変更できます。

アクセスレベルの設定

各ユーザーのアクセスレベルのオプションを設定するには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューで、アクセスレベルリンクをクリックします。
- 3. ユーザーレベルを選択します。
- 4. オプションをオンまたはオフにします。

注意

アクセスレベル権限は、Portfolio ウェブクライアントを経由して接続するユーザーにだけ適用されます。Portfolio デスクトップクライアントで接続するユーザーは、そのユーザーレベルをベースとするユーザーアクセスレベルセクションで示されているルールに従います。

ユーザーの編集

ユーザーアカウント名、パスワード、フルネーム、デフォルトカタログなどのユーザーアカウント情報を素早く更新することができます。 注意:LDAP ディレクトリサービスユーザーの場合は、メモ欄のみ編集が可能です。

ユーザーアカウント情報を更新する場合:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、ユーザーリンクをクリックします。
- パスワード、フルネーム、デフォルトカタログなどの、必要なユーザーアカウント情報を変更します。
 認証方法:LDAP ディレクトリサービスを使って Portfolio Server に接続する場合は、ディレクトリサービス認証方法を使ってユーザ ーアカウントを変更します。Portfolio のアカウント名は、ディレクトリサービスのアカウント名と一致している必要があります。こ れによってネットワークログイン名とパスワードを使って Portfolio カタログへアクセスすることができます。
 注意:Native 認証からディレクトリサービス認証に変更して、それからアカウントを Native 認証利用に変更する場合は、アカウン トのオリジナルパスワードは引き継がれます。しかし、Native 認証を使うためにディレクトリサービス認証を使って最初に作成した アカウントを変更する場合は、アカウントのパスワードを追加して確認する必要があります。
- 4. 適用をクリックして、変更を保存します。

カタログへのユーザーアクセス権と、特定のアクセスレベル権限は、各カタログ内で更新することができます。

注意

LDAP ディレクトリサービスからカタログのメンバーシップのマッピングを変更するには、詳細はディレクトリサービスマッピングの表示 と編集 44 ページのを参照してください。

カタログへのユーザーアクセス権を更新する場合:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、カタログリンクをクリックします。
- 3. このリストからカタログを選択してクリックします。
- 4. カタログのメンバシップを管理をクリックします。
- 5. 変更するユーザーをクリックします。
 - 選択したカタログをユーザーに追加するには、選択したユーザーをカタログに追加するをクリックします。
 - カタログへのユーザーのアクセスレベルを変更するには、ドロップダウンメニューからアクセスレベルを選択し、適用をクリックします。
 - カタログからユーザーを削除するには、メンバシップを取り消しをクリックします。

ユーザーの削除

様々な理由により、Portfolio Server 上の特定のカタログへユーザーがアクセスできないようにしなければならないこともあります。この処 理は、ユーザーのカタログのメンバシップを取り消すか、そのユーザーを Portfolio Server から完全に削除するかなど、細かいレベルで実行 することができます。

注意

LDAP ディレクトリサービスからカタログユーザーマッピングを削除することもできます。詳細はディレクトリサービスマッピングの表示 と編集 44 ページのを参照してください。

ユーザーのカタログのメンバシップを取り消す場合

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、カタログリンクをクリックします。
- 3. カタログパネルからカタログを選択し、カタログのメンバシップを管理リンクをクリックします。
- 4. 表示されたユーザーリストで、カタログから削除するユーザーを選択し、メンバシップを取り消しリンクをクリックします。

Portfolio Server からのユーザーの削除

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、ユーザーリンクをクリックします。
- 3. ユーザーパネルで、ユーザーを選択します。
- 4. ユーザーを削除リンクをクリックします。
- 5. このユーザーのプライベートギャラリーをどうするかを決定し(パブリックにするまたはプライベートギャラリーをすべて削除)、 **削除**をクリックします。

ディレクトリサービス

Portfolio Server Professional または Enterprise 版では、利用しているネットワークのユーザーとグループの監視システムを Portfolio Server のアカウント管理と統合することができます。この方法では LDAP サービス(Windows のアクティブディレクトリ、Mac OS X のオープンデ ィレクトリ)から自動的にユーザーに Portfolio カタログへの接続を許可することができます。ネットワーク管理者や Portfolio Server 管理者、 ユーザーにとっても便利な機能です。

ディレクトリサービスを利用するには、Portfolio Server を LDAP サーバーと統合します。その後ユーザーアカウントを作成する際にそのア カウントを LDAP ユーザーに特定するか、または Portfolio アカウントのネイティブユーザーにするかを設定できます。LDAP ユーザー名と パスワードを使って Portfolio の LDAP ユーザーとしてログインすることができます。

Enterprise 版では、Portfolio 管理者は LDAP ユーザーとグループを Portfolio カタログにマッピングすることができます。ユーザーとグルー プに対してカタログへのアクセスを制限することもできます。すなわち LDAP グループのメンバーを変更するとユーザーのアクセス権も自動 的に変更することができます。

ディレクトリサービス概要

ディレクトリサービス内で Portfolio を動くようにするには以下のステップで行います:

1. 統合するディレクトリサービスの必要システム条件を確認してください。

Portfolio Server ディレクトリサービスは以下の LDAP 実装が必要です:

- Windows Server 2008 R2のアクティブディレクトリ (メーカーのハードウェア推奨はこちら: http://technet.microsoft.com/en-us/library/cc771188.aspx)
- Windows Server 2012 のアクティブディレクトリ (メーカーのハードウェア推奨はこちら: http://technet.microsoft.com/library/jj134246.aspx)
- OS X Server のオープンディレクトリ
 OS X Lion Server Technical Specifications (http://support.apple.com/kb/SP630)
 OS X Mountain Lion Server の技術仕様 (http://www.apple.com/jp/osx/server/specs/)
- 2. 自分のディレクトリサービスと統合します。
- 3. LDAP ユーザーアカウントを作成します。 (Portfolio Server Professional または Enterprise)
- 4. Portfolio カタログにディレクトリサービスのソースをマップします。 (Portfolio Server Enterprise)

利用可能なオプション

ディレクトリサービス

- ユーザーログインと認証に際してより安全なネットワークのために SSL を利用することもできます(必ず正しい SSL 用ポートを利用 してください。デフォルトは 636 です)。
- Enterprise 版のユーザーは Portfolio Server とディレクトリサービスを毎日同期することができます。

グループ/ユーザーマッピング (Enterprise)

- カタログのメンバーシップとして何人でもユーザーやグループを含めることができます。
- カタログに対してユーザーやグループに対して特定のアクセス権を与えることができます。
- 別のユーザーをカタログにアクセスできないようにできます。この機能はグループ設定より強く、もしアクセス可能なグループ内の ユーザーや、後からグループに追加されたユーザーであっても、除外された個人はカタログにアクセスすることはできません。
- Portfolio Server とディレクトリサービスはいつでも手動で同期することができます。

ディレクトリサービスの設定

ディレクトリサービスの統合:

- 1. ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左側の一覧からディレクトリサービスを選択します。
- 3. ディレクトリサービスを設定パネルに、利用しているディレクトリサービスの接続設定を入力します。

ホスト名:ディレクトリサービスの IP アドレス、または DNS 名を入力します。

ポート:LDAP 接続ポートを入力します(デフォルトポートは 389 です)。

SSL を利用する場合は使用 SSL オプションを選択して関連ポートにアップデートします(SSL を使った LDAP デフォルトポートは 636 です)。

タイプ:アクティブディレクトリ (Microsoft Windows) またはオープンディレクトリ (Mac OS X) からディレクトリの種類を選択 します。

LDAP バインドユーザー名:ディレクトリサービスに接続できるユーザー名を入力します。利用しているディレクトリサービスによってユーザー名をどのように入力するかが変わります。

アクティブディレクトリの場合は、以下のようにユーザー名を入力します:

- domain\user (例:mycompany\jsmith)
- user@realm (例:jsmith@mycompany.com)
- 完全な LDAP 識別名(DN)

(例:cn=jsmith,cn=users,dc=MYCOMPANY,dc=COM)

オープンディレクトリの場合は、以下のようにユーザー名を入力します:

- ドメインユーザー名のみ(例: jsmith) この方法では anonymous ディレクトリ認証が可能になっている必要があります。オープンディレクトリではデフォルトで 設定されています。
- 完全な LDAP 識別名(DN)

(例:uid=jsmith,cn=users,dc=MYCOMPANY,dc=COM)

パスワード:LDAP バインドユーザー名のパスワード

毎日の同期: Enterprise ユーザーは1日に一度、LDAP サーバーと Portfolio Server のマッピングを自動的に同期するオプションを選 択できます。このオプションが選択できな場合には、のみ同期が可能です。

ユーザー認証はユーザーがログインするたびに毎回行われます。そのため LDAP ユーザーにより作成された Portfolio アカウントは 同期は必要ありません。

4. 適用ボタンをクリックして Portfolio Server とディレクトリサービスを統合します。

LDAP サービスとの統合が完了すると、ディレクトリサービスの認証を使って Portfolio ユーザーアカウントを作成できます。詳細は**ユーザ** ーの追加 37 ページのを参照してください。

Enterprise ユーザーは特定のカタログに対してユーザーやグループをマッピングすることができます。詳細はディレクトリサービスマッピン グの表示と編集下のを参照してください。

ディレクトリサービスマッピングの表示と編集

Portfolio Server カタログに LDAP ディレクトリの組織(OUs)、グループ、ユーザーのどの組み合わせでもマッピングすることができます。 マッピングを保存した後、ユーザーやグループの追加や削除、カタログから特定のユーザーのみ除外することができます。

マッピングの表示/編集パネルには2つのパートがあります:左側にあるサービスブラウザには、ユーザーとグループの一覧があります。 右側のマッピングには、カタログにマッピングされているユーザーが一覧されています。

サービスブラウザ

サービスブラウザには、既存のユーザー、グループ、組織のディレクトリサービスの問い合わせができます。 検索ベースやクエリーフィルタで検索された結果は、検索結果にユーザーやグループの階層として表示されます。 検索した結果は、カタログのマッピングに利用することができます。

クエリーフィルタ

クエリーフィルタを使うと、検索ベース内の特定のユーザーやグループに制限することができます。

アクティブディレクトリで利用可能なクエリーフィルタ:

- 検索ベース以下のツリー全体:検索ベース内のLDAPツリーの一番高いレベルを表示します。特定のエントリーを手動で参照したい 場合に利用します。
- ディストリビューショングループ:検索ベース内で公開されているすべてのグループを表示します。
- セキュリティグループ:検索ベース内のすべてのセキュリティグループを表示します。
- ユーザー:ディレクトリサービス内のすべてのユーザーをフラットに(階層にしないで)表示します。
- 名前:ユーザーの名前でフィルタをかけられます。このフィルタでは名前の「を含む」「で始まる」「と等しい」などのオプション が利用できます。

オープンディレクトリで利用可能なクエリーフィルタ:

- 検索ベース以下のツリー全体:検索ベース内の LDAP ツリーの一番高いレベルを表示します。特定のエントリーを手動で参照したい 場合に利用します。
- グループ:検索ベース内のすべてのグループを表示します。
- ユーザー:ディレクトリサービス内のすべてのユーザーをフラットに(階層にしないで)表示します。
- cn:cnアトリビュートを使ってユーザーの名前でフィルタをかけられます。このフィルタでは名前の「を含む」「で始まる」「と 等しい」などのオプションが利用できます。

ディレクトリサービスマッピングの作成

ユーザー/グループマッピングはシンプルで自由、そしてパワフルな方法で Portfolio カタログへのネットワークアクセスを可能にします。 Portfolio ユーザーが安定して利用できるように、アカウントマッピングがどのように機能しているのか理解しておくことが重要です。

重要

Portfolio で最初にマッピングされたユーザーアカウントが決定権を持ちます。例えば、編集グループと、制作マッピンググループに所属す るユーザーjennifer がいて、最初に編集グループがマッピングされると、ユーザーjennifer は、制作グループに割り当てられるアクセス 権に関係なく、編集グループのアクセスを持ちます。同様にグループに割り当てた後、個別のアカウントにマッピングしても、グループの マッピングが保持されます。

はじめにユーザーアカウントをマップさせてから、次にグループアカウントをマッピングさせると良いでしょう。

個別のユーザーアカウントの除外はいつでも可能です。

ディレクトリマッピングの作成:

ターゲットカタログ右側にあるユーザー/グループマッピングパネルにあるターゲットカタログドロップダウンメニューからマッピングするカタログを選択します。
 すでにこのカタログにマッピングが作成されている場合は、それが表示され編集することができます。

3 種類の方法からマッピングターゲットを選択することができます:

- 特定のカタログ:複雑なユーザーとグループマッピング向けです。
- 全カタログ:多くのカタログにユーザーをマッピングする際に便利です。
- なし:ディレクトリサービスユーザーを取り込み、Portfolio アカウントを自動的に作成できます。そのユーザーをカタログ に手動で割り当てることができます。
- 2. 左側の検索結果からエントリーを選択できます。

ユーザー 🌆、グループ 💁、組織 🚞の、どの組み合わせでも選択することができます。

- サービスブラウザの下にあるマッピング作成をクリックします。
 マッピングパネルに選択したエントリーをドラッグすることもできます。
- 4. 特定のユーザーをマッピングから除外するには、検索結果内でユーザーを選択してから、除外ユーザーをクリックします。
- 5. マッピングパネル内のユーザーまたはグループエントリーの横にあるドロップダウンメニューから各ユーザーのアクセスレベルを選 択することもできます。
- 6. マッピング保存をクリックします。これで Portfolio Server はディレクトリサービスと同期を行い、選択したカタログに対して特定 のユーザーを追加します。

自動同期とグループアップデート

グループ内の各ユーザーではなくグループ自体をマッピングする大きな利点は、将来的にこのグループに追加されるメンバーは同じカタログのメンバーに追加される点です。ユーザーはネットワークログイン情報でカタログにすぐにアクセスできるようになります。

アクセス可能なグループ内のユーザーであっても、特定のユーザーがカタログにアクセスできないように**除外ユーザー**機能を利用することが できます。

グループ内の一部のユーザーのみをカタログにアクセスさせたい場合は、グループを追加してからその他のユーザーを除外するのではなく、 アクセスさせたい各ユーザーを個別にカタログに追加することをお勧めします。グループで追加すると後からグループに追加されたユーザー も自動的にカタログへのアクセス権を持ってしまうためです。

既存のカタログマッピングの編集

保存したマッピングを編集することができます。Portfolio Server Admin アプリケーション内のディレクトリサービスをクリックして、マッ ピングの表示/編集をクリックします。右側のパネルにあるターゲットカタログドロップダウンメニューからカタログを選択します。

マッピングを編集する間、いつでもユーザーとグループをフィルタするサービスブラウザを利用できます。

既存のマッピングからユーザーやグループを除外するには、右側のパネルからユーザーまたはグループ名を選択してから、ソースの削除をク リックします。

マッピングに新規ユーザーまたはグループを追加するには、左側のサービスブラウザ内のユーザーまたはグループを選択してから、マッピン グ作成をクリックします(または選択したユーザーを右側のパネル内のマッピングにドラッグします)。

Portfolio カタログからユーザーを除外するには、サービスブラウザ内でユーザーを選択して、ユーザー除外をクリックします。このユーザ ーがどのグループに属しているかに関わらず除外されていることを示すために、マッピング内にこのアイコン & と共に追加されます。

変更を保存しないで変更をキャンセルするには、右側のパネルの下にある元に戻すをクリックします。

変更を保存するには、右側のパネルの下にあるマッピング保存をクリックします。

Portfolioとディレクトリサービスの同期

この設定は Portfolio Server Enterprise 版のみ利用できます。

Portfolio カタログにディレクトリサービスのアカウントをマッピングしている場合は、定期的に Portfolio をディレクトリサービスと同期さ せる必要があります。

新規またはマッピングの変更、すぐに Portfolio にディレクトリサービスの変更を適用したい場合は、手動で Portfolio とディレクトリサービ スを同期することができます。

手動でディレクトリサービスと同期する:

- 1. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左側のディレクトリサービスをクリックします。
- 3. ディレクトリサービス設定パネルの下にある今すぐ同期するをクリックします。

自動的に1日に1度 Portfolio Server とディレクトリサービスを同期させることもできます。

ディレクトリサービスの同期設定を変更する:

- 1. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左側のディレクトリサービスをクリックします。
- 3. ディレクトリサービス設定パネルにある毎日同期オプションを選択(または選択解除)します。
- 4. 適用をクリックして新しい設定を保存します。

ディレクトリサービス設定の削除

ディレクトリサービスの設定を削除したい場合、簡単な方法としてはディレクトリサービスと Portfolio Server の接続を切り離します。この 場合サービスを通じて設定されたユーザーは自動的に同じパスワードとユーザー名を持つ Porfolio のネイティブユーザーに切り替わります。 注意:このパスワードはできるだけ早く変更するべきです。

ディレクトリサービス設定を削除するには:

- 1. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左側の一覧にあるディレクトリサービスをクリックします。
- 3. ディレクトリサービスパネルにあるサービス削除をクリックします。

カタログの管理

Portfolio デスクトップクライアントを使用して行わなければならないカタログ管理作業は多数あります。たとえば、次のような場合です:

- カスタムフィールド、マスターキーワードリスト、およびその他の機能を追加することでニーズに合わせる、カタログのカスタマイズ
- データを格納するためのオートシンクフォルダの作成

注意

デスクトップクライアントから管理者モードでログインすると、そのカタログのカスタムフィールドの作成、メタデータ設定のアップデー トが行えます。詳細は*デスクトップクライアントユーザーガイド*またはヘルプシステムを参照してください。

カタログのカスタマイズ

カタログには、ユーザーのニーズに合わせてカスタマイズ可能な個所があります。

カタログのカスタマイズはすべて、Portfolio デスクトップクライアントで行います。各カタログ機能の詳細については、Portfolio デスクト ップユーザーガイドを参照してください。

一般的に、管理者が設定を希望するのは、次のカタログプロパティです。

- カスタムフィールド:ユーザーのワークフロー特有のフィールドです。必要なタイプの情報を入力できるカスタムフィールドを追加 することができます。たとえば、フォトストックから購入した写真や映像のコピーライト情報とライセンス情報を一緒に保存するこ とができます。
- マスターキーワードリスト:このリストは、キーワード入力の一貫性を保つ上で非常に役立ちます。カタログ内での一貫性を確保す るために、ユーザーがいつでもマスターキーワードリストからキーワードを入力するようにできます。たとえば、自動車のすべての 写真のキーワードを車ではなく、自動車に統一することができます。
- デフォルトのフィールド値:一般的な設定があるフィールドについては、フィールドデータを手作業で入力しなくてよいように、そのフィールドのデフォルト値を設定することができます。たとえば、プロジェクトステータスのカスタムフィールドのデフォルト値をアイデアにしておくことができます。
- カタログ作成オプション:これらのオプションは、カタログへのデータの追加方法を決定します。

オートシンク

オートシンクは Portfolio の最も重要で強力な機能の1つです。ネットワーク上の任意のフォルダの内容を Portfolio のカタログと同期させた り、その逆を行える素晴らしい機能です。また、Portfolio ウェブクライアントのユーザーがカタログに対してどこにファイルをアップロー ドするかを定義する方法でもあります。

オートシンクフォルダは、Portfolio デスクトップクライアントで追加する必要があります。

オートシンクとは?

オートシンクでは、ネットワーク上の特定のフォルダと Portfolio カタログのアイテムの間にリンクを作成します。

(Mac の Finder または Windows エクスプローラを用いて) そのフォルダに移動したファイルは、自動的に Portfolio でカタログ化され、 Portfolio カタログに自動的に登録されます。

オートシンクはディスク上にあるフォルダとファイルを表示するだけではありません。Portfolio デスクトップクライアントと共にオートシンクを使えば、フォルダの作成、移動、削除を行うことができ、事実上 Portfolio からファイルサーバーの管理、およびカタログ化されたファイルを任意の場所に置くことが可能になります。

オートシンクの典型的な使用方法:

- Portfolio カタログからサムネールをフォルダにドラッグして、Portfolio でディスク上のファイルを整理できます。
- ハードディスク(またはネットワーク)から既存の階層構造のフォルダを Portfolio の「フォルダパレット」に追加し、「同期」ボ タンを一度クリックするだけで、すべてのフォルダの内容をカタログ化します。
- Portfolio でネットワーク上の任意の数のフォルダを監視し、これらのフォルダにファイルが追加されたり、これらのフォルダのファ イルが変更されたり削除されるたびに、視覚的に警告を行います。
- Portfolio を終了することなく、または Portfolio カタログを手動で更新することなく、カタログ化されたファイルをネットワーク上のフォルダから別のフォルダへと移動できます。
- ワークグループの他のユーザーが、オートシンクが監視しているフォルダに対し、ファイルをドロップするだけで、カタログにアイ テムを追加できます。同期ボタンを一度クリックするだけで、それらのファイルをカタログに移動できます。

オートシンクと、Portfolio デスクトップクライアントおよび Portfolio ウェブク ライアントの関係

Portfolio ウェブクライアントを導入すると、オートシンクはウェブクライアントのユーザーにとって重要な機能となります。適切なアクセ スレベルのウェブクライアントユーザーは、オートシンクを介して、ファイルサーバーにあるカタログにアイテムを追加することができます。 ウェブクライアントユーザーがファイルをアップロードできるようにするには、カタログは最低1つのオートシンクフォルダを持っている必 要があります。

カタログ管理者は、デスクトップクライアントを使ってオートシンクフォルダの作成や管理が行えます。

デスクトップと、ウェブクライアントユーザーが、開いているカタログ内のオートシンクフォルダの中に、カタログ内のアイテムをドラッグ すると、オリジナルファイルもオートシンクフォルダのディレクトリに移動します。

フォルダパレットの表示

Portfolio デスクトップクライアントでオートシンクフォルダを使うには、フォルダ表示パネル(Windows)またはドロワー(Mac)を表示 する必要があります。まだ表示されていない場合は、**表示>フォルダ**を選択してください。最初、フォルダパレットは空白です。Portfolio と 同期させるハードディスクまたはコンピュータネットワーク上にある任意のフォルダは、追加された後にこのパレット内に表示されます。

オートシンクフォルダの作成

オートシンクフォルダの利点は、Portfolio Server が、ファイルサーバー上のディレクトリに移動されるカタログのアイテムを監視し、自動 的に追加することです。このため、Portfolio Server がオートシンクフォルダを自動的に更新している間、カタログで他の作業を行うことが できます。新しいオートシンクフォルダは、Portfolio Server からアクセス可能な共有上に配置してください。マウントされている共有 (Mac)またはネットワークを通してブラウズ可能な共有(Win)に含まれているフォルダのみを追加できます。

カタログ作成時にオートシンクフォルダを作成する

Portfolio カタログを作成する際に、そのカタログ用のオートシンクフォルダを Portfolio Server 内で作成することができます。

この方法は簡単に実行でき、なおかつウェブクライアントユーザーがすぐに利用を開始することができます。

このオプションを利用する場合は、Portfolio Server のブートドライブ上に十分な容量が空いていること、クライアントが今後追加するファ イルがどのくらいの容量になるのかを把握しておくことが重要です。 カタログ作成時にオートシンクフォルダを作成するには:

- 1. ウェブブラウザを起動して、Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューのグローバル設定をクリックします。
- 3. デフォルトカタログをクリックします。
- 新規カタログのオートシンクフォルダを次のフォルダ内に作成のチェックボックスにチェックを入れます。 フィールド内のパスはできるだけそのままにしておきます。もし変更する場合は、そのフォルダに Portfolio Server が継続的に読み 書きできるアクセス権が必要です。
- 5. メインメニューのカタログをクリックします。
- 6. 新規カタログを追加をクリックします。
- 7. カタログの種類、ストレージの種類を選択し、カタログ名を入力します。
- 8. オートシンクフォルダを作成チェックボックスにチェックを入れます。
- 9. 作成をクリックします。

オートシンクフォルダにはカタログ名に"Files"がついた名前が付与されます。作成したカタログ名が"Big Client"の場合は、オートシンクフォ ルダ名は"Big Client Files"となります。

このフォルダに設定されている同期設定は以下の通りです:

- フォルダ内の変更を常に監視する
- 変更が見つかった時に同期する
- カタログにあるアイテムのオリジナルファイルが見つからないとき、カタログ内にアイテムを残す

これらの設定を変更する場合の詳細はオートシンクフォルダの設定の変更 51 ページのを参照してください。

デスクトップクライアントからオートシンクフォルダを作成する

オートシンクフォルダを作成するには:

- フォルダ表示パネル/ドロワー内の監視フォルダを追加ボタンをクリックします。フォルダ表示パネル(Windows)またはドロワー(Mac)が表示されていない場合は、表示>フォルダを選択します。
- オートシンクフォルダとして監視したいフォルダを指定して参照をクリックします。Portfolio Server のスピードを快適にするために は、監視フォルダをできるだけ増やさずにしておく必要があります。複数の監視フォルダを作成したい場合は、1つのフォルダにま とめ、まとめたフォルダを監視フォルダに指定します。
- 3. オートシンクの設定ダイアログボックスで、次のオプションを選択します:

監視および同期のオプション:フォルダ内の変更をつねに監視するオプションでは基本的に、サーバーがオートシンクフォルダの変 更の有無を確認するタイミングを指定します。変更が見つかると、フォルダパレットでフォルダ名がハイライトされます。 同期するタイミング:このオプションを使用すると、オートシンクフォルダ(監視フォルダ)にあるアイテムをカタログに追加する 間隔、またはカタログから削除する間隔を設定できます。

同期時にカタログ作成オプションのプリセットを使用する:このオプションを使うと、保存したプリセットをカタログ作成時に使用 することができます。カタログ作成時のプリセットを作成して保存しておくと、そのプリセットがドロップダウンリストに含まれま す。

プリセットにはコピー、移動、ファイル名変更機能を含めることができますが、 同期時に使用する際にはプリセットのこうした機 能は無視されます。基本的に、カタログ作成プリセットのプロパティの割り当て(フィールド名、説明、キーワード)のみが使用さ れます。保存したプリセットがプロパティの割り当てを含んでいない場合は、ドロップダウンメニューには表示されません。

カタログ作成オプションのプリセットを作成し、保存する詳しい手順については、Portfolio デスクトップクライアントユーザーガイドの Portfolio の設定を参照してください。

カタログ内のアイテムに対するオリジナルが見つからないとき:このオプションでは、オートシンク同期中にオリジナルファイルが 見つからなかった場合にカタログ内のアイテムを保持するか、削除するかを指定することができます。

フォルダの並べ替え設定:フォルダの並べ替え設定は、最初にフォルダを開いたときに Portfolio デスクトップクライアントが表示 を並べ替える方法を指定します。任意のフィールドを使ってアイテムを並べ替えるか、このフォルダの現在のカスタム並べ替えを適 用することができます。現在のカスタム並べ替えを適用する場合は、作成したカスタム並べ替えが、そのカタログレベルのフォルダ に適用されます。

- 4. OK をクリックしてオートシンク設定を反映します。
- ネットワークボリュームダイアログでクライアントからオートシンクフォルダに接続する方法を選択します。
 利用可能な各オプションの詳細は、ダイアログ内でオプションを選択すると下に表示される説明をお読みください。

注意

Xsan ボリューム内にオートシンクフォルダを作成する場合は、Direct と表示される接続を選択してください。

6. 選択をクリックしてオートシンクフォルダを作成します。

オートシンクフォルダの設定の変更

オートシンクフォルダを作成した後、オートシンクの設定は簡単に変更することができます。

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動し、公開されているカタログに接続します。
- 2. フォルダパネルを開き、オートシンクフォルダを選択します。
- 3. フォルダパネルの上部にあるオートシンクの設定ボタンをクリックします。
- 4. オートシンクの設定ダイアログボックスで、必要な設定を変更して OK をクリックします。

オートシンクフォルダの詳細

オートシンクフォルダとローカルパス

現在の Portfolio クライアントと同じコンピュータにオートシンクフォルダを追加すると、Portfolio は、多数の共有選択オプションを表示します。共有選択オプションは、すべて新しいオートシンクフォルダへの有効なパスです。設定に最も適した共有パスを選択してください。

注意

デスクトップシステム上のローカルパスは、2つの理由から、ネットワークで共有する必要があります。この2つの理由とは、ファイルをカ タログに追加するために Portfolio Server がファイルにアクセスできるようにすることと、Portfolio デスクトップクライアントのユーザーが ネットワークを介してファイルにアクセスできるようにするためです。

Portfolio Server へのローカルオートシンクフォルダ

Portfolio Server と同じコンピュータにオートシンクフォルダを追加すると、これらのフォルダを同期するのに必要なネットワークトラフィ ックの量を抑えることができます。このため、同じコンピュータ上に共有を作成し、オートシンクフォルダを追加する場合は、これらのフォ ルダの同期速度が、ローカルでないオートシンクフォルダの同期より著しく向上します。

重複した共有名を利用しない

異なるターゲットディレクトリを持つが、同じ名前である共有の追加は避けてください。たとえば、1 つが C:/mystuff/pictures/、もう 1 つが C:/documents/pictures/を指す、pictures という名前の 2 つの共有があるとします。オペレーティングシステムと Portfolio Server の内部優先度により、予期しない結果になることがあります。

Machintosh マウント共有

Portfolio Server を Macintosh 環境で実行している場合は、ユーザーが作成したオートシンクフォルダを含んでいる可能性があるすべてのネットワーク共有をサーバーにマウントすることが必要です。また、Windows 版の Portfolio クライアントから Macintosh 版の Portfolio Server で公開されているカタログにオートシンクフォルダを追加する場合は、Macintosh 版のサーバーがマウントしている同一の 共有にナビゲートする必要があります。

共有の種類と用途

共有の種類	説明	用途
AFP	Apple File Protocol による共有。これは、Mac OS X で固 有のファイル共有方法です。	AFP は、Macintosh のみまたは Macintosh が混在した環境 で使用します。Windows ベースのサーバーでは、 Macintosh サービスを使用可能にする必要があることがあり ます。
SMB	Samba Protocol による共有。Macintosh、Windows、 Unix/Linux 間のクロスプラットフォームに対応した共有 方法です。	SMB は、プラットフォームが混在した環境で使用します。 SMB は、AFP よりも命名規則が制限されており、作成日や 変更日などの一部のファイルプロパティをやり取りしませ ん。
ローカルドライブ	ローカルボリュームでの共有。	このオプションは、サーバーボリューム全体をマウントで きる場合だけ使用します。このオプションは、主にテスト 用です。
ダイレクト	サーバーとクライアントある同じコンピュータ上のフォル ダ	Xsan ボリューム用、またはクライアントとサーバーが常に 同じコンピュータ上にある場合に使用します。

オートシンクプロセスの停止

オートシンクプロセスを停止するには、Portfolio デスクトップクライアントを使用して、公開されているカタログからオートシンクフォル ダを削除するか、Portfolio Server Admin アプリケーション内でカタログの公開を中止します。どちらを行っても、同期プロセスは停止され ます。

オートシンクフォルダを削除した場合は、カタログにフォルダを再追加することで、必要に応じて同期を再開できます。

カタログの公開を中止した場合は、カタログを再公開すると、オートシンクはカタログの公開を中止したポイントから自動的に再開します。

Portfolio Server の管理

Portfolio Server のバックアップ

アクシデントは起こります。誰にでも、ラップトップを落としたり、ハードディスクが壊れたり、ネットワーク接続が最悪のときにダウンす るという可能性があります。

バックアップすべき最も重要なファイルは、Portfolio カタログ、データベースフォルダ、オリジナルファイル、プレビュー画像です。

Portfolio カタログは、ネイティブの Portfolio FDB カタログフォーマットで格納することも、SQL データベースで Portfolio SQL Connect を使 用して格納することもできます。

Portfolio Server データ

FDB ファイルには、すべてのアセットのメタデータ、オリジナルファイルおよびプレビューファイルの位置などの、ファイルについてのすべての情報が格納されています。Portfoliio Server データベースフォルダには、ユーザーやカタログアクセスレベルなどのサーバー設定情報が保存されています。

FDB カタログファイルと、Portfolio Server データベースフォルダをバックアップするには、すべてのユーザーをログオフさせ、Portfolio サ ービスを停止しなければなりません。次のバッチファイルのいずれかを使用すると、自動的にユーザーをログオフさせ、Portfolio サービス を停止することができます。

Windows のバッチファイル

メモ帳などのテキストエディタを使用して、次のバッチファイルを作成します。もちろん、以下のファイル名やディレクトリ情報は実際のものに置き換える必要があります。ファイルの場所は OS によって異なります。このファイルは.BAT 拡張子を付けて保存してください。

注意:以下の各コマンドは一行で入力してください。コマンドラインはスペースで分けられます。

```
net stop "Portfolio Server"
net stop "Portfolio Server Admin"
net stop "PortfolioPG"
timeout /T 30
xcopy /V /Y /Z "%SYSTEMDRIVE%\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-
server\Catalogs\*.fdb" "C:\backuplocation\applications\native-server\Catalogs\"
xcopy /V /Y /Z "%ALLUSERSPROFILE%\Extensis\Portfolio\data" "C:\backuplocation\data\database\"
net start "PortfolioPG"
net start "Portfolio Server Admin"
net start "Portfolio Server"
```

Portfolio Server を再起動した後、NetPublish を利用している場合はこちらも再起動が必要です。同じサーバーマシン上で NetPublish が動い ている場合は、バックアップスクリプトに以下のコマンドを追加することができます:

net stop "Portfolio NetPublish" timeout /T 10 net start "Portfolio NetPublish"

このスクリプトを利用して、NetPublish サービスをリモートで再起動させるには、以下の行をバックアップスクリプトに追加します。 NetPublish server をリモートで再起動させるには、NetPublish server の管理者アクセスのドメインユーザーアカウント内でこのスクリプト を実行する必要があります。

sc \\NETPUBLISHSERVERHOSTNAME stop NetPub
timeout /T 10
sc \\NETPUBLISHSERVERHOSTNAME start NetPub

You may also want to back up your server's configuration file, QuickFind settings and script files. To do so, add the following lines to your backup script.

```
xcopy /V /Y /Z "%SYSTEMDRIVE%\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\portfolio
server files\Configuration.txt" "C:\backuplocation\applications\native-server\portfolio server files\"
xcopy /V /Y /Z "%SYSTEMDRIVE%\Program Files\Extensis\Portfolio Server\data\quickfind.xml"
```

"C:\backuplocation\data\"

xcopy /V /Y /Z "%SYSTEMDRIVE%\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\mediaengine\Shared\Originals\Scripts" "C:\backuplocation\applications\media-engine\Shared\Originals\Scripts\"

Windows Explorer でアイコンをダブルクリックするか、コマンドラインインターフェイスからこのバッチファイルを実行します。

Windows の Scheduled Tasks 機能を使用すると、このバッチファイルを必要に応じて自動的に実行するようにスケジューリングできます。 詳しい手順については、Microsof Windows のドキュメントを参照してください。

Macintosh スクリプト

テキストエディットなどのテキストエディタを使用して、次のシェルスクリプトを作成します。ファイルはプレーンテキストとして作成し、.SH 拡張子を付けて UTF-8(Unicode)形式で保存します。使用しているエディタにオプションがある場合は、UNIX の改行コードを選択します。

注意:以下の各コマンドは一行で入力してください。

#!/bin/sh

SystemStarter stop ExtensisDamServer

launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.extensis.dam-server.web.admin.launchd.plist
sleep 30

ditto -rsrc "/Applications/Extensis/Portfolio Server/data/database" "/backuplocation/data/database"
launchctl load /Library/LaunchDaemons/com.extensis.dam-server.web.admin.launchd.plist
SystemStarter start ExtensisDamServer

同じサーバーマシン上で NetPublish が動いている場合は、バックアップスクリプトに以下のコマンドを追加することができます:

SystemStarter restart "Portfolio NetPublish Server"

サーバーの設定ファイル、クイック検索設定、スクリプトファイルもバックアップすることができます。実行するには以下のコマンドをバックアップスクリプトの最後の launchctl コマンドの前に追加してください:

ditto -rsrc "/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/native-server/portfolio server files/Configuration.txt" "/backuplocation/applications/native-server/portfolio server files/Configuration.txt"

ditto -rsrc "/Applications/Extensis/Portfolio Server/data/quickfind.xml" "/backuplocation/data/quickfind.xml"

ditto -rsrc "/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/media-engine/Shared/Originals/Scripts"
 "/backuplocation/applications/media-engine/Shared/Originals/Scripts"

このスクリプトは、cron コマンドを使用して自動化することができます。このコマンドの詳細については、ターミナルウィンドウで man cron と入力します。Mac OS X のスクリプト機能の詳細については、次の Web サイトを参照してください:

http://www.macdevcenter.com/pub/a/mac/2003/11/07/scripting_osx.html

SQL ベースのカタログ

SQL データベースを利用しているユーザーは、Portfolio Server データベースと一緒に、SQL データベースをバックアップする必要があります。

SQL のバックアップ方法は、インストールされている SQL サーバーにより異なります。これらのデータベースは SQL データベースで通常行 うようにバックアップします。バックアップ方法の詳細については、インストールされている SQL のドキュメントを参照してください。

このバックアップから復元するには、ご使用中の SQL の、バックアップから新しい SQL データベースへの復元についてのガイドラインに従ってください。この処理が完了したら、SQL データベースの公開 91 ページのを参照してください。使用する前に、管理者は新しく復元されたカタログにユーザーを割り当てる必要があります。

プレビュー画像ディレクトリ

カタログに関連する画面プレビューファイルをバックアップすることも重要です。

プレビュー画像の格納に現在使用されているディレクトリを見つける場合:

- 1. ウェブブラウザを起動して、Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューのカタログをクリックします。
- 3. カタログパネルでカタログを選択します。
- 4. カタログ詳細情報を表示/編集をクリックします。
- 5. 詳細 パネルのプレビュータブを選択します。プレビューファイルへのディレクトリパスが表示されます。

プレビュータブで示された場所の中身を、FDB または SQL データベースとともにバックアップします。 プレビューファイルのバックアップ には、サードパーティーのバックアップ専用ツールを利用すると良いでしょう。

オリジナルファイルのバックアップ

Portfolio はカタログに登録されているオリジナルファイルのバックアップを自動では行いません。Portfolio のいくつかの機能ではオリジナ ルファイルを若干変更する場合があるので、オリジナルファイルを含む重要なデータのバックアップしておく必要があります。

元ファイルの安全を確実にするには、RAIDシステムなどを採用します。またはサードパーティーのバックアップソフトウェアを使った定期 的なバックアップをお勧めします。

Portfolio Serverとアセット処理のログ

Portfolio Server のログは、パフォーマンスとエラーについての情報を持つ少ない簡単なテキストファイルです。Extensis のテクニカルサポートでは、問題が発生した際に以下のログファイルのいくつかのご提供をお願いすることがあります。

デフォルトでは、ログファイルは以下の場所に保存されています:

64-bit Windows: C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\logs\ C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\logs\<server_name>\ 32-bit Windows: C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\logs\ C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\logs\<server_name>\ Macintosh: /Applications/Extensis/Portfolio Server/logs/ /Applications/Extensis/Portfolio Server/logs/ <server_name>には Portfolio Server が起動しているコンピュータ名が入ります。

Portfolio Server Admin アプリケーションでできること:

- ログファイルに含める情報レベル
- 日々の server.log ファイルの保持数
- ログファイルの保存場所の変更

server.log と jetty.log ファイルに書き込む情報を変更する:

- 1. ブラウザを起動して、Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左側のメニューからグローバル設定をクリックします。
- 3. ログ設定をクリックします。
- ログレベルドロップダウンメニューから、情報レベルを選択します: Error:エラーメッセージのログのみ Info:エラーログと特定の他のイベントに関する情報 Debug:エラーログとすべてのイベントに関する情報
- 5. 適用をクリックします。

注意:Debug レベルを選択するとログファイルサイズが非常に大きくなります。Extensis サポートが必要とした場合のみ利用してください。

server.log ファイルの保持数の変更:

- 1. ブラウザを起動して、Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左のメニューからグローバル設定をクリックします。
- 3. ログ設定をクリックします。
- 4. 保存するログ数フィールドで、保存させるログファイル数を指定できます。
- 5. 適用をクリックします。

毎日深夜に Portfolio Server は現在の server.log ファイルを閉じ、前日の日付をファイル名に付けます。そして新しい server.log ファイ ルをスタートします。

Portfolio が保存するログファイルの場所を変更することができます:

- 1. ブラウザを起動して、Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. 左のメニューから**グローバル設定**をクリックします。
- 3. ログ設定をクリックします。
- 4. ログディレクトリフィールドに、Portfolio Server が生成するログファイルを保存したい場所のパスを入力します。
- 5. 適用をクリックします。

注意

- 新しいフォルダは既存のものである必要があります。Portfolio Server がフォルダを作成することはありません。
- server.log ファイルのみ新しい場所に移動されます。
- Macintosh では、パスは Portfolio Server がブートしているボリュームのルートディレクトリから始まる必要があります。
- Windows では、ドライブ名から始まるパス、または\\computer_name\share_name\...\folder のような UNC パスが利用できます。

ログファイル

ログファイルは以下のとおりです(YYYY は4桁の年号、MM は2桁の月、DD は2桁の日付が入ります):

logs/admin_server.log: これは Portfolio Server Admin アプリケーション内の内部ウェブコンテナ用のログファイルです。これは Portfolio Server から独立して実行されるので、Portfolio Server の停止や再起動をした場合でもこのサービスは実行されています。このログ は Portfolio Server Admin アプリケーションへログインする場合に発生する問題を診断する際に役立ちます。

logs/admin_server_access.<YYYY_MM_DD>.log:このログファイルには、HTTP アクション、IP アドレス、レスポンスコードによるウェ ブサーバーのリクエストが保存されます。

logs/boot.log: このファイルは JBoss サーバーが起動する際に生成されます。一般的なデバッグ情報、バージョン情報、Java システムプロパティを記録します。一度 JBoss が起動すると、定期的なログが取られるためこのファイルは利用されません。JBoss を再起動するたびにこのファイルは削除されます。

logs/extensis.admin.log: このファイルには、Portfolio Server Admin アプリケーションのステータスに表示される、すべての起動・シャットダウンメッセージが含まれます。

logs/jboss-wrapper.log(Windows のみ): このファイルには、JBoss service wrapper による Java プロセスが開始する際の低いレベル のメッセージが含まれます。Java プロセスの起動の失敗などのエラーがわかります。

logs/media-delegate.log

logs/media-delegate_access.<YYYY-MM-DD>.log

logs/mgen.log:通常のアウトプットと MediaRich エンジンのエラーが含まれます。

logs/native-server.log: Portfolio Server が出すメッセージと、Portfolio Server Admin コンソールで表示されるメッセージが含まれます。

logs/server.log:メイン JBoss サーバーのログファイルです。

logs/<server_name>/MediaGenerator-<MMDDYYYY>.log: このログファイルには、Media Engine が引き受けるすべての処理が記録されま す。どのような理由であっても Media Engine がデータを処理できなかった場合、このログにエラーが記録されます。 **logs/<server_name>/ScriptErrors-<MMDDYYYY>.log**: このログファイルは、Media Engine がエラー結果を出した場合に生成されます。 このログのエラー記録から正しくないスクリプトや他のエラーがわかります。例えば、Portfolio ウェブクライアントがファイルダウンロー ドや変換など、メディアエンジンの操作を実行した際の情報など、メディアエンジンの操作、他からの操作が含まれます。

設定ファイル

Portfolio Server には、Portfolio Server Admin アプリケーションでは利用できない高度な設定項目があります。たとえば、次のような場合です。

- Windows 認証の許可: SQL データベースへの、Windows 認証による信頼関係のある接続を許可します。
- リスナーIP: サーバーがクライアント接続を受信待機する IP アドレスを制御します。
- ログカテゴリ:特定の機能領域をベースに、Portfolio Server のログレベルを拡張する機能です。

設定ファイルは、名前が configuration.txt で、どのテキストエディタでも編集することができます。このファイルは、サーバー上の次の ディレクトリにあります。

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\portfolio server files\ 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\portfolio server files\ Macintosh

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/native-server/portfolio server files/

Windows 認証と設定ファイル

Windows 認証による SQL データベース接続の許可

Portfolio SQL Connect と MS SQL Server では、Windows 認証を使ってデータベースとの信頼関係のある接続を確立することができます。

注意

この処理を正しく機能させるために、Portfolio Server はドメインユーザーとして動作している必要があります。詳細は**ドメインユーザーア** カウントオプション 10 ページのを参照してください。

Windows 認証による接続を許可する場合:

- 1. テキストエディタで configuration.txt を開きます。
- 2. 次の行からコメント(#)を外します。

#AllowWindowsAuthentication = yes

3. ファイルを保存しして、Portfolio Server を再起動します。

Windows 認証による信頼関係のある接続を有効にする場合:

- 1. Portfolio Server Admin Web アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューで、カタログリンクを選択します。
- 3. カタログパネルで、新規カタログを追加を選択します。
- 4. 新規カタログを追加パネルで、ドロップダウンメニューからカタログの種類を選択します。
- 5. ストレージの種類として SQL を選択します。
- 6. データベースのドライバのドロップダウンメニューで正しい SQL ODBC ドライバが選択されていることを確認します。
- 7. データベースを表示ボタンをクリックし、Windows 認証による信頼関係のある接続でサービスを行いたいデータベースを選択します。
- 8. データベースのユーザー名に trusted を指定し、データベースのパスワードフィールドは空白のままにします。

注意

trusted を入力する前に、configuration.txt ファイルを編集しておく必要があります。

9. 作成ボタンをクリックします。

注意

信頼関係のある Windows 認証を使用可能にする前にすでに Portfolio Server でそのデータベースが提供されていた場合、Portfolio Server 内のそのデータベースのカタログエントリを、信頼関係のある Windows 認証を使用可能にする手順に進む前にまず削除しなければなりません。その後このデータベースを、Portfolio Server を介し、信頼関係のある Windows 認証によって提供し直すことができます。

設定ファイルによる IP アドレスの指定

デフォルトでは、Portfolio Server と SQL Connect は、サーバー上にあるすべての IP アドレスと、デフォルトポート **2903** で受信待機してい ます。自分で特定のポート番号を指定することもできます。ポート番号を指定するには、Portfolio Server が使用するポート番号の更新につ いてのセクションで詳細を参照してください。

特定の IP アドレスを設定する場合:

- 1. テキストエディタで configuration.txt を開きます。
- 2. #ListenerIP のテキストから始まる行を見つけます。
- 3. この行からコメントインジケータ(#を削除し、IPアドレスを希望するアドレスに変更します。例:

ListenerIP = 127.0.0.1

4. ファイルを保存して Portfolio Server を再起動します。

設定ファイルによるデータベースイベントのロギング

Portfolio Server や SQL データベースの問題を診断できるように、native-server.log ファイルに、一般的なデータベース操作を保存する ことができます。デフォルトでは、起動、シャットダウン、エラーメッセージがログに保存されます。

ログに追加できる操作は次のとおりです:

コマンド	アクション	
REQUEST	すべての要求をログに記録する	
DB_SQLSTORE*	SQL 操作をログに記録する	
DB_QUERY*	データベースエンジンに送られた実際の SQL クエリーをログに記録する	
GENERAL_DEBUG	一般的なデバッグ情報をログに記録する	
AUTO_SYNC	オートシンク操作をログに記録する	

*Enterprise Solution Pack を利用している場合のみ:

ログに記録する項目を変更する場合:

- 1. テキストエディタで configuration.txt を開きます。
- 2. 具体的なログカテゴリを有効にする場合は、次の行からコメント(#)を外します。

#LogCategories =

3. 追跡する操作をコンマで区切って追加します。例:

LogCategories = GENERAL_DEBUG, AUTO_SYNC

4. ファイルを保存します。

ウェブクライアントの管理

管理者は、ユーザーに対する Portfolio ウェブクライアントの動作に影響する設定を行うことができます。設定できるのは、ユーザーがクイ ック検索機能でファイルを検索する方法や、カタログのグリッド表示およびリスト表示のフィールドです。

ウェブクライアントのデフォルト表示設定

カタログ管理者は、Portfolio ウェブクライアントにアイテムを最初にどのように表示させるかを設定できます。

フィルタされたフィールド

Portfolio ウェブクライアント内の様々な表示内で表示させるフィールドを設定することができます。以下の各表示モードでは、フィルタさ れたフィールドのカスタムリストを共有します。

グリッド/サムネイル表示:各サムネイルの下に表示するフィールドを設定します。

リスト表示:リスト内のコラムに表示するフィールドを設定します。

プロパティパネル、検索メニュー、ソートメニュー:プロパティパネルと、ソート順、検索条件メニュー内に表示させるフィールドを設定します。

プレビューモード:プレビューモードのプロパティパネル内に表示するフィールドを設定します。

フィールドを選択するには:

- 1. フィールドフィルタをクリックして、フィールドフィルタを編集を開きます。
- 2. すべてのフィールドメニューから、表示したいフィールドを選択します。
- 3. 左のリストから右のリストへフィールド名をドラッグします。
- 4. リストから削除する場合は、右のリスト内の名前をダブルクリックします。
- 5. 表示したい順に右側のリスト内で名前をドラッグして並べ替えます。
- 6. フィールドメニューから、各表示オプションごとのフィールドを選択します。
- 7. フィールドの選択が終わったら、保存をクリックします。

その他の表示オプション

- ソート順メニューから、アイテムをソートするためのフィールドを選択します。
 注意:表示されないフィールドでもアイテムのソートに利用できます。
- ソート順メニューの右にある、ソート順を決める三角形をクリックして、昇順(頂点が上)、または降順(頂点が下)を設定します。
- ウィンドウの下にあるメニューから、1ページ内に表示させるアイテム数を選択します。

最初の表示

デフォルト設定を保存する前に、表示アイコン (===、==、または==) をクリックして、最初に表示する表示を設定します。

表示設定の保存

カタログの表示設定を保存するには、ウェブクライアントの右上にあるユーザーメニューから、表示を適用を選択します。

保存される設定

以下の設定がウェブクライアントでのカタログ表示用に保存されます。各ウェブクライアントユーザーがカタログを変更したり、ログアウト した場合も保存されます。これらの設定は各カタログごとにサーバーで保存されるので、ユーザーがどのコンピュータやブラウザからログイ ンしても利用できます。

- 表示の種類(サムネイル小、サムネイル大、またはリスト)
- ページごとのアイテム数
- **サムネイル**表示の表示フィールド
- リスト表示の表示フィールドとコラムソート順
- フィールドソート順と昇順/降順(サムネイルとリスト表示では同じです)
- **プレビュー**モードのプロパティパネル内の表示フィールド
- **プロパティ**パネルで可能なフィルターされたフィールド(このリストはソート順メニューでも利用されます)。

さらに、ウェブクライアントのユーザーコンピュータには以下の項目が保存されます:

- 最後にログインしたユーザー名
- 最後に選択したカタログ
- **プロパティ**パネルの状態(開いているか閉じているか)
- プロパティパネル内の各フィールドグループの状態(開いているか閉じているか)

クイック検索パラメータの設定

クイック検索は、多くのユーザーにとってすばやくファイルを探せる簡単な方法です。クイック検索では多くのフィールドを一度に検索し、 またクイック検索の手段によって常に多くの結果がもたらされます。クイック検索の代わりに、複合検索の機能を使用すると、特殊な検索条 件でファイルを見つけることができます。

デフォルトでは、クイック検索はカタログ内の説明、ファイル名、キーワードのフィールドを検索します。

管理者は、検索結果を調整し期待通りの結果を得るために、各カタログでクイック検索が検索するフィールドを定義することができます。

クイック検索は、カタログごとに検索するフィールドセットをカスタマイズすることもできます。例えば、一つのカタログではクイック検索 でキーワードのみを検索させ、別のカタログではファイル名と「パーツ番号」というカスタムフィールドを検索させるというような設定が可 能です。

クイック検索パラメータは、Portfolio Server 上の QuickFind.xml ファイルに定義されています。このファイルを特定のニーズに合わせて編 集することで、希望する動作に合うようにクイック検索を機能的に微調整することができます。

quickfind.xml ファイルを編集する場合:

1. Portfolio Server マシン上の、次の位置を参照します:

```
64-bit Windows:
```

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\Data\

```
32-bit Windows:
```

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\Data\

Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/Data/

- 2. 現在の QuickFind.xml のバックアップコピーを作成します。
- 3. テキストエディット (Mac) またはメモ帳 (Win) で QuickFind.xml を開きます。
- 4. ファイルを変更してから、保存します。
- 5. Portfolio Server を再起動します。

注意

Modifying QuickFind の変更は NetPublish では反映されません。ウェブクライアントとデスクトップクライアントのみ影響します。また Portfolio Server API でこの機能をウェブクライアントでシェアすると、API の QuickFind 検索は影響を受けます。

Quickfind.xml ファイルの形式

クイック検索が正しく動作するために必須の属性があります。以下のすべての属性を QuickFind.xml ファイルに入れる必要があります。

属性	説明
<quickfind> </quickfind>	この属性により、ファイルを開いたり閉じたりします。
<language> </language>	Portfolioの組み込みのシステムフィールドの翻訳に影響する言語です。カスタムフィールドを定義する 言語を設定しなければなりません。使用できるパラメータは、en(英語)、fr(フランス語)、de(ド イツ語)、ja(日本語)、es(スペイン語)、it(イタリア語)です。
<catalog is-default="true"> </catalog>	この属性は、カタログ名属性で指定されていないすべてのカタログで使用されるデフォルトのクイック 検索パラメータを定義します。
<catalog name="catalog
name.fdb"> </catalog>	指定された特定のカタログ用の検索パラメータを定義します(他のカタログのクイック検索動作には影響 しません)。注意:QuickFind.xml ファイルには複数のカタログの QuickFind 定義を含めることができま す。
<fields> </fields>	フィールドのリストの開始と終了を定義します。
<field> </field>	クイック検索に含めるカスタムフィールドの定義に使用します。カタログごとに最大3フィールドを定 義できます。大文字小文字を区別するカスタムフィールド名は、カタログ内にあるとおりに定義しなけ ればなりません。

例:

Portfolio Server の管理者で、Images.fdb というカタログがあります。images.fdb カタログ内で、クイック検索で利用できるデフォルトフ ィールドの代わりに、優先フィールド Approved と Routed to、新たに作成したカスタムフィールド Part Numbers のフィールドをクイック検 索で検索できるようにしたいと思います。この場合、quickfind.xml ファイルを次のように編集しますが、他のカタログではデフォルトの クイック検索動作のままにしておきます。

<quickfind>

```
<language>en</language>
   <catalog is-default="true">
       <fields>
           <field>Description</field>
           <field>Filename</field>
           <field>Keywords</field>
       </fields>
   </catalog>
   <catalog name="images.fdb">
       <fields>
           <field>Approved</field>
           <field>Routed To</field>
           <field>Part Numbers</field>
       </fields>
   </catalog>
</quickfind>
```

クライアントアクセスレベルのカスタマイズ

各カタログごとに、各ユーザーのアクセスレベルを適用します。ある1人のユーザーを、カタログごとに閲覧者、編集者、発行者、カタロ グ管理者に設定することができます。

初期設定では、各アクセスレベルによってユーザーが利用できる機能が制限されています。

アクセスレベルを編集して、各レベルごとの機能を追加したり制限したりすることができます。

以下の表は、各レベルの機能の初期設定機能と、利用可能/制限できる機能の一覧です。

アクセスレベル	初期設定	利用可能にできる	利用不可にできる
閲覧者	PDF*作成	オリジナルファイルへのアクセスと 変換, パブリックギャラリーの管 理、MediaScripts の実行*、変換プ リセットの使用*	PDF*作成
編集者	オリジナルファイルへのアクセスと変 換、メタデータの埋め込み、PDF*作 成、パブリックギャラリーの管理、 MediaScriptsの実行*、変換プリセッ トの使用*	なし	すべて
発行者	オリジナルファイルへのアクセスと変 換、メタデータの埋め込み、PDF*作 成、パブリックギャラリーの管理、 MediaScripts の実行*、変換プリセッ トの使用*	変換プリセットの管理*	MediaScripts の実行*
カタログ管理者	オリジナルファイルへのアクセスと変 換、メタデータの埋め込み、PDF*作 成、変換プリセットの管理*、パブリ ックギャラリーの管理、MediaScripts の実行*、変換プリセットの使用*	なし	なし

*これらの設定はウェブクライアントのユーザーのみに影響します。

アクセスレベルの初期設定を変更する:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. **アクセスレベル**をクリックします。
- 3. 編集するアクセスレベルを選択します。
- 4. 変更したい項目の利用可能コラムのチェックを付けるか、外します。

ワークフォルダ

ワークフォルダは、Portfolio Server が利用するファイルやウェブクライアントセッション用にファイルを一時的に保存します。ジョブを表 示パネルで、後からダウンロードする場合にも関連するファイルが保存されます。

ワークフォルダに保存されるファイルは、Portfolio Server での利用が終わるとすぐに削除されます。ダウンロードを保留したような場合は、 1 週間ファイルを保存するか、またはユーザーが削除するまで保存されます(ジョブを表示パネルの完了したジョブを消去ボタンをクリック します)。

Portfolio Server ではワークフォルダが置かれているボリュームのディスクスペースをモニタしています。空き容量が1 GB を下回った場合は、 ダウンロードしようとした場合に失敗したり、ジョブを表示パネルにエラーが表示され、ログファイルにも記録されます。 初期設定ではワークフォルダは Portfolio Server ソフトウェアと同じボリューム上にあります:

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\data\work

32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\data\work

Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/data/work

Portfolio Server のボリュームに十分なディスク空き容量が無い場合や、不足することが予想される場合は、ワークフォルダの場所をローカルやネットワークボリューム上で、Portfolio Server が読み/書きできるアクセス権がある場所に変更することができます。

ワークフォルダの場所を変更する:

- 1. ブラウザを起動して、Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メニュー左にあるグローバル設定をクリックします。
- 3. サーバーデータの場所をクリックします。
- 一時作業フォルダフィールドに、新規ワークフォルダの完全なパスを入力します。
 注意:このフォルダはあらかじめ作成されていて、Portfolio Server から読み/書きのアクセスができるようになっている必要があります。
- 5. 適用ボタンをクリックします。

Portfolio Server を再起動するまでこの変更は適用されません。再起動するまでは元のワークフォルダを利用します。

ウェブクライアントログインページのカスタマイズ

Portfolio ウェブクライアントのログインページに、画像の追加、リンク、バックグラウンドカラーの変更が行えます。

- 1. 左の機能メニューから、グローバル設定をクリックして、ウェブクライアントのカスタマイズをクリックします。
- 2. カスタマイズされたログイン画面を選択します。
- 3. ログインスクリーンの左上にカスタム画像を追加するには、ファイルを選択をクリックして画像を選択します。
- 4. 画像をクリックしたらウェブサイトを開くようにするには、リンクする URL を入力します。
- 5. ブラウザのタイトルバーやタブに表示させるタイトルを入力します。
- カラースウォッチをクリックして、ログインウィンドウのバックグラウンドカラーを選択します。
 ウィンドウ内のその他の色は、バックグラウンドカラーに合うように自動的に調整されます。
- 7. 適用をクリックして変更を保存します。

NetMediaMAX

NetMediaMAX Solution Pack は、Portfolio Server の機能と能力を拡張し、Web クライアントが取り扱えるより幅広いファイルフォーマット の変換をサポートします。NetPublish サイトから**別名で保存**書き出しの機能を追加したり、また MediaRich を使った外部 Portfolio Media Engine を別サーバー上でファイル処理させることで性能を上げることができます。

NetMediaMAXとWebクライアント

NetMediaMAX を導入すると、Web クライアントユーザーは、ダウンロードと編集機能内で、追加の書き出し、ファイル変換オプションを 利用できるようになります。追加されるフォーマットにより、ワークフローで要求されるフォーマット作成の時間を短縮し、Photoshop や Acrobat など別アプリケーションで開くことができる多様なファイル形式に変換できます。NetMediaMAX が搭載された Portfolio Server を使 うと、特定のファイル形式でリクエストがあった場合に、ユーザーはファイルをダウンロードして、変換し、またアップロードするという手 間を省くことができます。

管理者は、あらかじめ設定した変換オプションをプリセットとして作成することができます。プリセットを作成しておくことで時間短縮がで きるだけではなく、作業ユーザーが毎回設定を覚えていなくても、一定の条件の変換ができるというメリットがあります。プリセットによる ファイル変換で時間短縮と一定の品質を保持できます。

NetMediaMAXとNetPublish

NetPublish には複数の Web サイトテンプレートが用意されています。これらのテンプレートには、他のファイル形式に変換して**別名保存**す る特定のリンクをサイトに表示する機能が含まれています。公開されたサイトは画像や写真のために使われますが、それと同時にビデオや音 声ファイルのプレビュー、再生、ダウンロードにも便利です。NetMediaMAX と NetPublish を使うと、ユーザーが必要なファイルフォーマ ットでいつでも入手できる、セルフサービスのダウンロードサイトを作成することができます。

NetMediaMAXとAPI

プリセットは API でも利用できます。カスタムコードをシンプルにする重要な手段になり、またファイル変換の柔軟性も提供します。

プリセットに加えて、MediaScripts も API 経由で利用することができます。ワークフローを自動化し、ユーザーの操作無しでも多くの操作 を提供できます。例えば、カスタムアプリケーションを毎時起動して、カタログ情報を参照し、それに従ってファイルの変換、移動、FTP サ ーバーへの移動、ユーザーへの通知などを実行させることができます。これはカスタム MediaScript を使って実行できます。詳細は MediaScript プログラマ向けリファレンスを参照してください。

NetMediaMAXとMedia Engineクラスタ

NetMediaMAX では、更なるコンピュータパワーを追加して Portfolio Server の処理能力や拡張性を向上することができます。MediaRich エ ンジンを搭載したメディアエンジンで、カタログへの登録、変換、メタデータの埋め込み等のすべてのメディア処理タスクを別に実行させる ことができます。メディアエンジンを他のコンピュータに設定することによって、追加のハードウェアリソースを活用でき、Portfolio Server のレスポンスタイムを短縮することができます。

NetMediaMAX のライセンスを追加すると、Portfolio Media Engine(MediaRich)を複数のサーバー上で稼働できます。複数のメディアエン ジンで作業を分配できるメリットと、ユーザーはより速いレスポンスを得ることができます。処理が分散できるため、時間のかかる複雑な処 理が行われている間も、他のユーザーの処理が邪魔されず自由に作業できます。より速い処理によって生産性向上に寄与します。

外部のメディアエンジンの設定もエンドユーザーがシームレスに行えます。Portfolio Server Admin アプリケーションを使って簡単に設定す ることができます。設定が完了したら、すべてのデスクトップクライアント、Web クライアント、NetPublish で拡張性とパフォーマンスの 恩恵を受けます。

NetMediaMAX の対応ファイルフォーマットは Extensis web サイト http://www.extensis.com/downloads/documents/supported-file-formats-camera-models/を参照してください。

注意

特にビデオプレビューやトランスコーディングは、複数プロセッサや複数のメディアエンジンを持つことで恩恵を受ける、時間がかかるプロ セスです。

NetMediaMAXの活用事例

プロフェッショナルのクリエイティブワークフロー内には、Portfolio NetMedia が役に立つ場面が多くあります。以下のいくつかの例を参照 して、NetMediaMAX がどのようにお使いのワークフローにフィットするかを参考にしてください。

活用事例 1:自動化とビデオトランスコーディング

毎日のメディア制作と処理の作業には、多くの時間がかかっています。これらの作業は時間がかかるだけではなく、ファイル処理と転送にコ ンピュータの負荷がかかるため、もっと重要な作業の妨げになることもあります。サーバー側で自動処理させることで、時間ロスの削減と処 理能力の向上を図ることができます。

NetMediaMAX と MediaScript を一緒に使うことで、以下のような多くの異なる種類のメディア処理を効率よくこなすことができます:

- ファイルの解像度を下げる、または圧縮することでダウンロード時間を削減する。
- プルーフなどの目的で画像を PDF ファイルなどの複数ページファイルに配置する。
- 大きな複数のファイルを、複数の異なるフォーマットに一度に変換する。
- 画像にすかしマークを入れる。
- タスクが完了したらメールでお知らせする。
- 変換したファイルを FTP サイトに入れる。
- 組み込まれたメタデータから XML を作成する。
- データベースまたは他の外部データソースの読み込み/書き込み。

NetMediaMAX が使用可能になると、Web クライアントユーザーは Portfolio Media Engines の処理にカスタム MediaScript スクリプトファイ ルを実行することができます。

JavaScript と同様に、MediaScript は ECMAScript をベースにした、習得が容易なクロスプラットフォームのスクリプト言語です。 MediaScript は非常にパワフルで、NetMediaMAX で可能な機能をフルに活用することができます。Portfolio Server では、 MediaScript によ る自動化を簡単に統合して、時間のかかる作業もマウス数クリックで実行することができます。

例えば、5 種類のサイズの製品写真を提供する Web サイトをメンテナンスしているとします。製品カラーが複数ある場合には、Web サイト 上でのカラーは非常に重要になります。ファイルタイプを変換する際に、カラースペースの変更も正確に行う必要があります。コピーライト のある大きなサイズの画像には、誤った利用を避けるためにビジュアルすかしが必要です。例えば 30 枚の新しい製品写真にこの処理を実行 しようとするとかなりの時間がかかってしまいます。

NetMediaMAX を使ってこの処理を自動化する:

- 1. 選択した画像の5種類のサイズを作成してコピーを保存、sRGBカラースペースのRGBファイルに変換するカスタム MediaScriptを 作成します。
- 2. Media Engine にスクリプトをコピーして、Portfolio Server 内の製品カタログで利用できるようにします。
- 3. カタログ内でスマートギャラリーを作成して、Web クライアントが簡単に新しい画像を見つけられるようにします。
- 4. Web クライアントユーザーでログインし、スマートギャラリー内の新規イメージを見つけます。Automate メニューからカスタムス クリプトを選択します。
- 5. スクリプトを実行して 5 つの画像を作成します。埋め込まれた IPTC コピーライトを読み込んで大きい画像にはすかしマークとして 利用します。
- 6. 完了したジョブは、Web クライアントユーザーの Jobs に記載されます。

注意

NetMediaMAX で提供されるサンプルスクリプトには、copyright 情報を使った一般的なカスタムすかしを生成するサンプルが入っています。

活用事例 2:NetPublish を使ったセルフサービス画像ポータル

Portfolio NetPublish と NetMediaMAX を一緒に使っている場合には、**ImagePro** NetPublish テンプレートを活用することができます。この テンプレートを使って公開されるサイトは、NetMediaMAX のファイル変換機能を使用することができます。テンプレートに用意されている Save as オプションを使って、Web ユーザーはファイルを選択して好きなフォーマットでダウンロードすることができます。すべてのファイ ルはダウンロード前に Portfolio Server のメディアエンジンで変換されます。

例えば、遠隔地にいる営業部隊のために、最新の製品写真が用意された Web サイトを用意する必要があるとします。すべての画像を高解像 度 TIFF フォーマットで統一して保管しておけば、営業部隊はそれぞれが必要なファイルフォーマットでファイルを得ることができます。

NetMediaMAX と NetPublish を使ったセルフサービス画像ポータルの動き:

- 1. クライアントへのプレゼンテーションを準備するために最新製品写真が欲しい営業担当者が NetPublish サイトにログインします。
- 検索機能を使って、ブラウザから高解像度 TIFF ファイル画像を検索します。NetPublish では Portfolio Server が提供するプレビュー 画像を自動的に利用できます。
- 3. ダウンロードオプションから、解像度をスクリーン解像度にして、JPEGファイルフォーマットを指定して Save As を選択します。
- 4. ファイルはサーバー側で JPEG に変換された後、営業担当者がダウンロードすることができます。

活用事例 3: Portfolio Web クライアントからの書き出しの拡張

NetMediaMAX を使っている場合、Portfolio Web クライアントユーザーは、通常の Portfolio Server では利用できない追加のファイルフォー マット変換が可能になります。ファイルをダウンロードして別のアプリケーションで開いて変換する、という時間のかかる作業も拡張ファイ ルフォーマットで解消できるかもしれません。NetMediaMAX があれば、ユーザーは Web から簡単に実行できます。

Web クライアントユーザーは、リモートでファイルを別のフォーマットに変換したり、ダウンロードする前にファイル変換することができます。

例えば、標準的なファイルフォーマットでファイルを作成したい場合に、役立ちます。写真がすべて Camera Raw で撮影されていて、TIFF ファイルで保存しておきたい場合などは、NetMediaMAX を使ってファイル変換を実行できます:

- 1. Web クライアントを開いて、カタログ内の Camera Raw ファイルが自動的に表示されるようなスマートギャラリーを作成します。
- 2. スマートギャラリー内でアイテムを選択し、オリジナルを編集コマンドを選択します。
- 3. 変換オプションを選択し、再び使えるようプリセットとして保存します。
- 4. ディスクの選択したファイルを TIFF に変換します。

このプロセスを使うと、ユーザーは Web クライアントから変換が必要なファイルをすばやく見つけ出し、ダウンロードしなくてもファイル を変換することができます。Portfolio Server のメディアエンジンがこの作業を実行します。

他の例では、社内のデザイナーが作業中のファイルを PDF にしてクライアントに送る場合などです。これまでは異なるアプリケーションを 開いて、コピーを再保存するなど時間のかかる作業です。

NetMediaMAX を使ってこの処理を自動化する:

- 1. 制作部の現在のプロジェクト用のカタログにオートシンクフォルダを追加します。
- 2. Web クライアント内で、低解像度 PDF ファイルへの変換プリセットを作成します。
- 3. 制作部のスタップが Web クライアントを使ってアクセスできるようにユーザーアカウントを用意します。各ユーザーは、クライア ントに見せたい画像や他のメディアファイルを集めたギャラリーを作成します。
- 4. Web クライアント内でアイテムを選択し、ダウンロードコマンドを使って選択してアイテムを PDF フォーマットに変換します。 Portfolio Server(または外部 Media Engine)が変換作業を実行し、必要があれば.ZIP ファイルに圧縮します。

活用事例 4:拡張性とパフォーマンスの向上

多くのユーザー数や、作業負荷の高い場合が想定される場合は、Portfolio Server にビルトインされている Portfolio Media Engine (MediaRich)を、別のシステムへ移動したり、複数のメディアエンジンに拡張することで、大きな違いが出てきます。

Portfolio Media Engine に複数のプロセッサを持つより速いシステムを使うことで、Portfolio Server は短時間でより多くの処理が可能になり ます。カタログへの登録、ファイル変換などのスピードがあがるので、全体的なパフォーマンスが向上します。

例えば、継続的に Portfolio Server にコンテンツを登録して管理する必要がある場合を想定します。同時に Portfolio Web クライアントを使って MediaScrip 自動化機能を使いたく、可能な限り速いレスポンスと最大の使用可能時間を確実に確保したいとします。Mac OS X ベースのファイルサーバーを使っていて、それとは別にあまり使われていない 2 台の Windows サーバーがネットワーク上にあります。

ワークフローの最適化で管理者にできること:

- 1. Mac OS X コンピュータに Portfolio Server をインストールします。
- 2. Portfolio Media Engine を 2 台の Windows サーバーにインストールします。
- 3. 2台分のNetMediaMAX ライセンスを入力して、2つの外部メディアエンジンとして設定します。
- 4. カタログ、オートシンクフォルダ、Web クライアントアクセス、カスタム MediaScript の有効化を設定します。
- 5. これでユーザーは恩恵を受けることができます。Portfolio Server は負荷の高い作業の間も使用することができます。

注意

Portfolio Server と Portfolio Media Engine (MediaRich) は、Mac OS X、Windows のいずれのコンピュータでも使用できます。この事例で はクロスプラットフォームの場合を想定していますが、同じプラットフォーム間で設定する場合は、よりシンプルな設定になります。

NetMediaMAX インストール概要

以下のステップは、NetMediaMAX のインストールと設定に必要です。いずれの外部メディアエンジンをインストールする前に、Portfolio Server のインストールと設定を行っておきます。

- NetMediaMAX で必要なシステム環境を確認します。
 Extensis ウェブサイトを参照してください:ドキュメントダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html)
- 2. Media Engine サーバーに前もって必要なソフトウェアをインストールします。

Media Engine サーバーに QuickTime がインストールされている必要があります。DNG フォーマットの書き出し用に Adobe DNG Converter のインストールが必要です。

Macintosh ユーザー:前もって必要なソフトウェアをインストールする際には、NetMediaMAXのインストールと起動で使用するの と同じアカウントを使用してログインする必要があります。

- 1 つまたは複数のサーバーに Media Engines をインストールします。
 外部 Media Engines のインストール (69 ページの) を参照してください。
- 4. ネットワークアクセスの確認と、必要な変更を行います。

Media Engines のネットワークアクセス (69 ページの)を参照してください。

- 5. ウェブブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- Portfolio Server に NetMediaMAX のライセンスを追加します。
 NetMediaMAX のライセンス入力 (19 ページの) を参照してください。
 注意:NetMediaMAX を有効にするには、Portfolio Server を再起動する必要があります。
- Portfolio Server と外部 Media Engines を関連づけします。
 外部 Media Engines の設定 (70 ページの) を参照してください。

NetMediaMAX をインストール後、外部 Media Engines の設定が完了したら:

- MediaScripts を作成して、サーバー側のメディア処理を自動化を実行します。詳細は MediaScripts の作成 (72 ページの)を参照 してください。
- Portfolio Server と外部 Media Engines にスクリプトを組み込みます。詳細はスクリプトの組み込み (73 ページの) を参照してください。

NetMediaMAXシステム必要条件

For the most up-to-date information about the latest release of NetMediaMAX, please see: ドキュメントダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html).

外部Media Enginesのインストール

デフォルトでは、Portfolio Server は内部のメディアエンジンを持っています。NetMediaMAX を追加すると、複数の外部のメディアエンジン でアセットのカタログへの登録や、変換処理を実行することができます。

注意

Portfolio Server が内部のメディアエンジンを使用している場合は、Portfolio Media Engine インストーラは Portfolio Server と同じコンピュ ータ上にをインストールすることはできません。

外部メディアエンジンをインストールするには:

- 1. Portfolio NetMediaMAX インストーラをコンピュータにダウンロードします。
- 2. インストーラをダブルクリックして、表示される指示に従います。

すべての外部メディアエンジンのサーバーでこのプロセスを繰り返します。

Media Enginesのネットワークアクセス

Portfolio Server と外部メディアエンジン(MediaRich)は、アセットが置かれているネットワークロケーションに対して、適切な読み/書き のアクセス権が必要です。多くの管理者は Windows でこの問題を解決するために、Portfolio Server とすべての外部メディアエンジンが利用 する用に特別にドメインユーザーアカウントを作成しています。

Macintosh プラットフォームの場合は、メディアエンジンがアセットに読み/書きする前に、すべてのファイルが置かれているストレージを 共有設定しサーバーにマウントしておく必要があります。

Portfolio Server がすべての外部メディアエンジンにアクセスできることを確認してください。メディアエンジンがコミュニケーションに使用するデフォルトのポートは **9877** です。

基本的に、Portfolio Server や外部メディアエンジン(MediaRich)がアクセスするのに必要なポートは、すべて開けておく必要があります。 Windows Networking(SMB)はポート 445 をデフォルトで使用します。Apple Macintosh Networking(AFP)はポート 548 をデフォルトで 使用します。

外部メディアエンジンのポートアップデートと設定

外部メディアエンジン(MediaRich)がデフォルトで使用しているポートは、9877(Media Socket port)です。 ポートコンフリクトや他の理由から、外部メディアエンジン(MediaRich)で異なるポートを利用したい場合は、以下の設定でアップデート することができます。 メディアエンジンのポートをアップデートするには: 1. メディアエンジンサーバーシステム内の以下の場所にある local.properties ファイルを、TextEdit(Mac)または Notepad (Windows)で開きます:

```
64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Media Engine\media-engine\Properties\

32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Media Engine\media-engine\Properties\

Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Media Engine/media-engine/Properties/

2. メディアエンジンが使用しているエントリーポートを変更するには、local.properties ファイル内の MediaSocketPort パラメー

タを探します。

例えばデフォルト値を変える場合:

MediaSocketPort=9877

利用可能なポートへ変更:

MediaSocketPort=1234
```

注意:パラメータ値にスペースを含むことはできません。

3. local.properties ファイルを保存して、メディアエンジンを再起動します。再起動についての詳細は**外部 Media Engines の再起** 動 を参照してください。

外部メディアエンジンが使用している MediaSocketPort がアップデートされた場合は、Portfolio Server Admin 内のポートもアップデート する必要があります。詳細は Portfolio Server の外部メディアエンジン設定 を参照してください。

注意

local.properties ファイルで利用できても、SystemMonitorPort 設定は Portfolio Server には登録されません。

外部Media Enginesの設定

Portfolio Server Admin アプリケーション内の **Media Engines** パネルには、利用可能な Media Engine の数が表示されています。お持ちの NetMediaMAX ライセンスによって、いくつの Media Engine を利用できるのかが変わります。すべての Media Engine が Portfolio Server の 外部エンジンの場合は、ビルトインされているデフォルトの Media Engine を使用停止にする必要があります。

警告:

Media Engine の設定を変更した後は、すべての接続ユーザーは再接続する必要があります。

デフォルトの Media Engine を使用停止する:

- 1. Web ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから Media Engines をクリックします。
- 3. localhost Media Engine を選択して、View/Edit Media Engine Details をクリックします。
- 4. Details パネルで、Active オプションのチェックマークを外します。
- 5. Apply ボタンをクリックします。
- 6. Media Engine が有効でないことを示す警告メッセージを無視します。

外部 Media Engines の追加と使用の準備が整いました。

Portfolio Server に Media Engines を追加するには:

- 1. Web ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから Media Engines をクリックします。
- 3. Add New Media Engine ボタンをクリックします。
- 4. Media Engine Details パネルで NetMediaMAX サーバーの Address と Port を入力します。外部 Media Engines のデフォルトポート 番号は 9877 です。
- 5. Media Engine の Active オプションを有効にし Create ボタンをクリックします。

注意

Active オプションが使用できない場合は、Portfolio Server はタスク処理に Media Engine を使用しません。

Media Engineの整合性

Portfolio Server が外部メディアエンジン(MediaRich)を利用する場合、すべてを同じように設定しておくことが非常に重要です。カスタム の MediaScript を作成している場合は、すべてのメディアエンジンが同じスクリプトを持っているようにする必要があります。またサードパ ーティコンポーネントも同じバージョンでサーバーと同様に設定する必要があります。

Portfolio Server に Media Script がインストールされている場合は、それぞれの外部メディアエンジンでも同様に変更が必要です。

外部メディアエンジンを設定する際には、Portfolio Server と同様に、以下のアイテムが同じ場所にある必要があります:

- サードパーティ製品のインストール(QuickTime、Adobe DNG Converter など)
- ポートの変更、または local.properties ファイルへのその他のアップデート (ローカルファイルパスの変更、例えばテンポラリファイルに使う TempPath は、各システムによって異なる可能性があります。)
- カスタム MediaScript ファイル
- Windows 環境では、Portfolio Server システムと同じドメインユーザーアカウント以下で Media Engine が起動する必要があります。
 詳細はドメインユーザーアカウントオプション (10ページの)を参照してください。
- OS X 環境では、Portfolio Server と同じユーザーアカウントを使って同じボリュームをマウントしておく必要があります。 例えば、Portfolio Server がユーザーA としてシステム A のボリュームをマウント、ユーザーB としてシステム B のボリュームをマウントしている場合は、Media Engine システムも同じボリュームを同じユーザーからマウントする必要があります。 Portfolio Server へのボリューム用に、Portfolio Server ソフトウェアが動作するアカウントを使って Media Engine システムに接続す る必要があります。

唯一の例外は、カスタムスクリプト用の XML ファイルです。このファイルは Portfolio Server プログラムディレクトリに置かれている必要 があります。詳細は **media-scripts.xml ファイルの作成** (73 ページの)を参照してください。

MediaScriptsの作成

Portfolio Server と NetMediaMAX を一緒に使うと、ファイル変換や書き出しの拡張やカスタマイズが可能になります。ワークフロー内で複 雑だったり、時間のかかっているメディア処理の作業を、カスタムスクリプトを開発することで自動化することができます。

スクリプトは MediaScript で書かれます。ECMAScript Language 仕様(第3版)に基づいたスクリプト言語です。Netscape の JavaScript や Microsoft の JScript も同じ仕様を基にしています。広く知られたスクリプト言語の上に構築されているので、柔軟性とプログラム言語のフル 機能を備えている MediaScript は簡単に使うことができます。JavaScript や Microsoft の JScript ような他の ECMAScript 対応言語を知ってい る方は、MediaScript をすぐに使うことが可能です。

MediaScript ファイル作成の詳細は MediaRich Core Programmer's Guide の Using MediaScript セクションを参照してください: http://ftp2.equilibrium.com/downloads/gated/docs/current/MediaRich/MR_CORE_Programming_Guide.pdf

注意

 Portfolio のメディアエンジンは、MediaRich CORE プラットフォームを利用しています。機能と対応ファイルフォーマットは NetMediaMAX がサポートしているものに制限されます(http://www.extensis.com/downloads/documents/supported-file-formatscamera-models/)。

スクリプトの有効化

Portfolio Server と外部メディアエンジン(MediaRich)の作成と組み込みが完了したら、カタログ内でスクリプトを有効にする必要があります。

スクリプトを有効にするには:

- 1. Web ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューからカタログをクリックします。
- 3. カタログを選択してカタログ詳細情報を表示/編集をクリックします。
- 4. 詳細情報パネルで、MediaScripts タブををクリックします。
- 5. 選択したカタログで有効にするスクリプトをクリックします。
- 6. 他のカタログでも同様の設定をします。

スクリプトアクセスは、ユーザーのアクセスレベルで変更することができます。

アクセスレベルによってスクリプトへのアクセスを可能にする、または使用停止にするには:

- 1. Web ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューからアクセスレベルをクリックします。
- 3. ユーザーアクセスレベルを選択します。
- 4. Run MediaScripts オプションを必要に応じて使用可能にしたり停止にします。アクセスレベルのデフォルト設定の場合は、オプションを使用停止にできません。
MediaScript の組み込み

MediaScripts を使って、様々なサーバータスクを実行させることができます。新しいスクリプトでワークフローを自動実行してみてください。

新規の MediaScript を組み込むには:

- 1. Portfolio Server と NetMediaMAX のインストール、ライセンス入力、設定を行います。
- 2. 必要な MediaScript スクリプトを作成します。ガイドライン MediaRich CORE Programming Guide.pdf を参照してください。スクリ プト名は自由に付けられますが、ファイル拡張子に.ms が必要です。
- 3. Portfolio Server とすべての外部メディアエンジンにスクリプトを組み込みます。詳細はスクリプトの組み込み を参照してください。
- 4. media-scripts.xml ファイルが Portfolio Server プログラムディレクトリに正しく配置されていることを確認します。詳細は media-scripts.xml ファイル を参照してください。
- 5. Portfolio Server とすべての外部メディアエンジンを再起動します。再起動については、**外部 Media Engines の再起動** を参照してく ださい。
- 6. Portfolio Server Admin アプリケーションから、特定のカタログでスクリプトを有効にします。詳細は**スクリプトの有効化** を参照し てください。
- これで、Portfolio Web クライアントから自動コマンドを使ってスクリプトへの接続と実行が行えるようになります。

Run MediaScripts パーミッションが有効なアカウントを使って、Portfolio Web クライアントから公開されたカタログに接続します。メイン ウィンドウで目的のファイルを選択し、ツールバーの自動メニューからスクリプトを選択して実行します。

スクリプトの配置

MediaScript スクリプトが完成したら、Portfolio Server と外部メディアエンジン(MediaRich)に組み込みます。

スクリプトファイルは、Portfolio Server プログラムディレクトリの正しい場所に配置する必要があります:

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\media-engine\Shared\Originals\Scripts\ 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\media-engine\Shared\Originals\Scripts\ Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/media-engine/Shared/Originals/Scripts/

すべての外部メディアエンジン用にスクリプトを以下の場所に配置します:

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Media Engine\media-engine\Shared\Originals\Scripts\ 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Media Engine\media-engine\Shared\Originals\Scripts\

Macintosh:

/Applications/Extensis/Portfolio Media Engine\media-engine/Shared/Originals/Scripts/

media-scripts.xml ファイル

スクリプトを有効にして、ユーザーが利用できるようにするには、XML ファイルは Portfolio Server プログラムディレクトリに置く必要があ ります。

XML ファイルフォーマット

media-scripts.xml ファイルは Portfolio Server がカスタム MediaScript™ファイルを見て利用できるようにします。以下の表には基本的な XML ファイル構造の属性がすべてあります。

属性	説明
<media-script> script></media-script>	スクリプトエントリーを開く/閉じる
<media-script input-<br="">style="x" ></media-script>	属性は once-per-file または once-for-all-files のいずれかの値を持つ必要があります。
<media-script file-<br="">output="x"></media-script>	この属性はオプションです。ある場合は download、catalog-beside、catalog-in-place いずれかの 値を持つ必要があります。
<name> </name>	Portfolio Server が Web クライアントユーザーのスクリプトメニュー実行内で、スクリプトをどのように 表示するかを設定します。
<file> </file>	Portfolio Server と外部メディアエンジンのディレクトリに組み込んだ MediaScript スクリプトのファイ ル名です。このファイルは.ms ファイル拡張子を持っている必要があります。
<function> </function>	スクリプトの機能の説明

XML ファイル例:

<media-scripts>

<media-script input-style="once-per-file" file-output="download">

<name>Example Script</name>

<file>exampleScripts.ms</file>

<function>exampleScript</function>

</media-script>

</media-scripts>

XML ファイルパラメータ

input-style と file-output 入出力スクリプトを解析するために 2 つのパラメータが必要になります: input-style と file-output

属性	值	説明
input-style	once-per-file	アセットごとにスクリプトを1度コールします。
	once-for-all-files	すべてのアセットへのパスでスクリプトを1度コールします。
file-output	download	作成された書き出しファイルを、Web クライアントからのダウンロード用に、 ZIP 圧縮 に加えます。
	catalog-beside	作成された書き出しファイルを、オリジナルのフォルダ内にコピーします。これは input-style="once-for-all-files"と一緒に使用できません。
	catalog-in-place	作成された書き出しファイルはカタログに登録されます。

input-style は、Portfolio Server で利用するために開発されたスクリプトすべてに必要です。**file-output** は、必要に応じたオプションで す。

注意

- file-output の属性が catalog-beside の場合、input-style 属性は、once-for-all-files ではありません。
- NetMediaMAX で複数の Media Engine を使っている場合は、カスタマイズされたスクリプトは Portfolio Server とすべての外部メディアエンジンに組み込んである必要があります。詳細は Portfolio Server と外部 External Media エンジンの整合性 を参照してください。

media-scripts.xml ファイルの組み込み

media-scripts.xml ファイルを UTF-8 テキストファイルとして保存して、Portfolio Server が稼働しているコンピュータの以下のディレクトリに起きます:

```
64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\data\

32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\data\

Macintosh:
```

/Applications/Extensis/Portfolio Server/data/

外部Media Enginesの再起動

管理者は、Portfolio Server とは別に外部メディアエンジンを再起動することができます。

Windows 環境で外部メディアエンジンを再起動するには:

- 1. Web ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、Media Engines をクリックします。
- 3. リストから再起動したいメディアエンジンを選択します。
- 4. 詳細パネル内の Active オプションを使用停止にします。
- 5. Media Engine コンピュータ上で、スタート > 管理ツール > サービスを選択してサービスを開きます。
- 6. リストから Portfolio Media Engine サービスを探し、ツールバーにあるサービスを再起動ボタンをクリックします。
- 7. サービスが起動したら、Portfolio Server Admin アプリケーションに戻ります。Media Engines パネルで、Media Engines を有効にし ます。

Macintosh 環境で外部メディアエンジンを再起動するには:

- 1. Web ブラウザを起動して Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューから、Media Engines をクリックします。
- 3. リストから再起動したいメディアエンジンを選択します。
- 4. 詳細パネル内の Active オプションを使用停止にします。
- 5. ターミナルアプリケーションを起動します(アプリケーションフォルダ内のユーティリティフォルダ内にあります)。
- Media Engine コンピュータの Mac OS X 管理者アカウントを使って、以下のコマンドを入力してメディアエンジンを停止します: sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/com.extensis.portfolio.mediaengine.mgen.plist
- 7. 管理者レベルのパスワードを入力します。
- 8. 以下のコマンドを入力してメディアエンジンを起動します:

sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/com.extensis.portfolio.mediaengine.mgen.plist

9. 管理者レベルのパスワードを入力します。

Portfolio Enterprise Edition

Portfolio Enterprise Edition には SQL Connect、LDAP ユーザー管理、プログラミング API などが追加されます。これの機能を利用するには 適切なライセンス認証が必要です。

SQL Connect

Portfolio では、Windows 上の Microsoft SQL Server、MySQL、Oracle データベース、または Mac OS X 上の MySQL データベースをサポートしています。

Portfolio Server Enterprise Edition での SQL データベースの利用は、起動、エンジン、管理はすべて Portfolio Server で作成されるカタログ と同様に利用できます。

LDAPユーザー管理と同期

Portfolio Server 管理者は、LDAP ユーザーとグループを自動的にカタログに適用できます。ユーザーが LDAP グループから削除されると、 Portfolio カタログからも削除されます。また新しいユーザーがグループに追加されると、自動的にカタログにアクセスできるようになりま す。

管理者は、グループメンバシップから独立してユーザーアクセスを管理することもできます。またユーザーやグループにカスタムアクセスレベルを適用できます。

詳細はディレクトリサービス を参照してください。

Portfolio API

Enterprise Edition では、さらに Portfolio Application Programming Interface(API)へのアクセスを提供しています。詳細は **Portfolio API** を参照してください。

Portfolio Enterprise Editionの動作環境

Portfolio Server の動作環境はドキュメントダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html)Extensis のウ ェブサイトを参照してください。

Portfolio Server Enterprise 版の動作環境は標準的なインストール時に対する*最低限*の環境です。一般的に SQL データベースをより高速に利用するためには、高速マルチコアプロセッサ、高速ディスクアクセス、できるだけ多くの RAM を搭載してください。以下のような実行にはより強力なハードウェアが必要になります:

- 5台以上のクライアント接続
- アセットが保存されているのと同じコンピュータ上に Portfolio Server をインストールする場合
- SQL データベースと Portfolio Server を同じコンピュータにインストールする場合
- Portfolio Server でオートシンク機能を利用する場合
- Portfolio Server と同じコンピュータ上で NetPublish Server を利用する場合

これらのいずれかの機能を利用する場合には、最低でも推奨必要条件を満たしている必要があります。

注意

Portfolio NetMediaMAX を利用する場合は、別サーバーにインストールして別プロセッサを利用することを検討することもできます。これ によって Portfolio Server はファイル変換などの作業から開放され、ファイル表示などの作業負荷を下げることができます。詳細は、 NetMediaMAX (on page 64) を参照してください。

ハードウェア最適化ガイドライン

データベースのパフォーマンスは、一般的にハードウェア設定で左右されます。以下の項目はデータベースパフォーマンスに影響します:

- 1. **ネットワークパフォーマンス**: Portfolio Server と SQL データベース間のネットワーク接続は混雑していないこと、中継機材による ボトルネックなどが無いことが重要です。
- データベース最適化:インデックス化、クエリー、他の最適化によってパフォーマンスを向上できます。Portfolio は SQL サーバー に対してすべてのクエリーを取り扱い、カタログスキーマは Portfolio データ用に特別に調整されます。またデータベースサーバー の不必要な設定や誤った設定は、パフォーマンスに影響します。例えば過度のログ記録を取ると、ディスクアクセスタイムに影響を 及ぼしたり、必要以上のディスク容量を利用します。
- 3. 専用ハードウェア: Portfolio Server やメディアエンジンが動いているのとは別のコンピュータでデータベースサーバーを利用すると データベースを最適に実行することができます。
- 4. 追加(利用可能)メモリ:多くの最新のデータベースサーバーは、膨大なメモリキャッシングを利用して、クエリーの最適化を行い ます。さらにデータベースサーバー自体も追加メモリの恩恵を受けるよう設定をする必要がある場合があります。
- 5. **高速プロセッサとマルチコア**:処理の遅いサーバーはプロセッサ自体が遅いということも考えられます。より高速なマルチコアプロ セッサにすることで、レスポンス時間を改善することができます。
- 6. 高速、大容量、複数ハードディスク:内部システムドライブは必ずしもデータベースに最適なドライブであるとは限りません。様々な理由で、多くの場合あまり速くないドライブが利用されています。特に大きなカタログを SQL データベースに入れる場合は、より大容量で高速のストレージを選択してください。複数ドライブの恩恵を得るためには、利用するデータベースサーバーのユーザーガイドを参照してください。

様々な組み合わせの設定が考えられます。最適なパフォーマンスを得るためにはデータベースサーバーのユーザーガイドを参照してください。

その他の推奨

- SQL データベースが提供するバックアップ管理ツールを利用してください。
- Portfolio Enterprise のカタログは SQL データベースサーバーの設定によってサイズが変更します。 十分なディスク容量のあるサー バーを選択してください。定期的にサーバーとデータベースを監視して、アセット数の増加に合わせて調整してください。

Portfolio Enterprise Solution Packのインストール

Portfolio Enterprise 版には、SQL Connect やユーザー管理機能などが含まれています。これらの機能を利用するには適切なライセンスが必要です。Portfolio Enterprise Solution Pack のご購入はお問い合わせください。

Portfolio Enterprise Solution Pack には、追加のアプリケーションやインターフェイスはありません。Portfolio Server Admin アプリケーションから、Portfolio Server で管理します。

SQL データベースにカタログを格納する前に、データベースの準備を行い、適切なドライバをインストールする必要があります。

Mac OS X上でのMySQLの設定

注意

Mac OS X Server v10.5 と 10.6 にあらかじめインストールされている MySQL のバージョンは、Portfolio Server に対応していません。以下 の手順に従って最新バージョンをインストールする必要があります。OS X にビルトインされているツールは、新規バージョンの MySQL の 管理使用することはできませんが、他の目的のためにあらかじめインストールされているバージョンを使用することはできます。また既存 のデータベースを新規バージョンに統合することも可能です。詳細については MySQL ドキュメント

(http://dev.mysql.com/doc/refman/5.5/en/upgrading.html) を参照してください。

ここでは、 MySQL Server と Portfolio の新規設定について説明しています。

Portfolio Server ソフトウェアと MySQL Server が同じコンピュータ上にインストールされている一般的な状態を仮定して説明しています。

MySQL ソフトウェアをインストールする前に、Portfolio Server を必要条件を満たした環境でインストールし(Portfolio Server インストー ル概要)、Portfolio Server と Enterprise オプションのライセンス番号を入力(Portfolio Server のライセンス番号の入力)してある必要があ ります。

ダウンロード

MySQL Server のインストールと設定には、以下のソフトウェアのダウンロードが必要です。

TextWrangler: http://barebones.com/products/textwrangler/

TextWrangler は、多くのプログラミング、スクリプティング、Web 言語に対応したシンタックスを含む無料のプログラマー向けテキストエ ディタです。Unix の設定ファイルを簡単に編集できます。

注意:TextWrangler は Mac App ストアから無料で利用可能ですが、Bare Bones Software 社の Web サイトから直接ダウンロードすることを お勧めします。こちらのバージョンは、Unix コマンドラインから TextWrangler にアクセスすることができる追加ツールを含んでいます。

ODBC Administrator: http://support.apple.com/kb/dl895

Apple から提供されているこのソフトウェアでは、Portfolio が MySQL データベースに接続するための ODBC ドライバの設定を行えます。このソフトウェアは Mac OS X 10.5 Leopard では予めインストールされていますが、10.6 以降のバージョンには入っていません。

MySQL Server: http://www.mysql.com/downloads/mysql/

使用しているプラットフォーム用の Community Server の最新 Generally Available ("GA") バージョンをダウンロードします。OS X 10.7 または 10.8 を使用している場合は、OS X 10.6 用をダウンロードします。サーバーソフトウェア、スタートアップアイテム、システム環境設定が含まれるので、DMG フォーマットでダウンロードする必要があります。

注意: 64-bit ソフトウェアを起動できるシステム環境の場合は、MySQL Server の 64-bit バージョンをインストールできます。

Connector/ODBC: http://www.mysql.com/downloads/connector/odbc/3.51.html

これは MySQL Server 用の ODBC ドライバです。必ず 32-bit バージョンのドライバをダウンロードしてください。Portfolio Server は 32-bit アプリケーションのため、32-bit ドライバを使用しないと MySQL データベースに接続できません。Portfolio Server と MySQL Server が同じ コンピュータ上で稼働している場合でも、MySQL Server は 64-bit アプリケーションとして利用することができます。

ODBC ドライバのより新しいバージョンが利用可能ですが、バージョン 3.51 で提供されていた接続テストとトラブルシューティング用のい くつ可能機能が提供されていません。

OS X 10.7 や 10.8 で利用しているユーザーは、OS X 10.6 用の 32-bit DMG ファイルをダウンロードします。

MySQL Workbench: http://www.mysql.com/downloads/workbench/

このツールは MySQL データベースとユーザーの作成と編集が行える GUI を持っています。

インストールと設定

Mountain Lion でのソフトウェアインストール

OS X 10.8 Mountain Lion は、Gatekeeper というセキュリティ機能を持っています。この機能は、Apple デベロッパーに登録されているソフ トウェアとしてのデジタルサイン証明書をソフトウェア内に持っていないインストーラソフトウェアを停止します。

「(ファイル名)は開発元が確認できないため開くことができません」といったようなメッセージが開いた場合は、一時的に Gatekeeper を 無視することができます。ファイルを右クリックして、ショートカットメニューから開くをクリックします。Gatekeeper はファイルを開く ために警告の代わりに選択できる画面を開きます。開くをクリックして、インストーラを起動します。

TextWrangler のインストール

MySQL Server を実行するコンピュータ上で、TextWrangler のダウンロードとインストール

(http://barebones.com/products/textwrangler/)を行います。コマンドラインツールをインストールするには、一度プログラムを起動します。

MySQL Server のインストール

MySQL Server ディスクイメージ (DMG) のダウンロード (http://www.mysql.com/downloads/mysql/) をします。OS X 10.7 または 10.8 では、OS X 10.6 用の 64-bit DMG をダウンロードします。DMG ファイルをダブルクリックして、デスクトップにイメージをマウントします。

MySQL Server ディスクイメージには、MySQL Server を起動するサーバーにインストールが必要な 3 つのコンポーネントが含まれています。

- *mysql-#.#.##-osx10.#-x86_##.pkg*という名前のインストーラファイルをダブルクリックして、サーバーソフトウェアをインストールします(#の部分は、MySQLとMac OS Xのバージョン、32-bitか64-bitにより異なります)。
- MySQLStartupItem.pkgファイルをダブルクリックして、スタートアップアイテムをインストールします。
- MySQL.prefPaneファイルをダブルクリックして、システム環境パネルをインストールします(システム環境パネルを全ユーザーで利用可能にする必要はありません)。

システム環境パネルがインストールされたら、 Automatically Start MySQL Server on Startup(起動時に自動的に MySQL Server を起動)という名前のボックスにチェックを入れます。

MySQL コンフィギュレーションファイルの作成

MySQL Server をインストールしたコンピュータ上で:

- 1. TextWrangler を起動します。
- 2. 空欄のドキュメントに以下のテキストを入力します:

[mysqld] default-character-set = utf8 innodb_buffer_pool_size = 512M innodb_additional_mem_pool_size = 100M [client] default-character-set = utf8

- 3. File > Save を選択します。
- 4. Save パネルが開いたら、COMMAND-SHIFT-Gキーを押して、Go to Folder パネルを開きます。
- 5. /etc と入力して、Go をクリックします。
- Save パネルで、ファイル名として my.cnf と入力し、Save をクリックします(デフォルトの.txt 拡張子を削除してください)。
 管理者パスワードの入力を求める画面が表示されるので入力して、OK をクリックします。
- 7. TextWrangler を終了します。
- 8. Finder で、移動 > フォルダに移動を選択します。
- 9. フォルダに移動ダイアログで、/etc を入力して、移動をクリックします。
- 10. my.cnf ファイルを見つけたら、選択して、ファイル > 情報を見るを選択します。
- 11. 情報ウィンドウ内の三角形をクリックして共有とアクセス権セクションを開きます。
- 12. In the アクセス権コラム内の、"Everyone"の横にある"読み出しのみ"テキストをクリックします。

13. ポップアップメニューから、読み/書きを選択します。

ဓ 😑 💿 📄 my	.cnf Info
Modified: Toda	146 bytes ay 11:28 AM
Spotlight Commen	ts:
Sharing & Permission	ons:
You have custom acc	cess
Name	Privilege
👤 admin (Me)	Read & Write
Read & Write 📐	🕻 Read only
✓ Read only No Access	Read only
+ - Q *	

14. Info ウィンドウを閉じます。

MySQL Server の再起動

- 1. システム環境設定を開いて、MySQL アイコンをクリックします。
- 2. MySQL Server インスタンスが起動中の場合は、Stop MySQL Server をクリックします。
- 3. サーバーインスランスが停止したら、Start MySQL Server をクリックします。
- 4. システム環境設定を終了します。

サーバーインスタンスとユーザーアカウントの作成

Portfolio Server を MySQL に接続するためには、サーバーインスタンスとユーザーアカウントを作成する必要があります。

開始するには、Download MySQL Workbench(http://www.mysql.com/downloads/workbench/)(英語)を参照してください。

サーバーインスタンスの作成

1. New Server Instance をクリックします。Server Instance Wizard が起動します。

New Server Instance Register a new server instance to manage.

- 2. Specify Host Machine 画面で、localhost を選択して Continue をクリックします。
- 3. Database Connection 画面で、Continue をクリックします。
- Test DB Connection 画面で、すべてのテストが成功したことを確認してから、Continue をクリックします。 いずれかのテストが失敗したら、(MySQL System Preferens パネルで)お使いの MySQL Server が起動しているかどうかを確認して、 再度試してください。
- 5. Management and OS 画面で、Operating System が MacOS X であることと、MySQL Installation Type が MacOS X (MySQL Package)であることを確認して、Continue をクリックします。
- 6. Test Settings 画面で、すべてのテストが完了したことを確認してから、Continue をクリックします。 Review Settings ダイアログで、Continue をクリックします。
- Complete Setup 画面で、MySQL Server のインスタンス名を入力して、Finish をクリックします。
 この名前は MySQL-Portfolio などのように、この MySQL Server のインスタンスを何に利用するのかがわかるようにしておくと良いでしょう。

MySQL ユーザーアカウントの作成

Portfolio Server を MySQL Server に接続して使うためにアカウントを作成する必要があります。

1. 上記で作成したサーバーインスタンスをダブルクリックします。





Admin タブが開くので、MySQL ユーザーアカウントを設定します。

- 2. 左側のコラム内の Security の下にある Users and Privileges をクリックします。
- SECURITY

- Users and Privileges

- 3. ユーザーアカウントリストの下にある Add Account ボタンをクリックします。
- 新規ユーザーのログイン名を入力します。このアカウント名は Portfolio Server が MySQL データベースに接続する際に使用します。
 特定の個人名である必要はありません。例えば portsql などのように、Portfolio Server に接続しているアカウントであることがわかるようにしておきます。
- 5. Limit Connectivity to Hosts Matching という名前のフィールドに localhost と入力します。
- 6. このアカウントのパスワードを入力します。このパスワードは後で Portfolio Server 内で入力が必要になるので、必ず控えておきます。
- 7. Administrative Roles タブをクリックします。
- 8. Role リスト内の DBA のボックスにチェックを入れます(リスト内の Role すべてに自動的にチェックが入っています)。
- 9. Apply ボタンをクリックします。
- 10. Add Account ボタンを再度クリックします。
- 11. 上記と同じ名前をパスワードを入力して、Limit Connectivity に 127.0.0.1 を入力して、Apply をクリックします。
- 12. 終了したら Admin タブを閉じます。

注意: Add Account を 2 回クリックしても、データベースに localhost または 127.0.0.1 のどちらでも接続できるユーザーアカウントが 一つ作成されるだけです。

カタログの作成

Portfolio カタログごとに、独自の ODBC Data Source Name (DSN)を使って、別々の MySQL データーベースに格納されます。作成したいカ タログごとに以下の設定を行ってください。

以下のステップは MySQL Workbench を使います。**サーバーインスタンスとユーザーアカウントの作成**(81 ページの)のステップが完了している必要があります。

ODBC Worksheet

ODBC Data Source Name (DSN)を作成する際に正しい情報が必要になるので、このワークシートをプリントします。

Key name	值	例
server	localhost	localhost
database		portfolio_db
user		portsql
password		*****

データベースの作成

注意: MySQL Workbench は *schema* としてデータベースを参照します。Workbench 内で機能を記述する場合、これらの記述では、*schema* のタームのみを利用します。

1. Workbench メインウィンドウ内の SQL Development の下にある localhost 接続をダブルクリックします。



SQL 編集タブが開きます。

2. Overview パネル内のツールバーにある 💴 Create a new schema ボタンをクリックします。

 Schema Name を、portfolio_db などのような、新規データベース名で置き換えます。この名前は Portfolio Server の管理者からし か見えません。また Portfolio カタログ名とも同じではありません。 データベース名は 64 文字より長くできません。英数字、アンダースコア _、ドルマーク \$ のみしか利用できません。すべて数字に はできません。

- 4. Default Correlation ポップアップメニューから、utf8 default correlation を選択します。
- 5. Apply をクリックします。
- 6. Apply SQL Script to Database ダイアログで、Apply をクリックして、Apply SQL Script ウィンドウを閉じます。
- 7. SQL Editor タブを閉じます。

データベースのユーザーパーミッションの設定

- 1. 作成しておいたサーバーインスタンスをダブルクリックします。
- 2. Security の左下にある、Users and Privileges をクリックします。
- 3. Schema Privileges タブをクリックします。
- 4. 作成しておいたユーザーアカウントを選択します(例えば portsql)。
- 5. Add Entry をクリックします。
- 6. New Schema Privilege Definition ダイアログで、Selected host をクリックし、ポップアップメニューから localhost を選択します。

		This rule will apply to connections from any host,
Any Host (%)		in case other rules don't match the host from where the user connects from.
Hosts matching pattern or name:		A hostname or a hostname pattern to match multiple hosts. You may use _ and % as wildcards in a pattern. Escape these characters with \ in case you want their literal valu
Selected host:	localhost	Select a specific host or pattern for the rule.
chema		
Any Schema (%)		This rule will apply to any schema name.
Schemas matching pattern or nam	2:	This rule will apply to schemas that match the given name or patter You may use _ and % as wildcards in a pattern. Escape these characters with \ in case you want their literal value.
	information_schema	
	mysql	
Selected schema:	performance_schema	Select a specific schema name for the rule to apply to.
	test	
• Selected schema:	portfoliodb test	Select a specific schema name for the rule to apply to.

8. Schema Privileges パネルで、新規エントリーを選択し、Select All をクリックしてから、Save Changes をクリックします。

	Se	rver Access Manag	gement Schema Priv	vileges]
Jsers	Select a user	and pick the privile	ges it has for a given Sch	hema an	d Host combination.
<anonymous></anonymous>	Host	Schema	Privileges		
portsql	localhost	portfoliodb	none		
	Schema and Ho: The server will r	st fields may use % and natch specific entries b	_wildcards. efore wildcarded ones.		Delete Entry Add Entry
	Object Right	s r	DI Rights	1050, 111	Other Rights
	SELECT INSERT UPDATE DELETE EXECUTI SHOW V		CREATE ALTER REFERENCES INDEX CREATE VIEW CREATE ROUTINE ALTER ROUTINE DROP TRIGGER		GRANT OPTION CREATE TEMPORARY TABLES LOCK TABLES

- 9. Add Entry を再度クリックして、Selected host として、127.0.0.1 で再度設定します。
- 10. MySQL Workbench を終了します。

ODBC Data Source の作成

MOUNTAIN LION ユーザー:ソフトウェアをインストールする前に、Gatekeeper (on page 79) についての情報をお読みください。

ODBC Data Source を作成する際に、ODBC Worksheet の情報を利用します。

- Portfolio Server が起動しているコンピュータで ODBC Administrator software のダウンロードとインストール (http://support.apple.com/kb/dl895) を行います。
- Portfolio Server が起動しているコンピュータで Connector/ODBC のダウンロードとインストール (http://www.mysql.com/downloads/connector/odbc/3.51.html) を行います。
 重要: MySQL Server が 32-bit、64-bit のいずれであっても、ODBC/Connector の 3.51 リリース、32-bit バージョンをインストール する必要があります。Connector のそれ以降のバージョンでは、3.51 リリース以前にあったいくつかの機能が失われています。
- 3. /Applications/Utilities フォルダにある、ODBC Administrator ユーティリティを起動します。
- 4. ウィンドウの左下にある鍵のアイコンをクリックして、コンピュータの管理者パスワードを入力します。
- 5. User DSN タブをクリックして、Add をクリックします。
- 6. ODBC ドライバを選択して、OK をクリックします。
- Data Source Name (DSN) を入力します。これは、Portfolio デスクトップクライアントやウェブクライアントから見える Portfolio カタログの名前になります。

注意:DSN 名にアンダースコアやスペースは利用できません。

- 8. サーバーアドレス、データベース名、ユーザー名、パスワードそれぞれ 1 ずつ、DSN に合った 4 つの key/value を追加する必要があります。
- 9. Server key を追加するには、Add をクリックします。*Key*テキストを server に変更して、それから *Value* を localhost に変更しま す。
- 10. Add を再度クリックして、Keyを database に、Value を作成したデータベース名に変更します。

- 11. Add を再度クリックして、Keyを user に、Value を作成したユーザー名に変更します。
- 12. Add を再度クリックして、Keyを password に、Value をユーザーアカウントのパスワードに変更します。

	Data Source Name (DSN):	GraphicsCatalog)
Name	Description:	This catalog contains all my original graphics	
	Keyword	Value	
	server database	localhost portfoliodb	
	user	portsql	
	password	Value	
	Add Remove	Cancel	
	Add Remove	Cancel OK	
An ODB0 data pro	Add Remove	Cancel OK ation about how to connect to the indicated le only to you.	

- 13. DSN パネルで OK をクリックします。
- 14. ODBC Administrator ウィンドウ内の Apply をクリックします。
- 15. 鍵のアイコンをクリックします。
- 16. ODBC Administrator を終了します。

Portfolio カタログでデータソースを使う

データソースを作成したら、Portfolio 内のカタログで利用できます。

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを起動してログインします。
- 2. 左側のメニューのカタログをクリックします。
- 3. カタログリストの下の新規カタログを追加をクリックします。
- 4. 新規カタログの詳細情報パネル内で:
 - a. ドロップダウンメニューからカタログの種類を選択します。
 - b. ストレージの種類で、SQL を選択します。
 - c. データベースを表示をクリックします。
 - d. データベースリストから作成した DSN を選択します。
 - e. オートシンクとプレビューの設定を行います。
 - f. 作成をクリックします。

WindowsでのMySQLセットアップ

Portfolio Server で使う Windows MySQL を設定するには、MySQL データベースサーバーのインストール、サーバーインスタンスの設定、デ ータベースの作成、MySQL Connector/ODBC のインストール、ODBC Data Source Name (DSN) の作成をする必要があります。Portfolio Server で使う Windows MySQL を正しく設定するには、以下の手順を使用してください。

MySQL ワークシート

MySQLの設定、データベースと ODBC Data Source Name (DSN)を作成する際に正しい情報が必要になるので、このワークシートを印刷します。

エレメント	值	例
MySQL Server IP address		localhost Portfolio Server と同じシステムでホストされ ている場合
Windows Service name		MySQL
MySQL root password		
Database name		portdb
Portfolio MySQL user name		portsql
Portfolio MySQL user password		portpass

MySQL データベースサーバーのインストール

- 最新の Generally Available (GA) MySQL Community Server リリースを、MySQL ウェブサイト (http://www.mysql.com/downloads/) からダウンロードして実行します。 MySQL をインストールしようとしているシステムが 64-bit 版の Windows の場合には、64-bit 版の MySQL をインストールできます。
- 2. Setup Wizard の Welcome 画面で、Next をクリックします。
- 3. License Agreement に同意して、Next をクリックします。
- 4. Setup Type 画面で、**Typical** をクリックします。
- 5. Ready to Install 画面で、Install をクリックします。
- 6. インストーラは、MySQL の Enterprise 版の機能を別ウィンドウで表示します。 **■**をクリックしてウィンドウを閉じるか、**Next** を クリックして情報を読みます。
- 7. Completed Setup 画面で、Launch the MySQL Instance Configuration Wizard が選択されていることを確認して、Finish をクリックします。

インストールが完了すると、Instance Configuration Wizard が起動します。

MySQL Instance Configuration Wizard

- 1. Welcome 画面で、Next をクリックします。
- 2. Detailed Configuration を選択して、Next をクリックします。
- 3. Server Machine を選択して、Next をクリックします。
- 4. Multifunctional Database を選択して、Next をクリックします。
- 5. データベースの場所を選択して、Next をクリックします。
- 6. Wizard の、Concurrent Connections ステップでは、Portfolio カタログへの同時接続数によるデーターベースを最適化することがで きます。同時接続ユーザー数が不明な場合には、Online Transaction Processing を選択して、Next をクリックします。
- 7. Enable TCP/IP Networking と、Enable Strict Mode の両方を選択して、Next をクリックします。
- 8. Best Support for Multilingualism を選択して、Next をクリックします。
- 9. Set Windows Options 画面で:
 - a. Install as a Windows Service を選択して、Service Name として MySQL を入力します。
 - b. Launch the MySQL Server automatically を選択します。
 - c. Include Bin Directory in Windows PATH の選択を解除してから、Next をクリックします。
- 10. Security Options 画面で:
 - a. Modify Security Settings を選択します。
 - b. MySQL ルートユーザーのパスワードと確認を入力します。
 - c. 他のコンピュータから MySQL Server の管理を行う場合は、Enable root access from remote machine を選択します。
 - d. Create An Anonymous Account の選択を解除してから、Next をクリックします。
- 11. Execute をクリックして MySQL インスタンスを設定します。
- 12. **Finish** をクリックして Wizard を閉じます。

Connector/ODBC のインストール

Portfolio Server が実行しているシステムに Connector/ODBC をインストールします。

- 最新リリースの MySQL Connector/ODBC v5.x インストーラを、MySQL ウェブサイト (http://www.mysql.com/downloads/connector/odbc/) からダウンロードして実行してください。 32-bit 版のドライバをダウンロードしてください。ANSI ドライバはダウンロードしないでください。
- 2. Welcome 画面で、Next をクリックします。
- 3. License Agreement に同意して、Next をクリックします。
- 4. Setup Type 画面で、**Typical** を選択して、**Next** をクリックします。
- 5. Ready to Install 画面で、Install をクリックします。
- 6. インストールが完了したら、Finish をクリックします。

データベースの作成

以下の手順では、**portdb** という名前のデータベースと、Portfolio Server がデータベースにアクセスする際に使うユーザーアカウント名 (**portsql**)、パスワード(**portpass**)を作成します。

注意

- 1. 以下のコマンドラインでは、MySQL コマンドキーワードがわかりやすいように大文字で表示されていますが、入力は大文字でも小 文字でもできます。
- 2. すべての MySQL コマンド後に必ずセミコロン (;) を入力します。

MySQL Server が起動しているシステム上にデータベースを作成する:

- 1. Start メニューをクリックして、Start > All Programs > MySQL > MySQL Server > MySQL Command Line Client を選択します。
- 2. Instance Configuration Wizard で作成した、ルートユーザーパスワードを入力します。
- 3. 以下のコマンドを入力してデータベースを作成します。

```
CREATE DATABASE portdb;
```

portdb の部分は利用したい SQL データベース名と置き換えてください。

注意

データベース名は 31 キャラクタ以下でアルファベットと数字しか使えません。アンダースコアやピリオド、その他の記号はデータ ベース名では利用できません。大文字小文字は混在せずにどちからに限定してください。

4. mysql> プロンプトで以下のコマンドを入力します。各コマンドの最後にセミコロンを入力して ENTER を押します:

GRANT ALL PRIVILEGES ON portdb.* TO 'portsql'@'localhost' IDENTIFIED BY 'portpass' WITH GRANT OPTION; 次のコマンドを入力します:

```
GRANT ALL PRIVILEGES ON portdb.* TO 'portsql'@'%' IDENTIFIED BY 'portpass' WITH GRANT OPTION;
次を入力します:
```

```
GRANT SUPER ON *.* TO 'portsql'@'localhost';
```

最後に入力します:

GRANT SUPER ON *.* TO 'portsql'@'%';

5. 設定とホスト権限をリロードするようサーバーに設定するために、以下のコマンドを入力します:

```
FLUSH PRIVILEGES;
その後、以下を入力します:
```

```
FLUSH HOSTS;
```

6. exit と入力して、コマンドラインクライアントを閉じます。

Data Source Name (DSN) の作成

Portfolio Server が動いているシステム上で DSN を作成します。

- Start > Control Panel を選択します。
 64-bit 版の Windows の場合は、コマンドウィンドウを開いて以下を入力します。
 %SystemRoot%\SysW0W64\odbcad32.exe
 ENTER を押します。次のステップをスキップします。
- 2. Administrative Tools を開いて、Data Sources をダブルクリックします。
- 3. ODBC Data Source Administrator 内の、System DSN タブ内で、Add をクリックします。
- 4. Create New Data Source ダイアログ内で、MySQL ODBC driver を選択して、Finish をクリックします。
- 5. Connector/ODBC Data Source Configuration ダイアログ内で、以下の情報を入力します:
 - Data Source Name: デスクトップクライントとウェブクライントから見える Portfolio カタログ名を入力します。
 - Description:カタログの説明を入力します。
 - Server: MySQL Server システムの IP アドレスを入力します。Portfolio Server が MySQL と同じコンピュータで動いている 場合は、localhost を利用します。
 - User: Portfolio MySQL ユーザー名 (例えば portsql) を入力します。
 - Password:データベースを作成した際に作った portsq1 用のパスワード(例えば portpass)を入力します。
 - Database:作成したデータベース(portdb)を選択します。
- 6. **Details** をクリックします。
- 7. キャラクタセットとして、utf8 を選択します。
- 8. Enable Auto Reconnect を選択します。
- 9. **Test** をクリックして、データベースへの接続をテストします。データベースに無事接続できたら、**OK** をクリックして Connector/ODBC 設定を保存します。
- 10. ODBC Data Source Administrator ダイアログの **OK** をクリックします。

インストールの終了

以上のステップが完了したら、SQL データベースを公開 91 ページのに進みます。

WindowsでのSQL Sever設定

SQL Server を設定するには:

- 1. SQL データベースコンピュータで、新規の SQL データベースを作成します。詳細は、SQL データベースのユーザーガイドを参照してください。
- データベースエンジンが格納されているコンピュータで、データベースの管理ユーザーを作成します。このユーザーはスタンダード ユーザーsa アカウント、またはデータベースオーナー(dbo)権限を持ったユーザーである必要があります。master データベース が作成した dbo のデフォルトデータベースであることを確認してください。

注意

Portfolio Server は Microsoft Windows Authentication をサポートしています。この機能を利用するには:

- 1. 以下の場所にある configuration.txt ファイルを開きます:
 - 64-bit Windows

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\portfolio server files\ 32-bit Windows

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\native-server\portfolio server files\ 2. 以下のラインからコメントシンボル (#) を削除します:

- #AllowWindowsAuthentication=yes
- 3. ファイルを保存して Portfolio Server を再起動します。

Portfolio Server はユーザーごと、データベースごとにコネクションを作成します。システムが許可するコネクション数を拡張する必要があ る場合があります。例えば、2つの Portfolio SQL カタログを公開していて、それぞれのカタログに 50 ユーザーが接続する場合、それぞれ のカタログのユーザーが同じユーザーであっても、SQL サーバーに最低 100 コネクションが必要になります。

WindowsでのOracle設定

Portfolio Server で利用するために Oracle を設定するには:

- 1. SQL データベースサーバーで、新しい SQL テーブルスペースを作成します。詳細は Oracle が提供しているユーザーガイドを参照してください。
- 2. データベースの管理ユーザーを作成します。作成する管理ユーザーは DBA 権限を持っている必要があります。
- Oracle Instant Client (ODBC と Oracle ドライバオプションを含む)をインストールします。ODBC コントロールパネル内で、ステッ プ2で作成したユーザーで System DSN を作成します。Long Columns オプションの Force Retrieval にチェックが入っていることを 確認してください。

注意

Oracle を利用する場合は、最新の ODBC ドライバを利用してください。最新のドライバは Oracle のサイトからダウンロードできます: http://www.oracle.com/technology/software/tech/oci/instantclient/htdocs/winsoft.html

Microsoft がデフォルトで提供している Oracle 用の ODBC ドライバは SQL Connect と互換性がありません。

Oracle DSN を作成する:

- 1. Start > Control Panel > Administrative Tools > Data Sources (ODBC)を選択して、ODBC Data Source Administrator を開きます。
- 2. System DSN タブをクリックします。
- 3. Add をクリックします。
- 4. Create New Data Source ダイアログ内で、Oracle ODBC Driver を選択します。
- 5. Finish をクリックします。
- 6. Oracle ODBC Driver 設定ダイアログ内で、以下の情報を入力します:
 - Source Name:追加しようとしている DSN 名
 - Service Name: Oracle インスタンス名。通常は databasename.domain フォーマットで、正しい名前かどうかを Oracle Database Administrator でチェックします。
 - UserID:オラクル・データベースのための有効なユーザーID。このユーザーはデータベースオーナーシップ権利が必要です。
 All other fields:他のフィールドはデフォルト設定にしておきます。
- 7. OK をクリックして変更を保存して DSN を追加します。

WindowsへのODBCドライバのインストール

Portfolio を介してカタログにアクセスするには、Portfolio Server を実行しているマシンに適正な ODBC ドライバがインストールされている ことを事前に確認する必要があります。その後で SQL データベースをセットアップする必要があります。セットアップが終わったら、 Portfolio SQL Connect と Portfolio Server ソフトウェアの両方をインストールすることができます。

SQL Connect と Portfolio Server の管理はどちらも、Portfolio Server Admin アプリケーションを使用して行います。

SQLデータベースの公開

SQL データベース(カタログ)を公開するには:

- 1. Portfolio Server Admin アプリケーションを開きます。
- 2. メインメニューからカタログを選択します。
- 3. カタログパネル内にある新規カタログを追加をクリックします。
- 4. 新規カタログの詳細情報内で SQL を選択し、ドロップダウンメニューから正しい ODBC ドライバとバージョンを選びます。
- 5. SQLの種類によって必要なデータベースフィールドを入力します:
 - Oracle: データベースホスト、ポート番号、ユーザー名、パスワードが必要です。
 - Microsoft SOL Server:データベースユーザー名とパスワードが必要です。
 - MySQL: すでに DSN 内に情報があるので、追加情報は必要ありません。
- 6. データベースを表示ボタンをクリックします。

注意

Portfolio Server Admin アプリケーションでは、ステップ5で与えられた情報によって利用可能なデータベースが表示されます。デ ータベースが表示されない場合は、利用しているデータベース情報を確認してください。

7. 利用したいデータベースをリストから選択して作成ボタンをクリックします。

このカタログを利用するには、始めにユーザーを追加する必要があります。詳細は**ユーザーのカタログメンバシップの付与** 38 ページのを参照してください。

SQLデータベース管理ツール

データベース管理ツールと同時に利用できる Portfolio SQL Connect では、Portfolio カタログとして公開される SQL データベースへの上位ア クセスと管理機能が行えます。

通常 SQL エンジンへのダイレクトアクセスを行って実行する、多くの一般的なタスクをこのツールで実行することができます。

データベース管理ツール(DBA Tool)は、Portfolio Serverのインストーラが実行された際に自動的にサーバー内にインストールされます。

重要:データベース管理ツールは Microsoft Windows 上でのみ起動できます。

Mac OS X で Portfolio Server を実行している場合は、**Portfolio SQL Upgrade Tool**を使って、既存のバージョンから SQL データベースをア ップグレードすることができます。アップグレードツールは、Mac OS X サーバー内のアプリケーションディレクトリにインストールされま す:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/

または、リモートの Windows マシンから DBA Tool を実行して SQL データベースに接続することもできます。リモート Windows マシン上 で Portfolio Server のインストーラを実行すると、Portfolio Server と一緒に DBA Tool がインストールされます。

DBA Tool の起動

DBA Tool はコマンドラインインターフェイスから起動できます。

DBA Tool を起動するには:

- 1. スタート > 実行を選択します。
- 2. 実行ダイアログボックス内で、cmd と入力して OK をクリックします。
- 3. モディンウィンドウ内で、表示されているディレクトリから以下のディレクトリに変更します:

64-bit Windows
C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\archive\
32-bit Windows
C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\archive\

4. DBAtool を入力して DBA Tool を起動します。

DBA Tool を使ったデータベース接続

DBA Tool が起動していると、新機能 Connection ダイアログボックスが自動的に表示されます。選択したデータベースエンジン向けの接続手順を行います。

Microsoft SQL Server データベースに接続するには:

- 1. File > Connect を選択して New Connection ダイアログボックスを開きます。
- 2. Server Type ドロップダウンメニューから MS SQL Server を選択します。
- 3. 希望するデータベースの DSN ファイルを作成してある場合は、Use DSN を有効にして DSN 名を入力します。ステップ 5 へとびます。
- DSN を使わないで接続するには、サーバー名または IP アドレスとデータベース名を入力します。データベース名を空欄のままにしておくと、デフォルトのデータベースに接続します。データベース名に local または、単にピリオド(.)を入力すると、ローカルデータベースに接続できます。

注意

DBA Tool は SQL Server のインスタンス名をサポートしています。インスタンス名を利用するには、バックスラッシュとインスタンス名が続くサーバー名またはアドレス入力します。例:MyServer\MyInstance

- 5. ログイン名とパスワードを入力します。DSN を使って接続するには、ユーザー名とパスワードは DSN と異なります。 注意:データベース名、ログイン名、パスワードは SQL Server がどのようにインストールされたかによって変わります。
- 6. OK をクリックしてデータベースに接続します。

Oracle データベースに接続するには:

- 1. File > Connect を選択して New Connection ダイアログボックスを開きます。
- 2. Server Type ドロップダウンメニューから Oracle を選択します。
- 3. 希望するデータベースの DSN ファイルを作成してある場合は、Use DSN を有効にして DSN 名を入力します。ステップ 5 へとびます。
- 4. DSN を使わないで接続するには、Oracle SID を入力します。データベースエントリーフィールドを空にしておくと、デフォルトデー タベースに接続します。
- 5. ログイン名とパスワードを入力します。DSN を使って接続するには、ユーザー名とパスワードは DSN と異なります。
- 6. **OK**をクリックしてデータベースに接続します。

MySQL データベースに接続するには:

- 1. File > Connect を選択して New Connection ダイアログボックスを開きます。
- 2. Server Type ドロップダウンメニューから MySQL を選択します。
- 3. 希望するデータベースの DSN ファイルを作成してある場合は、Use DSN を有効にして DSN 名を入力します。ステップ 5 へとびます。
- DSN を使わないで接続するには、サーバー名とデータベースを入力します。ローカルデータベースに接続するには、サーバー名に "localhost"を使うことができます。
- 5. ログイン名とパスワードを入力します。DSN を使って接続するには、ユーザー名とパスワードは DSN と異なります。
- 6. OK をクリックしてデータベースに接続します。

DBA ツールを使ったデータベースバージョンのアップグレード

Portfolio SQL データベースをすでに持っている場合は、データベーススキーマを、既存のバージョンから最も新しいバージョンへアップグレードする必要があります。

とても古いバージョンからアップグレードする場合は、アップグレードプロセスを順を追って行う必要があります。DBA Tool には、複数の バージョンをさかのぼるアップグレードスクリプトが用意されています。例えば、Portfolio 7 のカタログを持っている場合は、バージョン 7 から 8 ヘアップグレードしてから、バージョン 8 から 8.5 ヘアップグレードします。

注意

Portfolio 8.5 データベースと Portfolio 9 データベースは互換性があるのでアップグレードする必要はありません。

まずはじめに、現在使われているスキーマのバージョンを確認します。

データベースバージョンを確認するには:

- 1. Tools > Database > Versioning > Display Current Version を選択します。
- 2. バージョン番号は、Console/Results パネルに表示されます。

データベースバージョンをアップグレードするには:

- 1. Tools > Database > Versioning > Upgrade Version を選択します。
- 2. 現在接続しているデータベースに関連するアップグレードスクリプトは、Version Selector ダイアログボックスに表示されます。適切なスクリプトをハイライトして **Convert** をクリックします。

注意

必要なスクリプトが表示されていない場合は、Show all versioning scripts オプションを有効にしてください。

Check the Console/Results パネルをチェックして、データベース変換の結果を見ます。正確な変換の詳細については、以下のディレクトリ にあるログファイルを参照してください:

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\

```
32-bit Windows:
```

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\

DBA Tool で SQL クエリを実行する

DBA Tool を使って標準の SQL クエリを実行することができます。クエリの結果は Console/Results パネルに表示されます。

SQL クエリを実行するには:

- 1. SQL クエリパネルで SQL クエリを入力します。または **File > Load** を選択して、保存してある SQL クエリスクリプトを選択します。 テキストファイルはクエリとして読み込みが可能です。
- 2. Tools > Execute を選択するか、F5 を押します。クエリの結果は Console/Results パネルに表示されます。

注意

MS SQL Server では複数のクエリをバッチ処理できますが、Oracle または MySQL では行えません。

SQL クエリを保存するには:

- 1. SQL クエリパネルで SQL クエリを入力します。SQL クエリパネル内のすべてのコンテンツはスクリプトファイルに保存されます。
- 2. **File > Save** を選択します。
- 3. 名前をつけて Save をクリックします。クエリはテキストファイルとして保存され、DBA Tool でクエリとして開くことができます。

DBA Tool トラブルシューティング

SQL データベースで問題が発生したり、データベーススキーマをアップグレードする場合は、以下の一般的な問題に体するヘルプを参照してください。

問題 / エラーメッセージ	有効な解決方法
Login failed for user "username"/ "username"ユーザーのログインに 失敗	このエラーは、一般的にユーザー名やパスワードのスペルが誤っている場合に発生します。スペルを再 確認してログインを再度試してください。2度目のログインでも失敗した場合は、 MS SQL Server Enterprise manager を使って、データベースに対してオーナーシップ権限を持つ新しいログイン名とパ スワードを作成します。DBA Tool を使って新しく作成したログイン情報でログインします。
SQL Server does not exist or access denied./SQL Server が存在しな い、またはアクセスが拒否され る。	このエラーは、一般的にサーバー名や IP アドレスのスペルが誤っている場合に発生します。スペルを再 確認してログインを再度試してください。 DSN ファイルを使用している場合は、DSN ファイルの問題 でこのエラーメッセージが出る場合があります。ODBC Data Source Administrator ダイアログボックス で、DSN ファイルが正しく作成されているかどうかを再度確認します。スタート > コントロールパネ ル > 管理ツール > Data Sources (ODBC) を選択して、ダイアログボックスを開きます。DSN 設定を チェックして、ログインを再度試してください。
Cannot open database requested in login 'databasename'. Login fails./ 'databasename'でのログインでリ クエストしたデータベースが開け ない、ログインが失敗する。	最も一般的には、特定のサーバーに存在しないデータベースにログインを試みた際にこのエラーが発生 します。正しいサーバーにログインしている、またはサーバー名とデーバベース名のスペルが間違えて いないかどうかを確認します。
Data source name not found and no default driver specified / Data source 名が見つからず、デフォル トドライバ設定が無い。	このエラーは、サーバー用の ODBC ドライバが正しくインストールされていない場合に発生します。ス タート > コントロールパネル > 管理ツール > Data Sources (ODBC) を選択して、ODBC Data Source Administrator ダイアログボックスを開きます。Choose the Drivers タブをセンタ s 句碑て、特定のデー タベースドライバの一覧をチェックします。ODBC ドライバがリスト内に無い場合は、データベースエ ンジンのドキュメントを参照して、新規ドライバのインストール方法を探します。
Upgrading the database schema from version 7 to version 8 fails./ データベーススキーマをバージョ ン7からバージョン8へアップグ レード時に失敗。	バージョンアップスクリプトを実行するたびにログファイルは作成されます。このログファイルで Portfolio Server ディレクトリ内に作成され、データベースが実行しようとした変換とそれ以降のリスト アをその前の状態まで追跡できます。どの時点で変換に失敗したのかをこのファイルで見ることができ ます。また変換に失敗した際にどのタイプのデータが原因になっているかを特定できる場合もありま す。

Portfolio NetPublish

Portfolio NetPublish を利用すると、パワフルで簡単な方法で Portfolio カタログをインターネット上でダイナミックに公開することができます。NetPublish があれば、複数のユーザーがインターネット経由でファイルにアクセスして、必要があれば選択したファイルをダウンロードすることができます。

Web 開発者や JavaScript プログラマーでなくても、NetPublish には Portfolio カタログからダイナミックな Web サイトを作成するための直 感的なアシスタントが用意されています。専用に用意された多くのテンプレートには柔軟性もあるので、ソースファイルをダイレクトに編集 して、各ページを必要に応じてカスタマイズすることもできます。

サイト上でさらにコントロールしたい場合は、このユーザーガイドで API の詳細について説明しています。サイトの編集と作成に必要な JavaScript と Portfolio 特有のコマンドの理解を助けるヘルプが用意されています。NetPublish は Portfolio 独自の機能を包括的にセットして、 業界標準の Mozilla サーバーサイド JavaScript ウェブパブリッシングエンジンに拡張します。JavaScript の知識があれば、カスタムサイトの 構築に役立ちます。

Portfolio NetPublish は、初心者からエキスパートまで Web での公開を可能にするパワーと柔軟性を持っています。

Portfolio NetPublishインストール概要

- 1. Portfolio Server をインストールします。
- 2. Portfolio デスクトップクライアントをインストールします。 カタログやギャラリーをウェブサーバーに書き出すのに、デスクトップクライアントを使います。
- 3. Portfolio NetPublish で必要なシステムやソフトウェアを準備します。
- 4. Portfolio NetPublish Server をインストールします。
- NetPublish Server のライセンス番号を入力します。
 NetPublish Server をインストールする前に、ライセンス番号を入れておくことができます。
- 6. Macintosh サーバーでは、ウェブ共有にチェックを入れて、NetPublish luncher を使って NetPublish Server を起動します。
- 7. Windows サーバーでは、IIS を設定します。
- 8. Windows サーバーでは、サーバーファイアウォールのポート 8085 と 8086 を開きます。
- 9. デスクトップクライアントで NetPublish Server を追加します。

これで Portfolio NetPublish アシスタントを使ってウェブサイトを書き出す準備、または NetPublish サイトを編集する準備が整いました。

NetPublish に必要なシステム環境とソフトウェア

For the most up-to-date information about the latest release of Portfolio Server, please see: ドキュメントダウンロード (http://www.swtoo.com/product/extensis/portfolio/document.html).

Portfolio NetPublish のインストール

Portfolio NetPublish Server はウェブサーバー上にインストールする必要があります。NetPublish Server のインストーラを起動する前に、サ ーバー環境をセットアップしてください。

Macintosh: OS X に搭載されているウェブサーバーで利用できます。

Windows: Microsoft IIS をインストールします。Windows のドキュメントをお読みください。

Windows 上級ユーザー:標準の IIS ポート以外のポート(80 以外のポート)を指定する場合は、新規パラメータをサーバーに追加する必要 があります。テキストエディタなどで、「general.wwwPort=XXXX」パラメータを追加します。XXXX は新しいポート番号です。このファイ ルを以下の場所に置きます:

64-bit Windows:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Webroot\app\

```
32-bit Windows :
```

C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Webroot\app\

```
NetPublish Server をインストールするには:
```

- 1. インストーラをダブルクリックして起動します。
- インストールの手順に従って進みます。使用許諾に同意して続行します。
 注意:Portfolio NetPublish が機能するためには、デフォルトの場所にインストールする必要があります。

Web 共有の有効化とサーバーの起動

コンピュータ名とアドレス

ウェブサーバーは、通常物理的に接続されていないコンピュータからアクセスされます。そのため、ウェブサーバーには常に同じアドレスや ドメイン名が必要です。IP アドレスを使って NetPublish のウェブサイトにアクセスする場合は、ウェブサーバーのコンピュータの IP アドレ スが固定されていることを確認してください。コンピュータ名がドメインの一部(例:*example.com*)になっている場合は、ユーザーはこの 名前でアクセスすることができます。システム環境設定の共有パネルで、コンピュータ名を設定します。

ネットワーク管理者やインターネット管理者と相談してください。

Web 共有を有効にする

OS X 10.7 Lion で Web 共有を有効にするには:

- 1. システム環境設定を開きます。
- 2. 共有をクリックします。
- 3. Web 共有にチェックを入れます。
- 4. システム環境設定を閉じます。

OS X 10.8 Mountain Lion で Web 共有を有効にするには:

注意:Mountain Lion は、Apache ウェブサーバーを持っていますが、システム環境設定からはアクセスできません。

- 1. ユーティリティフォルダ内にある、ターミナルアプリケーションを起動します。
- 以下を入力します。
 sudo apachectl start

入力後、**RETURN** キーを押します。

現在のセッションでウェブサーバーが起動します。コンピュータを再起動するたびにウェブサーバーを起動するようにするには、以下を入力します。

sudo defaults write /System/Library/LaunchDaemons/org.apache.httpd Disabled -bool false 入力後、*RETURN* キーを押します。

4. ターミナルを終了します。

OS X Server で Web サーバーを起動にするには:

- 1. Server アプリケーションを起動します。
- 2. Under Services の左にある、Web (Lion) または、Websites (Mountain Lion) をクリックします。
- 3. Web Server を起動します。



4. Server アプリケーションを終了します。

NetPublish Server を起動する

NetPublish Server を起動するには:

- 1. 以下の場所を開きます:/Applications/Extensis/Portfolio NetPublish Server/WebRoot/app
- 2. NetPublish ランチャーアイコンをダブルクリックします。
- 3. 開始をクリックして、NetPublish Server を起動します。
- 4. 閉じるをクリックして、NetPubish ランチャーを終了します。

NetPublish Server はコンピュータを再起動しても起動します。

IIS の設定

Windows サーバー環境で IIS World Wide Web Publishing Service を再起動するには:

- 1. Windows サービスマネージャーを開きます。
 - スタート > コントロールパネル > 管理ツール > サービス
- 2. Click to select the World Wide Web Publishing service をクリックして選択して、Action > Restart を選択します。

NetPublish Server は Windows のサービスとしてインストールされます。ネットワーク共有上でサイト、テンプレート、ファイル、カタログ にアクセスできるサーバーに設定するには、ログオン権限サービスを設定する必要があります。ログオン情報の入力を選択しない場合は、サ ーバーはローカルファイルにのみアクセスできます。

NetPublish サービスログオン情報を入力するには:

- 1. スタート > コントロールパネル > 管理ツール > サービスから Windows サービスマネージャーを開きます。
- 2. リスト内の Portfolio NetPublish をダブルクリックして、プロパティダイアログを開きます。
- 3. ログオンタブを選択して、このアカウントオプションを選択します。
- NetPublish サーバー用のログオン情報を入力して、OK をクリックして設定します。Browse ボタンを使ってログオン情報にすばや く移動することができます。
- 5. OK をクリックして新規設定を確定します。
- Windows Services manager で、Portfolio NetPublish サービスが選択された状態で、Action > Restart を選択してサービスを再起動し ます。

NetPublish Server を追加する

Portfolio デスクトップクライアントからサイトを書き出す前に、Portfolio デスクトップクライアント内で、NetPublish Server を追加する必要があります。

NetPublish Server を追加するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublish の設定ダイアログで、サーバーを追加をクリックします。
- 4. サーバー名と NetPublish Server の IP アドレスを入力してから、OK をクリックします。 IP アドレスの代わりに、サーバーの DNS や WINS 名を入力することもできます。
- 5. 完了をクリックして、NetPublishの設定ダイアログを閉じます。

NetPublishアシスタント

NetPublish アシスタントは、HTML の特別な知識が無くても、ファイルをウェブ上に公開できるサイト用の HTML ファイル構造を書き出します。

さらに JavaScript についての知識があれば、自分なりの NetPublish サイトを開発することもできます。まずは NetPublish アシスタントを使ってサイトを公開してみてください。サンプルのサイトが公開できたら、JavaScript と Portfolio の特定のコマンドについて説明している NetPublish サイトの編集を参照してみてください。

NetPublish アシスタントは、選択したサイトテンプレートによって、最大8ステップを表示します。各ステップを通じて、公開するサイト 内で使用する最大5種類のHTMLページを設定することができます。

ようこそ:公開するカタログ名が表示されます。

開始:サイトのレイアウトを選択します。

基本設定:書き出す全ページに影響する全体設定を行います。ウェルカムページをサイトに追加することもできます。

検索:検索ページのオプションを設定します。

結果:検索結果を表示させるページを設定します。

詳細情報:1枚の大きな画像が表示されるような詳細ページを設定します。

コレクション:サイトユーザーが複数のファイルを集めて、1つの圧縮ファイルとしてダウンロードできるコレクションページを設定します。

公開:公開サーバー、カタログオプション、変更したテンプレートの別名保存などが行えます。

Portfolio デスクトップクライアントには、この他にウェブサイトを書き出す「Web ページの作成」機能があります。この機能は、 NetPublish より少ない設定項目で、静的なウェブページを生成します。詳細は Portfolio デスクトップクライアントのユーザーガイドを参照 してください。

NetPublish アシスタントからサイトを公開するには、事前に NetPublish Server のインストールとウェブサーバー関連アイテムのインストールが必要です。

NetPublish アシスタントを起動するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. 公開する Portfolio カタログを開きます。
- カタログ > NetPublish を選択します。または現在のギャラリー上のアイテムのみサイトに公開するにはギャラリー > NetPublish を 選択します。どちらの NetPublish メニューも NetPbulish アシスタントが起動します。ギャラリー > NetPublish は、自動的に公開ス テップで現在のギャラリーが選択されます。公開するギャラリーの選択は、公開ステップでいつでも変更できます。

NetPublish アシスタント ようこそ

ようこそ

最初の画面には、公開するために選択されているカタログ名が表示されています。次へをクリックして、アシスタントの画面を移動して行き ます。

開始

開始画面では、予め用意されたデザインテンプレートを選択できます。テンプレートを複製して、必要に合わせてカスタマイズすることもで きます。

画面一番上には、アシスタントのどのステップにいるのかを示すパスが表示されています。各テンプレートをクリックすると、テンプレート の詳細説明が表示されます。

各テンプレートには、それぞれのページレイアウトとデザイン情報が含まれており、NetPublish アシスタントでは選択したテンプレートに あわせて、そのテンプレートで設定できるオプションだけを表示します。

注意

どのステップからも公開をクリックすることができます。公開までのすべての画面がデフォルト設定のままで設定されます。

あらかじめ用意されたテンプレートを使うには:

- 1. テンプレートをクリックします。
- 2. 公開をクリックして、デフォルト設定を使って公開します。または次へをクリックしてサイトのカスタマイズを行います。

このページでテンプレートを複製する、公開ページにあるコピーを保存ボタンを使う、各ステップ内でHTMLページを編集して保存することで、カスタマイズしたテンプレートを保存しておくことができます。

デフォルトのテンプレートを直接変更して保存することはできません。デフォルトテンプレートは必ず元のまま残り、いつでも利用できるようになっています。

テンプレートを複製するには:

- 1. テンプレートプレビュー上で右クリックして、ショートカットメニューから複製を選択します。
- 2. ダイアログ内に、新規テンプレートの名前を入力して、OKをクリックします。
- 3. 新規サイトテンプレートアイコンをクリックします。
- 4. 次へをクリックして、このテンプレートの設定を開始します。

注意

NetPublish アシスタントの公開ページでは、再び同じ設定を利用できるよう、テンプレートのコピーを保存するオプションが用意されています。

利用しないテンプレートが多くある場合は、表示から隠しておくことができます。非表示になったテンプレートは削除されていないため、い つでも再表示が可能です。

テンプレートを非表示にするには:

• サイトテンプレート上で右クリックして、ショートカットメニューから隠すを選択します。

隠したテンプレートを再表示するには:

- 1. サイトテンプレート上で右クリックします。
- 2. **再表示**を選び、**すべてを表示**を選択して隠されているすべてのテンプレートを表示するか、または特定のテンプレート名を選択します。

NetPublish アシスタント 基本設定ステップ

基本設定ページでは、サイト全体の設定を行います。書き出したサイトの全ページに表示されるアイテムが対象となります。

サイトの基本設定

サイトのタイトルには、サイトを表示した際に、ブラウザのタイトルバーに表示されるテキストを入力します。

サイトロゴ

会社のロゴやカタログを説明するグラフィックなど、全ページに表示されるグラフィックを選択できます。

最大サイズが 150x90 ピクセル以内の JPG、GIF、PNG ファイルが利用できます。

デフォルトのロゴグラフィックを変更するには、参照をクリックして、利用したいグラフィックファイルを指定します。

注意

グラフィックファイル、HTML ファイル、他の必要なファイルはコンピュータのどこにあっても問題ありません。NetPublish アシスタント は、サイトを書き出す際に必要なファイルをすべて自動的に収集します。

サイトのヘッダーとフッター

サイトのヘッダーとフッターにテキストや HTML を含めることができます。ウェブサイトのナビゲーションボタンなどを配置して、現在自 社で使っている他のサイトページと同じような見え方にすることもできます。

ヘッダーとフッターの推奨最大サイズは 600x90 ピクセルです。

ヘッダーとフッターファイルを変更するには、参照をクリックします。選択した HTML またはテキストファイルは自動的にコピーされ、 header.html や footer.html に名前が変更されます。

注意

- 新規のヘッダー、フッター、ロゴを特に参照しなくても、デフォルトテンプレートには、ヘッダーとフッター、サイトロゴは含まれています。
- HTML フォーマットは HTML ファイル内でのみ認識されます。テキストを追加すると、NetPublish が既存のフォーマットとスタイ ル内に統合します。
- ヘッダーとフッターのバックグラウンドカラーには、このステップ以降で選択するスタイルシートに合うカラーを選択すると良い でしょう。

ウェルカムページ、ホームページ

ウェルカムページ

ウェルカムページは、ユーザーがサイトに訪れて最初に開くページです。サイト内のナビゲートや、重要な情報が置かれているページです。 ウェルカムページの推奨最大サイズは、480x480 ピクセルです。テキストや HTML を含めることができます。

注意

HTML フォーマットは HTML ファイル内でのみ認識されます。テキストを追加すると、NetPublish が既存のフォーマットとスタイル内に統合します。

ホームページリンクを設定

このオプションにチェックすると、各ページ内にホームページへのリンクを追加します。ほとんどのテンプレートは、ロゴ画像がリンクになっており、テキストボックスに入力した URL にリンクするようになっています。

NetPublish アシスタント 検索ステップ

このステップでは、カタログ内のアイテムをどのように検索させるかを設定できます。様々なページレイアウト、ページスタイル、各テンプ レートで作成された検索設定を選択できます。検索ページは独立している場合が多いですが、サイトフレーム内にある場合もあります。

注意

検索ページを持っていないテンプレートを選択した場合は、NetPublish アシスタントでは検索ページオプションは表示されません。

ページスタイル

初めに検索ページのスタイルを選択します。ページスタイルはページの基本的な機能と見た目を決定します。ページスタイルでは、どのアイ テムをどこに表示するのかが決まります。検索ページでは、表示させたい検索フィールド、クイック検索、複数フィールドの検索なども設定 できます。

選択したテンプレートのデフォルトのページスタイルは、リストの一番上にあります。

ページスタイルを選択するには、ページスタイルアイコンをクリックしてハイライトします。

ページスタイルアイコンをクリックすると、ページスタイルの説明ボックスに、ページスタイルの詳細情報が表示されます。どのスタイルを 選択するべきかは、この情報を参考にしてください。

スタイルシート

選択したサイトによっては、複数のスタイルシートを選択できます。スタイルシートはサイトのカラースキームを決めます。検索ページ上の 各アイテムの背景色やテキストカラーに影響します。

ページスタイルとスタイルシートを選択したら、Web ページのプレビューをクリックして、検索ページが他のページとマッチしているかど うかを確認します。

注意

他のカスタムカスケーディングスタイルシートオプションがある場合は、一貫した体裁にするために、NetPublish サイト全体を書き出した 後、最終的な HTML ファイルを編修してカスタムオプションを組み込むと良いでしょう。

検索フィールドのオプション

検索ページに含めることができる2種類の検索フィールドがあります。クイック検索フィールドと、アドバンス検索フィールドです。

- クイック検索フィールドは、Portfolio カタログ内のファイル名、キーワード、説明の各フィールドのみを検索します。これは Portfolio デスクトップクライアントのクイック検索機能と同等です。
- アドバンス検索は Portfolio カタログ内の最大5つのフィールドを検索します。フィールドは設定した順で表示でき、選択したフィールドをテキスト検索するための HTML フォームとしてブラウザで表示されます。ウェブユーザーはすべてを検索またはフィールドを選択のいずれかを選択できます。これらは and または or で組み合わせられます。

アドバンス検索オプションを設定するには:

- 1. 次のフィールドを使用して検索フォームを作成オプションを選択します。
- 2. リスト内で検索に利用したいフィールドをクリックしてチェックします。パスと URL フィールドは検索オプションに使用できません。また URL フィールドに設定されたカスタムフィールドも該当します。
- フィールド名をクリック&ドラッグして、表示したい順序に並べ替えます。例えばファイル名フィールドを最初に検索したい場合は、 リストの一番上に持ってきます。

検索ページに「すべて表示」ボタンを表示する

このオプションにチェックすると、ウェブページに**すべて表示**リンクを配置します。ユーザーがこのボタンをクリックすると、NetPublish サイト内で公開されているすべてのアイテムを結果ページに表示します。

詳細検索オプション

各データフィールドをどのように検索させるかや、ユーザーのブラウザに表示するかを変更することができます。

詳細検索オプションを設定するには:

- 1. 検索するフィールドリスト内で、選択したデータフィールドをクリックしてハイライトします。
- 2. 検索条件/オプションをクリックして、詳細検索オプションダイアログを開きます。

データ入力オプション

データ入力オプションは、選択したフィールドの種類によって変わります。例えばキーワードフィールドの詳細オプションは、以下のいずれ かを作成できます:

- テキスト入力ボックス:ユーザーにキーワードと考えるテキストを入力させることができます。
- 定義済みリストのプルダウンメニュー:カタログのマスターキーワードリストを使って、メニューからキーワードが選択できるよう になります。
- 定義済みリストのハイパーリンク:プルダウンのように、カタログ内のマスターキーワードからハイパーリンクリストを作成します。

検索条件

テキスト入力ボックスと、あらかじめ用意されたリストが選択できるプルダウン用に、検索エンジンが各フィールドを見る方法を再定義する ことができます。

検索条件の1つにチェックを入れた場合は、常にその条件で検索が実行されます。1つ以上の検索条件にチェックを入れた場合は、ユーザー が検索時に選択できるようにプルダウンメニューが作成されます。

例えば**キーワード**フィールドの、定義済みリスト用**プルダウン**を選択します。**で始まる、で終わる、と一致する**の3つの条件にチェックし ます。作成された検索ページには、2つのプルダウンメニューが表示されます。1つには3つの検索条件が含まれ、2つ目のプルダウンメニ ューには、カタログ内のマスターキーワードが含まれています。ユーザーは各プルダウンメニューからアイテムを選択して、検索ボタンをク リックすることで検索を実行できます。

注意

空の検索フィールドは、があるが検索条件で選ばれている場合を除いて、NetPublish で無視されます。また、パスやカスタム URL フィール ドのようなインデックス化されていないフィールドは検索できないので、検索フォームでは使用しないようにします。

ソースコードの編集

ソースの表示ボタンをクリックすると、NetPublish アシスタントのソースコードをベーシックテキストエディタで表示します。このツール は、あらかじめ設定されたコードを少しだけ編集する場合に便利です。

エディタ内でできること:

- ページの HTML コードを直接編集できます。
- 変更点をデフォルトのウェブブラウザでプレビューできます。
- 現在のソースをファイルに書き出せます。
- 現在のソースと置き換えるファイルを取り込めます。
- 編集したソースファイルを保存できます(あらかじめ用意されたサイトの編集をした場合は、**別名で保存**しか利用できません)。

注意

ソースファイルを変更すると、コードの関連性が失われ結果としてサイトが適切に機能しない原因になる可能性があります。ソースファイ ルの変更は十分注意して行ってください。

ソースファイルを見る前に、すべてのページ設定を選択することをお勧めします。これによって NetPublish のパラメータをより理解し、機能を保持するのに役に立ちます。

閉じるをクリックすると、NetPublish アシスタントの画面に戻ります。

ウェブページのプレビュー

NetPublish アシスタントのどの段階でも、Webページのプレビューをクリックして、現在のページをデフォルトのウェブブラウザで表示す ることができます。カタログ内の最初の 10 個の画像を表示することができます。

注意

どのような HTML コードでも、表示に使用しているブラウザのバージョンによって表示が変化します。サイトを利用するユーザーが使うと 思われるすべてのブラウザで表示テストをすることをお勧めします。デフォルトテンプレートは Internet Exporer、Firefox、Safari でテスト されています。既知の問題は、サイトテンプレートの説明欄に記載してあります。

NetPublish アシスタント 結果ステップ

結果ステップでは、検索結果を表示するページを設定します。ページデザイン、サムネールサイズ、表示するフィールド情報などを設定できます。

ページスタイル

検索ページと同様に、最初にページスタイルを選択します。ページスタイルはレイアウトプリセットで、何を表示するのかを設定できます。 別のスタイルを選択するまでは、デフォルトのページスタイルが選択されています。

ページスタイルを選択するには、ページスタイルアイコンをクリックしてハイライトします。

スタイルシート

選択したサイトによって、複数のスタイルシートが用意されている場合があります。スタイルシートは、サイトのカラースキームをコントロ ールしています。最終的なページの各アイテムの背景色とテキストカラーなどが変更されます。

結果とサムネールオプション

検索条件の表示:このオプションにチェックを入れると、検索条件としてユーザーが入力した情報を表示します。例えば、犬を含むキーワードのように、ユーザーが理解しやすい一般的な用語で表示されます。

結果のソート基準:このオプションにチェックを入れると、検索結果を特定のデータフィールドによってソートします。このオプションのチェックを外すと、アイテムは Portfolio カタログ内の順序で表示されます。

サムネールオプション

サムネールオプションは、表示する画像サイズ、表示させる縦横の数、ユーザーが画像をクリックした時の動作を設定できます。

サムネールサイズは、カタログ内のサムネールサイズに直接関係あります。オリジナルサイズを選択した場合は、カタログ内のサムネールサ イズが使用されます。

注意

カタログ内よりも大きいサムネールサイズを選択した場合は、サムネールサイズの表示品質が下がります。カタログ内で作成されたサムネ ールサイズが112 ピクセルの場合は、112 ピクセル以下のサイズを選択します。プレビューして確認してください。

ユーザーがサムネールをクリックした時の動作をドロップダウンメニューから選択します。詳細ページを作成するには、詳細の表示を選択します。その他のオプションは表示通りの動作をします。

コレクションの追加/削除オプションを表示

このオプションをチェックすると、お気に入りコレクションに追加できるようにします。このオプションにチェックがかかっていると、結果 ページ内の各アイテムの横にリンクまたはボタンが表示されます。ユーザーが各アイテムをクリックすると、コレクションに追加されます。

注意

検索結果と詳細情報ページの両方でこのオプションが非表示になっている場合は、ユーザーはコレクションにアイテムを追加することはで きません。

表示するフィールド

ページスタイルによっては、データフィールドを表示させることができます。含めたい各データフィールドをチェックして、表示させたい順 番にクリック&ドラッグして並べ替えます。

NetPublish アシスタント 詳細情報ステップ

詳細情報ページでは、1 つの画像のみが表示され、他のページのサムネール画像より高い品質の大きな画像が表示されます。このステップで は、詳細情報オプションが選択できます。

ページスタイルとスタイルシート

ページスタイルとスタイルシートオプションは、ここまでのページと同様の操作です。ページスタイルをクリックして選択し、ドロップダウンメニューからスタイルシートを選択します。

画像オプション

表示する画像を選択できます。画像のサイズと、ユーザーが画像をクリックした時の動作を選択できます。

使用する画像

表示する画像の作成に利用する画像を選択できます:

- オリジナルファイルを選択すると、オリジナル画像を表示します。この設定を選択する場合は、続くフィールドで適切な画像サイズ を設定します。
- プレビューを選択すると、カタログ内のプレビュー画像を使用します。カタログがプレビューを持っていない場合は、サムネール画像が使用されます。
- サムネールを選択すると、カタログのサムネール画像を使用します。

サイズ

オリジナル以外のサイズを選択すると、画像は NetPublish でリサイズされ、選択したサイズで表示されます。

注意

使用する画像と画像サイズの両方でオリジナルを選択した場合、ウェブブラウザで表示できない画像(TIFF や PSD など)は、詳細ページで は表示されません。この問題を回避するためには、適切な画像サイズを選択することで NetPublish が自動的にウェブブラウザで表示できる 画像を作成します。

ファイルのダウンロードリンクを表示:このオプションにチェックを入れると、カタログからオリジナルファイルをダウンロードするための リンクまたはボタンを追加します。

コレクションの追加/削除リンクの表示:このオプションにチェックを入れると、ユーザーのお気に入りコレクションにファイルを追加でき るようになります。

表示するフィールドと順序

選択したページスタイルによって、データフィールドを表示できます。表示させたいフィールドにチェックを付け、表示させたい順番にクリ ック&ドラッグして並べ替えます。

注意

パス情報など、改行の無い長いテキストフィールドは、サイトデザインに影響を与えることがあります。このタイプのフィールドは表示さ せない方が良いでしょう。

NetPublish アシスタント コレクションステップ

コレクションステップでは、コレクションページの設定が行えます。他のステップと同様に、ページスタイルやスタイルシートを選択したり、 ページ内のデザインや機能の変更を行えます。

ページスタイルとスタイルシート

ページスタイルとスタイルシートオプションは、ここまでのページと同じように操作します。ページスタイルをクリックして、ドロップダウンメニューからスタイルシートを選択します。

結果のソート基準

検索結果を、特定のフィールド条件によって並べ替えることができます。このオプションのチェックを外すと、アイテムは Portfolio カタロ グ内の順番で表示されます。

サムネールオプション

表示される画像のサイズ、縦横の列数、画像をクリックした時の動作を設定できます。

サムネールサイズは、カタログ内のサムネールサイズに直接依存します。**オリジナルサイズ**を選択すると、カタログ内のサムネールサイズが 表示されます。

ダウンロードオプション

収集したアイテムのダウンロードを許可にチェックすると、ユーザーがコレクションに追加したすべてのファイルを含んだ圧縮ファイルをダ ウンロードできるようになります。圧縮ファイルは NetPublish が必要時応じて自動的に作成します。

圧縮ファイルは.ZIP ファイルとして作成されます。このファイルは OS X Finder や Windows Explorer で解凍することができます。

表示するフィールド

ここまでのステップと同様に、表示させたいフィールドデータにそれぞれチェックを付けます。また選択したフィールドデータをクリック& ドラッグして、表示させたい順番に並べ替えます。

NetPublish アシスタント 公開ステップ

公開ステップでは、NetPublish がサイトを書き出す場所を指定したり、テンプレートのコピーの保存、パスワードの設定、サーバーからア クセスできるカタログまたは固定したカタログのコピーをアップロードするかの選択、書き出すギャラリーの選択などが行えます。

サーバーを追加する:

- 1. 追加をクリックします。
- 2. サイト名と IP アドレスをダイアログに入力します。静的な IP アドレスを利用したくない場合は、DNS または WINS 名をサイト名テ キストボックスに入力できます。
- 3. OK をクリックします。

注意:サーバーを追加する前に、初めに NetPublish Server のインストールと、ウェブ関連アイテムの設定をする必要があります。

サーバーを選択するには:

- 1. リストからサーバー名をクリックして選択します。
- 2. ウェブサーバー上にサイト用のサブフォルダを作成するには、サブフォルダテキストボックスにフォルダ名を入力します。

注意

サブフォルダ名は、直接 URL の一部になります。そのためサブフォルダ名には英数字、アンダースコア、ピリオド、ダッシュしか使えません。 Ã é ì ô ü など、アクセント記号の付いた High ASCII キャラクターは利用できません。

サーバーを削除する:

- 1. 一覧の中のサーバーをクリックして選択します。
- 2. 削除をクリックします。
- 3. 確認ダイアログが出たら、OK をクリックします。

カタログオプション

NetPublish でカタログを公開すると、サイトと Portfolio の間にダイナミックリンクを作成します。カタログや特定のギャラリーがアップデートされると、NetPublish ウェブサイトのユーザーは、変更された内容を利用することができます。

注意:サイトを公開する際に、カタログが NetPublish サーバーからアクセスできる必要があります。

次のギャラリーだけを Web ページにする

カタログ内の特定のギャラリーだけを公開することができます。ギャラリーを選択すると、ギャラリー内のファイルのみが公開されます。ス マートギャラリーを選択することもできます。最新登録アイテムのギャラリーと、検索結果ギャラリー、スクラッチパッドギャラリーは NetPublish で公開できません。カタログ内のすべてを公開するには、すべてのアイテムギャラリーを選択します。

ウェブサイトの並び順と表示させる情報は、NetPublish アシスタントで設定した内容で決定されます。選択したギャラリー自体の設定によっては変更されません。

保存オプション

現在の設定のすべてを再び利用したい場合は、テンプレート設定をコピー保存することができます。

現在の NetPublish 設定をコピー保存するには:

- 1. アシスタントの公開ステップで、レイアウトの説明テキストボックスに、新規の説明を入力します。
- 2. 名前を付けて保存をクリックします。
- 3. 新規テンプレート設定に名前を付けて、OKをクリックします。

NetPublish が現在の設定のコピーを保存します。次回 NetPublish アシスタントを使ってサイトを作成する時には、保存したテンプレートが、 他のテンプレートと一緒に、開始ページに表示されます。

パスワードオプション

サイト用に、表示用と編集用の2種類のパスワードを設定できます。

編集用パスワードは、予期しない人からサイトを編集されることを防ぎます。これを設定することで、パスワードが無い人は NetPublish ア シスタントを使って、サイトを再書き出しすることができません。サイトを再び書き出ししようとすると、編集用パスワードの入力を求めら れます。

表示用パスワードは、予期しない人がサイトを見ることを防ぎます。保護されたサイトにファイルを書き出したい場合は、表示用のパスワードを入力します。ウェブユーザーは NetPublish サイトを開こうとすると、表示用パスワードの入力を求められます。間違ったパスワードを入力すると、空白ページが表示されます。

現在のサイトを書き出し直すたびに、サイト編集用パスワードと表示用パスワードを再入力する必要があります。パスワードはサイトが書き 出されるたびに書き込まれます。

注意

複数のサイトで同じ表示用パスワードを使うと、閲覧者はブラウザを閉じない限り、最初のサイト表示時のみパスワード入力を求められま す。ブラウザウィンドウを閉じると、パスワードを再び入力するよう求められます。

NetPublishファイルロケーション

NetPublish を効果的に利用するには、NetPublish Server のどこにファイルが置かれているのかを理解しておいた方が便利です。書き出した ファイルは、NetPublish Server の以下の場所に置かれています。

64-bit Windows :

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\

32-bit Windows :

C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\

Macintosh:

/Applications/Portfolio NetPublish Server/Web Root

app ディレクトリには、EXE、DLL、NP、その他ファイルに関連する他のプログラムなどを含む、NetPublish が置かれるサーバー用のプログラムが置かれています。

ファイル	説明
app\server.properties	このファイルは、サーバーの一般的なオペレーションに関する設定が含まれています。
app\assets.log	このテキストファイルには、NetPublish Server からダウンロードされたアセットのログが含ま れています。
app\server.log	このテキストファイルには、サーバーからのログメッセージが含まれています。
app\data\en\error.properties	このファイルには、エラーストリングマッピングが含まれています。
app\data\en\field.properties	このファイルには、変更されたフィールド名が含まれています。
cache\	このディレクトリには、NetPublish Server が.ZIP ファイルを作成する間に作成するテンポラリ ファイルが含まれています。
global\libraries\	このディレクトリには、.np テンプレートが利用しているグローバルサーバー側の JavaScript ファイルが含まれています。グローバルアイテムは、必要とするどのサイトテンプレートから も利用できます。
global\media\	このディレクトリには、グローバルイメージが含まれています。
global\resources\	このディレクトリには、カスケーディングスタイルシートなどのグローバルテキストファイル が含まれています。
<pre>sites\site_name(user-defined)\</pre>	このディレクトリには、NetPublish アシスタントが作成したサイト用のファイルが含まれてい ます。これにはサーバーにアップロードされた、静的なカタログやプロパティファイルが含ま れています。
<pre>sites\site_name\alias.properties</pre>	このファイルには、この特定のサイトのカタログエイリアスを特定する設定が含まれています。
<pre>sites\site_name\site.properties</pre>	このファイルには、このサイト特有の設定が含まれています。
<pre>sites\site_name\catalog.fdb</pre>	ここには、NetPubslish アシスタントが、このサイトのための静的なカタログをアップロード します。
<pre>sites\site_name\libraries\</pre>	このディレクトリには、.np テンプレートが使用するサイト特有の JavaScrpt ファイルが含まれ ています。
sites\site_name\media\	このディレクトリには、サイト特有の画像が含まれています。
sites\site_name\previews\	NetPublish アシスタントがカタログのコピーをアップロードした場合に、そのプレビュー画像 はこの場所に置かれます。プレビュー画像のアップロードはオプションです。
<pre>sites\site_name\resources\</pre>	このディレクトリには、カスケーディングスタイルシートなどのサイト特有のテキストファイ ルが含まれています。
<pre>sites\site_name\templates\</pre>	このディレクトリには、サーバーが利用するサイト特有の.np ファイルが含まれています。
<pre>sites\site_name\originals\</pre>	NetPublish アシスタントがカタログのコピーをアップロードした場合に、オリジナル画像はこの場所に置かれます。オリジナル画像のアップロードはオプションです。
NetPublish Serverの設定

NetPublish Servers は、Portfolio デスクトップクライアントの設定ダイアログから、簡単に追加、編集、削除、設定を行えます。このダイア ログを開くには、メニューからファイル > NetPublish の設定を選択します。

NetPublish Server の設定では、サーバーレベルのパスワードの変更、ログファイルの表示、サーバーキャッシュサイズの設定、書き出した サイトの管理などが行えます。

NetPublish Server 名と IP アドレスの編集

NetPublish Server 名と IP アドレスの編集するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublish の設定ダイアログ内で、サーバーをクリックして選択し、サーバーを編集をクリックします。
- 4. サーバー編集ダイアログ内で、サーバー名と IP アドレスを編集して、**OK**をクリックします。

固定された IP アドレスを利用したくない場合は、DNS や WINS 名を IP アドレスのボックスに入力し、サーバー名も自由に付けることができます。

NetPublish Server の削除

NetPublish Server を削除するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublish の設定ダイアログで、サーバーをクリックして選択してから削除をクリックします。
- 4. OK をクリックして削除を確認します。

管理者とサイト作成のパスワード

サーバーレベルで2種類のパスワードが設定できます。管理者パスワードは、NetPublishの設定ダイアログへのアクセス時に必要になり、 NetPublish サーバー設定を守ります。サイト作成パスワードは、権限を持たないユーザーが新しい NetPublish サイトを作成できないように することができます。

各サーバーごとに、管理者パスワードとサイト作成パスワードは1つずつしか持てません。

各サイトには、さらに編集用パスワードと表示用パスワードを追加することもできます。詳細は、**サイトパスワード**(114 ページの)を参照してください。

管理者とサイト作成のパスワードを作成するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublish の設定ダイアログ内で、サーバーをクリックして選択し、管理をクリックします。
- 4. サーバーの設定タブで、変更したいパスワードの種類によって NetPublish 管理者または、サイトの作成のどちらかをクリックしま す。
- 5. 新しいパスワードと確認を入力したら、OK をクリックします。
- 6. OK をクリックして、Exit をクリックします。

NetPublish キャッシュサイズ

サーバーは、サーバー上のディスクドライブの一定のサイズを利用します。サーバーで専用するサイズを限定したい場合には、キャッシュサ イズを最小にすることができます。キャッシュは Portfolio が一時的にファイルを置く場所です。.ZIP ファイルの作成時や、プレビューとサ ムネール画像を直接生成する際に利用します。

キャッシュサイズを変更するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublish の設定ダイアログ内で、サーバーをクリックして選択し、管理をクリックします。
- 4. サーバーの設定タブで、新しいキャッシュサイズ(単位は MB)を入力して OK をクリックします。

NetPublish ログファイル

NetPublish のログファイルは、NetPublish Server 内のアクティビティを記録します。2 種類の別のログファイルが作成されます。アセット ログファイルは、NetPublish Server からダウンロードされたファイルについて記録します。サーバーログファイルは、サーバーについての その他の情報を記録します。これらのファイルは、どのファイルが最もよくダウンロードされるかを追跡したり、サーバーの予想外の症状を 診断するのにも利用できます。

サーバーログファイルを表示するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublishの設定ダイアログ内で、サーバーをクリックして選択し、管理をクリックします。
- 4. サーバーの設定タブで、**ログを表示**をクリックします。

アセットダウンロードログ

ダウンロードログは、NetPublish サイトからどのアセットがダウンロードされたかを追跡します。このファイル名は assets.log で、 NetPublish のサーバー上の以下の場所に置かれます。

今回のリリースでは、このログに便利な情報フィールドが多く追加されました。誰がファイルにアクセスしたかを見たり、どのファイルが最 も多くダウンロードされたかを、見ることができます。

デフォルトのインストールディレクトリ:

64-bit Windows :

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\app\assets.log 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\app\assets.log Macintosh:

/Applications/Portfolio NetPublish Server/Web Root/app/assets.log

assets.log ファイルは、タブ区切りのファイルで、通常のテキストエディタや、Microsoft Excel などの表計算プログラムで簡単に開くこと ができます。表計算プログラムを使ってファイルを見ると、データから NetPublish サイトのトラフィックや作成レポートを読み取ることも できます。

assets.log ファイルには、以下のフィールド情報が順番に含まれています:

- ダウンロードした日付
- ダウンロードした時間
- ダウンロードを開始したコンピュータの IP アドレス
- サイトがログインを要求している場合のユーザーログイン情報。ログインを要求していない場合は、IP アドレスなどのリモートホス トデータが含まれます。
- アーカイブの一部としてダウンロードされたファイル名を含む、ダウンロードされたファイル名
- オリジナルソースファイルのパス名
- ファイルの Portfolio ItemId
- アイテムがダウンロードされたカタログの名前
- NetPublish カタログエイリアス名
- NetPublish サイト名
- アーカイブしてファイルがダウンロードされた場合のアーカイブファイル名
- 設定がされている場合の、ダウンロードされたファイルの高さ、幅、アスペクト比

ウォーターマークとアセットダウンロードの保護

ウォーターマークを画像に追加すると、半透明のマークを画像に載せて無許可の画像利用から守ります。

NetPublish が画像上に追加するウォーターマークは、ダウンロードするファイルに載せて実際に利用を躊躇させるタイプのものです。目に 見えないタイプのウォーターマークとは異なります。このウォーターマークは、ウェブからアクセスしたユーザーがダウンロードするファイ ルにのみ追加され、オリジナルアセットには影響しません。

ウォーターマークとして、アニメーションではない GIF 画像を利用することができます。一般的には、コントラストが高いシンプルな画像 (例えばテキストなど)の方が、コントラストが低い複雑な画像よりも良いでしょう。このファイルは NetPublish サーバー上で簡単にアク セスできる場所に置くことができます。

現在ウォーターマークは、JPEG、GIF、PNG、BMP を含む、NetPublish でサイズ変更可能なすべてのファイル形式をサポートしています。

ウォーターマーク機能を使うには、NetPublish アシスタントが生成する、NetPublish ウェブサーバー用のサイトの site.properties ファイ ルを編集する必要があります。

このファイルのデフォルトの場所:

64-bit Windows :

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\site\<site_name>\site.properties 32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\site\<site_name>\site.properties Macintosh:

/Applications/Portfolio NetPublish Server/Web Root/site/<site_name>/site.properties

site.properties ファイルは、Windows のノートパッドや Mac のテキストエディットなど、標準のテキストエディタで開くことができま すが、*UTF-8 エンコーディングフォーマットである必要があります*。ウォーターマークを利用可能にして、アセットのダウンロード保護を可 能にするには、このファイルに必要なパラメータを追加して必要にあわせてオプションを選択します。

ウォーターマークに関する重要な注意点

ウォーターマークを追加したり変更した場合は、NetPublish サイトのキャッシュディレクトリをクリアにすることが重要です。この操作に よって、以前に作成されたサイト上の画像(例えばウォーターマークが入る前の画像)が誤って利用されることを防ぎます。

NetPublish のキャッシュをクリアするには、以下の場所にあるキャッシュフォルダからすべてのファイルをすべて削除します。

64-bit Windows :

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\cache\

32-bit Windows:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish Server\Web Root\cache\

Macintosh :

/Applications/Portfolio NetPublish Server/Web Root/cache/

ウォーターマーク画像を選択する

ウォーターマークの透明ピクセル

ウォーターマークの透明度は、ウォーターマーク GIF の左上隅のピクセルによって決定されます。このピクセルのカラーによって背景色とウ ォーターマークの透明になる部分が決定されます。アルファチャンネルは無視されますので注意してください。透明度は左上のピクセルによ って決定されます。

ウォーターマークとアセット保護設定

site.properties ファイル内で、ウォーターマークとアセット保護に関する6つの設定を行えます。以下の表は、設定の概要です。

設定	許容値	デフォルト値
archives	true, false, watermark	true
originals	true, false, watermark	true
previews	true, false, watermark	true
watermarkAlign	center, topleft, bottomleft, bottomright, tile, fit	bottomright
watermarkOpacity	0-100	50
watermarkFile	path to watermark image	none

archives

NetPublish サイトのユーザーが、アーカイブファイルをダウンロードできるかどうかを決定します。

- true: (デフォルト) ユーザーがアーカイブファイルをダウンロードできます。
- false:ユーザーはアーカイブファイルをダウンロードすることはできません。site.properties ファイル内でアーカイブができな いようになっている場合は、関連するサイトにはアーカイブダウンロード機能は含めることができません。
- watermark:画像にウォーターマークを入れたものをダウンロードすることができます。以下のウォーターマーク設定に基づいて、 各画像内にウォーターマークが入ります。ウォーターマークを入れることができない画像は、ダウンロードアーカイブに入れること はできません。ファイルが常にダウンロードできるようにするためには、NetPublish サイト上のファイルにウォーターマークを入れ られるようにしておく必要があります。

注意

NetPublish がアーカイブを作成する際に、ウォーターマークを入れられるファイルが無い場合は「ダウンロードできるファイルが ありません」というエラーメッセージが NetPublish サイトのユーザーに表示されます。

originals

NetPublish サイトのユーザーが、オリジナルファイルをダウンロードできるかどうかを決定します。

- true: (デフォルト) ユーザーがオリジナルファイルをダウンロードしたり表示したりできます。
- false:サイトユーザーからオリジナルファイルにアクセスできません。NetPublish サイトがオリジナル画像を含む設定なっている場合は、画像が表示できない旨のメッセージが代わりに表示されます。
- watermark:以下のウォーターマーク設定に基づいて、ユーザーに提示される前に、各オリジナル画像にウォーターマークが入ります。

previews

NetPublish サイトのユーザーが、プレビューファイルをダウンロードできるかどうかを決定します。

- true: (デフォルト)ユーザーがサイト上のプレビューファイルをダウンロードしたり表示したりできます。
- false:サイトユーザーからプレビューファイルにアクセスできません。NetPublish サイトがプレビュー画像を含む設定なっている場合は、画像が表示できない旨のメッセージが代わりに表示されます。
- watermark:以下のウォーターマーク設定に基づいて、ユーザーに提示される前に、各プレビューJPEG 画像にウォーターマークが 入ります。

watermarkAlign

ターゲット画像内にウォーターマーク画像をどのように配置するのかを決定します。

- center:画像の中央にウォーターマークを配置
- topleft:画像の左上角にウォーターマークを配置
- **bottomleft**:画像の左下角にウォーターマークを配置
- bottomright: (デフォルト) 右上角にウォーターマークを配置
- tile:ターゲット画像を横切るウォーターマークタイトル
- fit:ターゲット画像の横幅に合わせてウォーターマークをフィット

watermarkOpacity

ウォーターマーク画像の透明度を設定します。

透明度の値は 0~100 まで設定できます。デフォルト値は 50 です。0%の場合はウォーターマークは表示されません。100%の場合は不透 明になるため、ターゲット画像の配置された箇所の画像は見えなくなります。

(ウォーターマークの左上のピクセルのカラーによって、ウォーターマーク画像のどのピクセルが透明になるかが決まります。透明になった ピクセルは透明度設定で影響を受けません。)

watermarkFile

この設定は、NetPublish サーバー上のウォーターマーク GIF ファイルの絶対バスです。ウォーターマークのソースファイルとしてサポート されているのは、現在 GIF 画像のみです。

サンプル site.properties ファイル

```
#-----
# Site Properties
#-----
description =
enabled = 1
passwordModify =
passwordWeb =
archives = false
originals = watermark
previews = watermark
watermarkAlign = center
watermarkFile = /Users/Shared/Images/watermark.gif
watermarkOpacity = 40
```

NetPublishサイト管理

NetPublish の設定ダイアログから、書き出すサイトのプロパティを編集することができます。特定のサイトの公開/非公開、エイリアスを 使った複数カタログのサイト公開、編集や表示のパスワードの変更などが行えます。

サイトの公開/非公開

サーバーには、複数のサイトを書き出せますが、実際に公開してアクティブに利用できるサイトは2、3です。

サイトの公開/非公開をするには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを開きます。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublish の設定ダイアログで、サーバーをクリックして選択してから、管理をクリックします。
- 4. サイトの管理タブで、サイト名を公開/非公開にします。
- 5. 適用をクリックします。非公開サイトは、これでウェブユーザーからアクセスできなくなります。
- 6. OK をクリックしてから、完了をクリックします。

NetPublish サイトパスワード

編集用と表示用パスワードは、サイトレベルで設定するパスワードです。編集用パスワードは、現在のサイトを再度書き出す際にユーザーが 入力するパスワードです。表示用パスワードは、ウェブにアクセスしてきたすべてのユーザーが、サイトを見る際に入力しなければならない パスワードです。

編集用と表示用のパスワードを変更するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublishの設定ダイアログ内で、サーバーをクリックして選択し、管理をクリックします。
- 4. サイトの管理タブで、書き出したサイトをクリックして選択し、サイトの編集をクリックします。
- 5. 詳細タブで、変更したいパスワードの種類によって編集用パスワードの変更または、表示用パスワードの変更をクリックします。
- 6. 新しいパスワードと確認を入力したら、OK をクリックします。
- 7. OK をクリックして、サイト変更します。
- 8. OK をクリックして、完了をクリックします。

NetPublish カタログエイリアス

エイリアスは、各 NetPublish サイトに、どの Portfolio カタログを使うか、その場所、各カタログ内のどのギャラリーを書き出すかを伝えま す。各エイリアスはカタログ内の、1 つまたは複数のカタログやギャラリーを指すことができるので便利です。これによって、1 つの NetPublish サイトに 1 つ以上のギャラリーやカタログを一度に持たせることができます。

サイトを書き出す際に、NetPublish はカタログという名前のエイリアスを作成します。NetPublish サイトに1つ以上のギャラリーやカタロ グを持たせるためには、エイリアスを編集して、エイリアスに新しいカタログを追加します。毎回違うギャラリーを加えることで、ひとつの エイリアスに同じカタログを複数回追加することができます。

1つ以上のエイリアスを使って、カスタムサイトを作成することができます。これによって、サイトの別のエリア用に別のカタログエイリア スを使うことができます。1つ以上のエイリアスを使う場合は、サイトのソースコードの編集と、NetPublish JavaScript リファレンスの知識 が必要です。

注意

新しいカタログをエイリアスに追加した時は、すべてのカタログ内を通してカスタムフィールドがあることを確認することが重要です。す べてのカタログ内に存在しないフィールドを表示しようとしたり、検索しようとすると、ウェブサイトが崩れます。

NetPublish エイリアスの追加

カタログやギャラリーをエイリアスに追加するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublishの設定ダイアログ内で、サーバーをクリックして選択し、管理をクリックします。
- 4. サイトの管理タブで、書き出したサイトをクリックして選択し、サイトの編集をクリックします。
- 5. エイリアスタブで、現在のエイリアスを選択して、編集をクリックします。
- 6. Edit Alias ダイアログで、Add をクリックします。
- 7. Add Catalog ダイアログで、Portfolio served または、SQL Connect served を選択します。
- 8. 適切な IP アドレスとカタログ名を入力します。
- 9. ギャラリーをエイリアスに追加する場合は、ギャラリー名を入力します。カタログ全体を追加する場合は、ギャ**ラリー**フィールドに は何も入力しないでおきます。
- 10. 新規カタログが、カタログレベルでパスワードプロテクトされている場合:
 - 適切なパスワードレベルをチェックします:ユーザーまたはレベル
 - 正しいユーザー名とパスワードを入力します。
- 11. OK をクリックします。新規カタログが Edit Alias ダイアログのカタログリストに追加されます。
- 12. OKを3回クリックして、完了をクリックします。

新規 NetPublish エイリアスの作成

注意

1つ以上のエイリアスを利用するには、サイトのソースコードの編集とNetPublish JavaScript コマンドの知識が必要です。

新しいエイリアスを作成するには:

- 1. Portfolio デスクトップクライアントを起動します。
- 2. ファイル > NetPublish の設定を選択します。
- 3. NetPublishの設定ダイアログ内で、サーバーをクリックして選択し、管理をクリックします。
- 4. サイトの管理タブで、書き出したサイトをクリックして選択し、サイトの編集をクリックします。
- 5. Aliases タブで、Add をクリックします。
- 6. Add Alias ダイアログで、新しいエイリアス名を入力し、Add をクリックします。
- 7. Add Catalog ダイアログで、Portfolio served または、SQL Connect served を選択します。
- 8. ギャラリーをエイリアスに追加する場合は、ギャラリー名を入力します。カタログ全体を追加する場合は、ギャラリーフィールドに は何も入力しないでおきます。
- 9. 新規カタログが、カタログレベルでパスワードプロテクトされている場合:
 - 適切なパスワードレベルをチェックします:ユーザーまたはレベル
 - 正しいユーザー名とパスワードを入力します。
- 10. OK をクリックします。新規カタログのエイリアスがエイリアスリストに追加されます。
- 11. この新しいエイリアスを使うには、NetPublish サイトの編集セクションで説明している、NetPublish JavaScript リファレンスを使っ て、サイトのソースコードを編集してください。

NetPublishサイトの編集

この章では、NetPublish JavaScript オブジェクトや NetPublish コマンドの説明がされています。プロフェッショナルが作成したテンプレートの中身を調査したり、NetPublish 用の独自の新規テンプレートを作成する際に参照してください。

注意

Extensis テクニカルサポートでは、NetPublish サイトの編集についてはテクニカルサポートを提供していません。

NetPublish テンプレートの編集

NetPublish のテンプレートの構造と機能を知るもっとも簡単な方法は、NetPublish アシスタントがどのように定義されたサイトを作るかを 調べることです。

```
NetPublish サイトは、.NP ファイルとして作成されます。これらのファイルには、すべての HTML と各サイトのサーバー側の JavaScript コ
ードが含まれています。
```

Published 書き出された NetPublish ファイルは、NetPublish Server 上にあります。NetPublish Server の一般的なインストールパスは以下の 通りです:

64-bit Windows :

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio NetPublish Server\

32-bit Windows :

C:\Program Files\Extensis\Portfolio NetPublish Server\

編集するファイルが置かれているのはこのディレクトリ内の、WebRoot\sites\sitename\templates ディレクトリです。エディタを使って、 これらの.NP ファイルを開いて編集することができます。ファイルの場所とプロパティについての詳しい情報は、このガイドの前の章を参照 してください。

以下の2つのファイルを理解しておくことが重要です。これらは編集したテンプレートが NetPublish アシスタント内で見えるかどうか、そして NetPublish がエイリアスを取り扱えるかどうかに影響します。

site.properties

サイトの root フォルダ(WebRoot\sites\sitename\) には、site.properties ファイル内の重要な設定があります。このファイルはテキ ストエディタで開くことができます。

このファイルには、サイトの説明、編集と公開パスワードが含まれます。また、このサイトが NetPublish Server で公開されてウェブ上で使 用可能かどうかをコントロールする enabled 設定も含まれます。

enabled=1 の時はサイトがアクセス可能で、enabled=0 の時はサイトはサーバー上で公開されていません。

alias.properties

alias.properties ファイルもサイトフォルダ内にあり、このテンプレートからアクセスするカタログとギャラリーをコントロールします。 エイリアスを使用したい場合は、この情報は NetPublish Server Admiistration ダイアログ内の情報と一致している必要があります。

NetPublish JavaScript リファレンス

グローバル機能

convertHtml(html)

HTML ブロックをダイナミックに解析して評価します。通常、processRecordSet 機能でレコードブロックを処理する際に利用します。

library(filename)

JavaScript 機能の指定されたライブラリを、現在実行中のコンテキストに読み込みます。ほとんどのテンプレートは、Almost all of the templates use library('global.np')を使って、以下で説明している JavaScritp オブジェクトにアクセスしています。

processRecordSet(message, html)

```
テンプレートの RecordSet 内のすべてのテーブルの列と行の処理を助ける機能です。message は、レコードが見つからない場合に表示する
テキストです。html には、Page.setRowsCols()で設定される各行と列のためのアウトプットである、HTML テーブルデータロックが含まれます。
```

html 引数は一般的に、特別な拡張された引数テンプレート構文を使って指定されます。

例:

<!-- Start of item block -->
<% processRecordSet('No records found!
', %>

注意

上記の行には、終わりのカッコ)がありません。行の最後にくるカッコまで、その後に続くすべては html 引数になります。

```
<%= RecordSet.record.get('Filename') %>
<% ); %>
```

注意

上記の行の終わりのカッコ)は、html 引数の終わりを意味しています。

```
<!-- End of item block -->
```

RecordSet オブジェクト

RecordSet オブジェクトは全体に作用します。

RecordSet.totalItems

見つかったアイテムの全数を表した数。

RecordSet.offset

レコードセット内で現在開始しているオフセット数(URL 上の offset=x と同じ値)。このプロパティは設定することもできます。

RecordSet.record

レコードセット内の現在のアイテムに対応した Child レコードオブジェクト。

注意

RecordSet.itemNext()や **RecordSet.itemAt()**のどちらも、**RecordSet.record** オブジェクトにアクセスする前に呼び出される必要があ ります。

RecordSet.getUrl(offset)

オフセットを与えられる URL を生成します。(Page オブジェクトによって内部的に利用)

RecordSet.isEmpty()

レコードが見つからない場合に true を返します。

RecordSet.hasMore()

レコードセット内にレコードが残っている場合は true を返します。RecordSet.itemNext()と一緒に呼び出される必要があります。

RecordSet.itemNext()

結果セット内の次のレコードと一緒に RecordSet.record を読み込みます。

RecordSet.itemPrevious()

結果セット内の前のレコードと一緒に RecordSet.record を読み込みます。レコードセットの始めに到達すると false を返します。そうでな い場合は true を返します。

RecordSet.itemAt(offset)

結果セット内の特定のオフセットのレコードと一緒に RecordSet.record を読み込みます。

Record オブジェクト

Record オブジェクトは、RecordSet (**RecordSet.record**)内の子オブジェクトとしてのみ利用できます。Record オブジェクトは、 **Collection.getRecord()**から取得することもできます。

Record.itemID

Record.original

Record.preview

1 つの番号(1 つのカタログエイリアス用)、または複数のカタログエイリアス用の一連の番号(.1.132 など)のいずれかを持つストリング として item id を返します。

このレコードのオリジナル画像への HTTP リンクを返します。

このレコードのプレビュー画像への HTTP リンクを返します。

Record.thumbnail

このレコードのサムネール画像への HTTP リンクを返します。

Record.thumbnailWidth

サムネールピクセル数の幅を返します。

Record.thumbnailHeight

サムネールピクセル数の高さを返します。

Record.get(fieldname, [offset], [escape style])

指定されたフィールドにネイティブ JavaScript ストリング、number、または date オブジェクトを返します。フィールドに複数の値が含まれ ている場合は、フィールド内の各値の配列を返します(前出で説明したものと同じタイプ)。オフセットが指定されている場合は、複数値を 持つフィールとの指定された値にアクセスできます。フィールドが存在しない場合は、null を返します。

escape スタイルは、以下のいずれかです:

0 - escape なし (デフォルト)

1 - ダブルコーテーション内にある HTML はテキストに便利です。HTML は&、ダブルコーテーション(* ")、カギカッコ(<>)(&, ", <, >)をエンコードします。

スペースのあるコントロール文字を置き換えます。escape スタイルを指定して、複数値フィールを野すべての値を得たい場合に利用します。 2 - 引用した JavaScript 内にあるテキストに便利です。HTML はダブルコーテーション、カギカッコはをエンコードします。バックスラッシ

ュは、シングルコーテーションとカギカッコを逃れます。スペースのあるコントロール文字を置き換えます。

Record.getType(name)

特定フィールドの FieldType オブジェクトを返します。

Record.getTypeAll([type])

すべてのフィールドの FieldType オブジェクト配列を返します。以下の値のいずれかで種類を設定できます:

default - カスタムフィールドではないフィールドのみ

custom - カスタムフィールドのみ

string - すべてのストリングフィールド

date - すべてのデータフィールド

number - すべての数字フィールド

decimal - すべての小数点フィールド

url-すべてのURLフィールド

レコード内の親エイリアスに複数のカタログがある場合は、すべてのカタログ内の一般的なフィールドを返します。

Record.getDetailLink(template)

特定のテンプレート名(detail.np など)を使って、現在のレコードの詳細ページへの HTTP リンクを返します。詳細テンプレートは、 RecordSet 内の 1 つのレコードだけを扱います。

例:

<%= RecordSet.record.getDetailLink('detail.np'); %>

Record.getCollectionPostForm(command, template, [name], [format])

指定されたコマンドのための適切な<form>タグ(add、show、remove、removeAll、または archive)を返します。カタログレコードが表示される前の、結果セットページの一番上でのみ利用できます。

post を開始するボタンや各アイテム用のフォーム<input>タグを指定するには、独自の HTML を書く必要があります。

template はコレクション表示に利用されるテンプレート名です。name は指定された名前が付いたコレクションに利用できます。format は オプションパラメータで、ZIP などに指定することができます。

Record.getCollectionLink(command, template, [name], [format])

以下の collection コマンドのいずれかを実行する href リンク内で利用することができるリンクを返します:add、show、remove、 removeAll、archive。

template はコレクション表示に利用されるテンプレート名です。name は指定された名前が付いたコレクションに利用できます。format は オプションパラメータで、ZIP などに指定することができます。

FieldType オブジェクト

FieldType オブジェクトは、Record.getType()、Record.getTypeAll()、Catalog.getTypeAll()を介して作成されます。

FieldType.type

以下の値のいずれかを含みます:string、date、number、decimal、url または、undefined

FieldType.name

フィールド名を含みます。

FieldType.length

フィールドの最大の長さを含みます。

FieldType.custom

フィールドがカスタムフィールドの場合は True、そうでない場合は false を含みます。

FieldType.preDefinedList

フィールドが定義済みの場合は True、そうでない場合は false を含みます。

FieldType.multivalued

複数値を持てるフィールドの場合は True、そうでない場合は false を含みます。

FieldType.getPreDefinedList ()

フィールドが定義済みの値を持っている場合は、定義済みの値(基本タイプを使用)で array を返します。そうでない場合は、array は 0 エレメンツで返されます。

CatalogSet オブジェクト

CatalogSet オブジェクトも全体に作用し、NetPublish 内で設定されるカタログエイリアスをまとめます。

CatalogSet.get(alias, [catalogOffset])

特定のエイリアス名の Catalog オブジェクト値を返します。1 つのエイリアスが複数のカタログを持っている場合は、catalogOffset が設定(1 で始まる)されている必要があります。

例:CatalogSet.get('homes', 1);

カタログのエイリアスが見つからない場合は、エラーが表示されます。

CatalogSet.getAliases()

システム内で設定されているすべてのエイリアス名を含むストリング array 値を返します。

CatalogSet.getMasterKeywords()

CatalogSet 内のすべてのカタログの全マスターキーワードを返します。

CatalogSet.getCatalogCount(alias)

与えられたエイリアスに設定されたカタログ数を返します。

CatalogSet.get(catalogName).isMgenCommandEnabled

NetPublish サイトが mgen コマンドをサポートしているかどうかを示します。true または false を返します。

Catalog オブジェクト

Catalog オブジェクトは、CatalogSet.get()を介して作成されます。Catalog オブジェクトは検索と結果テンプレート内で利用すること ができます。フィールド値、フィールドで利用できる検索方法、複数値を持つ値の利用などのスキーマ情報を見つけるのに利用できます。

Catalog.dateCreated

カタログが作成された日付を返します(Date オブジェクト)。

Catalog.dateModified

カタログが最後に編集された日付を返します(Date オブジェクト)。

Catalog.diskPreview

カタログがスクリーンプレビューを含んでいるかどうかに基づいて、true または、false を返します。

Catalog.diskPreviewMaxSize

カタログにスクリーンプレビューが含まれている場合(**diskPreview** が true)、プレビューの最大ピクセルサイズを返します。そうでない 場合は、null を返します。

Catalog.diskPreviewPath

diskPreview が true の場合は、スクリーンプレビューフォルダへのパスストリングを返します。そうでない場合は、null を返します。

Catalog.fullPath

カタログのフルパス(または URL)ストリングを含みます。例:C:\data\houses.fdb

Catalog.thumbnailSize

カタログ内のサムネイルのデフォルトサイズを返します。112(112 x 112 ピクセルのサムネール)、または 256(256 x 256 ピクセルのサ ムネール)のいずれかになります。

Catalog.totalItems

カタログ内の全アイテム数を返します。

Catalog.totalKeywords

カタログ内の全キーワード数を返します。

Catalog.getType(name)

特定フィールドの FieldType オブジェクトを返します。

Catalog.getTypeAll(type)

全フィールドの FieldType オブジェクト配列を返します。以下の値のいずれかで種類を設定できます:

default - カスタムフィールドではないフィールドのみ

custom - カスタムフィールドのみ

string - すべてのストリングフィールド

date - すべてのデータフィールド

number - すべての数字フィールド

decimal - すべての小数点フィールド

url - すべての URL フィールド

レコード内の親エイリアスに複数のカタログがある場合は、すべてのカタログ内の一般的なフィールドを返します。

Catalog.getMapping(name)

IPTC Copyright など、指定されたタイトルにマップされたフィールド名を返します。マッピングタイトルが存在しないか、このタイトルに マップするフィールドが見つからない場合は null を返します。

Catalog.getMappingAll()

設定されてると、すべてのマップされたタイトルのストリング配列を返します。設定されていない場合は、0エレメンツの配列を返します。

Catalog.getMasterKeywordsAll()

設定されていると、マスターキーワードリストのためのストリング配列を返します。設定されていない場合は、0 エレメンツの配列を返しま す。

CollectionSet オブジェクト

CollectionSet オブジェクトは、全体に作用し NetPublish 内で設定される名前のコレクションにまとめられます。

CollectionSet 機能は、コレクションが終了しないようにする特別な cookie 値を設定します。レスポンスヘッダに cookie を埋め込むと、 この機能は最初の Response.write()が書き出された後にコールされることはありません。この場合は、以下のエラーメッセージが HTML 内で作成されます: "You must write all response headers at the top of your template before HTML."

この機能は。テンプレートのトップでコールされる必要があります。テンプレートの他の場所で参照されるグローバル JacaScript 変数の結果 として割り当てられる必要があります。

CollectionSet.get([alias], [namedSet])

現在のユーザー、サイト、カタログエイリアスに Collection オブジェクトを返します。エイリアスや指定できるコレクションセット名を オプションで指定できます。namedSet が指定されていない場合は、グローバルで予め決められたコレクションを返します。

コレクションレコードが無い場合は、空のものが作成されます。

クライアントの cookie を使わないでコレクションにアクセスするには、テンプレートページに GET または POST 構文が含まれている必要が あります。

注意

NetPublish の base コマンドを使用しているページでは、エイリアスが指定されている必要があります。

例:

<% Cost = CollectionSet.get().getRecord(RecordSet.record.itemID).get("Cost"); %>

CollectionSet.getNamedSetAll([alias])

コレクション内で現在のユーザー、サイト、カタログエイリアスのいずれかが設定されている場合は、名前セットの配列を返します。特定の エイリアスを指定することもできます。

注意

NetPublishの base コマンドを使用しているページでは、エイリアスが指定されている必要があります。

クライアントの cookie を使わないでコレクションにアクセスするには、テンプレートページに GET または POST 構文が含まれている必要が あります。

注意

この機能は、配列内に特別なグローバルセット名_GLOBAL_を常に含んでいます。

例:

<% Response.write(CollectionSet.getNamedSetAll()[0]); %>

CollectionSet.addNamedSet(name, [alias])

name という名前の新規の空のセットを、現在のユーザー、サイト、カタログエイリアスに追加します。異なるカタログエイリアスを指定す ることもできます。

クライアントの cookie を使わないでコレクションにアクセスするには、テンプレートページに GET または POST 構文が含まれている必要が あります。

注意

この機能は、配列内に特別なグローバルセット名_GLOBAL_を常に含んでいます。

例:

<% CollectionSet.addSetName('otherSet'); %>

CollectionSet.removeNamedSet(name, [alias])

name という名前のついたコレクションセット、現在のユーザーやサイト、カタログエイリアス内のセットのすべてのコンテンツを削除しま す。異なるカタログエイリアスを指定することもできます。

注意

NetPublish の base コマンドを使用しているページでは、エイリアスが指定されている必要があります。

クライアントの cookie を使わないでコレクションにアクセスするには、テンプレートページに GET または POST 構文が含まれている必要が あります。

注意

この機能は、配列内に特別なグローバルセット名_GLOBAL_を常に含んでいます。

例:

<% CollectionSet.removeSetName('otherSet'); %>

Collection オブジェクト

Collection オブジェクトは、CollectionSet.get()を介してのみ作成されます。NetPublish 内に組み込まれたコレクションデータベースから、(現在のユーザー、サイト、カタログ、またはオプションでセット名などで決定される)特定のコレクションをまとめます。

Collection.add(itemID)

コレクションにレコードの itemID を追加します。

Collection.getItemIDAll()

コレクションに全レコードの itemIDarray を返します。

Collection.remove(itemID, [removeAll])

コレクションからレコードの itemID を削除します。RemoveAll はオプションのブーリアン値です。ture の場合は、すべてのアイテムがコ レクションから削除されます。

Collection.getRecord(itemId)

与えられた itemId の Record オブジェクトを返します。

Request オブジェクト

Request オブジェクトは全体に作用し、http リクエスト変数へのアクセスを可能にします。URL(カタログとテンプレート)内で指定され たすべての値や、すべてのフィールドと POST フォームを介した検索のための入力された値を見つけるのに役立ちます。クライアント cookies もアクセスが可能です。

Request.post

このプロパティは post リクエストの場合に true を返します。get リクエストの場合は false を返します。

Request.getCookie(name)

指定されたクライアント cookie の値を返します。cookie が見つからない場合は、空のストリングを返します。

Request.getHeader(name)

与えられた http ヘッダー名(user-agent など)の値を返します。ヘッダーが見つからない場合は空のストリングを返します。

Request.getHeaderAll()

現在のリクエストのすべての http ヘッダー名配列を返します。

Request.getParameter(parameter)

get または postp らメータ名の値を返します。パラメータが見つからない場合は、空のストリングを返します。

Request.getParameterAll()

get または post リクエストの全パラメータ名のストリング配列を返します。

Request.getQueryString()

URL 内のクエスチョンマークより右の全部を返します。見つからない場合は null を返します。

Request.getRequestURL()

URL 全体を返します。見つからない場合は null を返します。

Response オブジェクト

Response オブジェクト全体に作用し、http レスポンス変数の設定を可能にします。これは XML レスポンスと、カスタムコントロールコードとクライアント cookie の設定に便利です。

Response.getContentType ()

この機能は、テキストや XML などの Content-Type ヘッダの返しを受け取ります。見つからない場合は空のストリングを返します。

Response.getStatusCode()

http レスポンスステータスコードストリングを受け取ります。見つからない場合は空のストリングを返します。

Response.logMessage(priority, message)

指定された優先レベルの NetPublish Server のエラーログファイルのメッセージログ機能です。優先レベルは fatal、error、info、debug です。

Response.setCookie(name, value, [expires], [path], [domain], [secure])

この機能は、終了、パス、ドメイン、セキュア設定オプションの値と名前を持つ cookie の設定と作成をします。expires 構文は GMT フォ ーマット内で利用される必要があるストリングです。これは Date.toGMTString()で実行できます。

注意:Cookie ヘッダは常に追加され、置き換えられることはありません。

```
例:
```

```
var today = new Date();
```

var expires = new Date(today.getTime() + 28 * 24 * 60 * 60 * 1000); // plus 28 days

Response.setCookie('name', 'value', expires.toGMTString(), '/', '.bignet.com', false);

注意:Response.write()の最初の呼び出しはすべてのレスポンスヘッダを書きます。テンプレートのトップにあって HTML より前にある 最初の呼び出し Response.write()より前に、Response.setCookie()を呼び出します。

Response.setContentType (type)

Content-Type ヘッダーを返す設定です。デフォルトは text/html です。

注意:Response.write()の最初の呼び出しはすべてのレスポンスヘッダを書きます。テンプレートのトップにあって HTML より前にある 最初の呼び出し Response.write()より前に、Response.setContenType()を呼び出します。

Response.setHeader(name, value, [append])

この設定は http レスポンスヘッダの値を指定します。true の場合 (デフォルトは false)、同じ名前のヘッダが予め存在する場合でも、新規 ヘッダーが追加されます。

注意:Response.write()の最初の呼び出しはすべてのレスポンスヘッダを書きます。テンプレートのトップにあって HTML より前にある 最初の呼び出し Response.write()より前に、Response.setHeader()を呼び出します。

Response.setRedirect(url)

ブラウザが指定のurlに接続するためのレスポンスヘッダの場所を送信します。

注意:Response.write()の最初の呼び出しはすべてのレスポンスヘッダを書きます。テンプレートのトップにあって HTML より前にある 最初の呼び出し Response.write()より前に、Response.setRedirect()を呼び出します。

例:

```
if (RecordSet.isEmpty())
Error.redirect("errors/norecords.html")
```

Response.setStatusCode(code)

この設定は、コードストリングを持つ http レスポンスステータスコードです。デフォルトは 200 OK です。他のコードは以下で見つかります:

http://www.w3.org/Protocols/rfc2616/rfc2616-sec6.html

注意:Response.write()の最初の呼び出しはすべてのレスポンスヘッダを書きます。テンプレートのトップにあって HTML より前にある 最初の呼び出し Response.write()より前に、Response.setStatusCode()を呼び出します。

Response.showErrorHtml (filename, message)

この機能は、添付テートコンテンツ内の指定されたエラーメッセージ HTML ファイルを表示し、すぐにテンプレートの実行を停めます。

filename はカスタム HTML ファイルを参照します。既存のサイトのリソースフォルダ内のカスタムファイルを探しに行き、その後グローバ ルリソースフォルダを検索します。

message は、HTML ファイル内の MESSAGE_DESCRIPTION に代わるストリングです。

Response.write(string)

クライアントブラウザにストリングデータを返信します。ほとんどの HTML テンプレート用に内部的に呼び出されます。

Page オブジェクト

Page オブジェクトは全体に作用し、global.np ファイル内にあります。totalRows と、totalCols グローバル変数は、これらの機能を使 う前にテンプレート内のトップでセットされている必要があります。

Page.getCurrent()

現在のページ番号を返します。

Page.getList(total)

ハイバーリンクのあるページ番号のリストを返します。total はページ数をカウントします。

Page.getPrevious(text)

正しい場合は、説明テキストを使った前のページへのリンクを出力します。

Page.getNext(text)

正しい場合は、説明テキストを使った次のページへのリンクを出力します。

Page.getSpecified (page, text)

正しい場合は、説明テキストを使った特定のページへのリンクを出力します。

Page.getTotal() 全ページ数を返します。

Page.isFirst()

このページが最初のページかどうかをチェックします。

Page.isLast()

このページが最後のページかどうかをチェックします。

Page.setRowsCols(rows, cols)

ページオブジェクトの列数と行数のセットです。Page オブジェクトを使用する前にこれを呼び出す必要があります。

Path オブジェクト

Path オブジェクトは全体に作用し、global.np ファイル内にあります。ユーザーのパス変換を助ける機能のみが含まれています。

Path.getOS(path)

この機能は、パスとどのオペレーティングシステムから来たかを特定します。mac、win、または unix と返します。

Path.getParts(path)

所定のパスのために、ストリングの一部のパス array を返します。

パスの例:

C:\Images\Pool\Swimmers\image1.jpg

以下の array を返します: Result[0] = 'C:' Result[1] = 'Images' Result[2] = 'Pool' Result[3] = 'Swimmers' Result[4] = 'image1.jpg'

Units オブジェクト

Units オブジェクトは全体に作用し、global.np ファイル内にあります。サイズと内容の変換を操作する機能を含みます。

Units.convertDate(value, format)

これは日付をストリングに変換します。指定されたフォーマットストリングが与えられます。

フォーマットストリングには以下を含めることができます:

yyyy は 4 桁の年です。例: 2009

yy は2桁の年です。例:02

month は月です。例: September

mmm は月を表す数字です。例:9

mon は月を表す最初の3文字です。例:Sep

hh は時間です。例:3

mm は分です(常に2桁)。例:05

ss は秒です(常に2桁)。例:08

ddd は曜日の最初の3文字です。例:Wed

dd は日付の数字です。例:25

day は曜日です。例:Wednesday

timezone は GMT の時間帯です。例:GMT+5

time24は24時間表示の時間です。例:18:24

time は AM/PM で表示される時間です。例:

例えば、レコードの作成日フィールドのフォーマットは以下のようになります:

Friday, March 28, 03 2008 4:12pm

以下を使います:

<%= Units.convertDate(RecordSet.record.get('Created'), "day, month dd, yyyy time") %>

Units.convertLength (value, to, dpi)

この機能は inches、cm、mm、points、picas のフォーマット(to)を使って特定のピクセル長(value)に変換します。Dots-per-inch (dpi) は必要です。

例えば、レコードの幅をインチで得るには以下のようになります:

<%= Units.convertLength(RecordSet.record.get('Width'), 'inches', RecordSet.record.get('Horizontal Resolution')) %>

Units.convertMoney(value, currency, [comma], [decimal], [negativeParens])

この機能は特定の値を通貨ストリングに変換します。currency は通貨マーク("\$"など)を含むストリングです。

comma が true(デフォルト)の場合は、結果はコンマでフォーマットされます。Decimal は、小数点の右に何桁の数字を表示するかを決定 します。negativeParens が true の場合は、マイナス値は()が付いて返されます。そうでなければ、単に頭にマイナス(-)文字が使われ ます。

例えば、イギリスポンドで表す Cost フィールド(カスタムフィールド)フォーマットは以下のようになります:

<%= Units.convertMoney(RecordSet.record.get('Cost'), unescape('%A3'), true, 0, true) %>

Units.convertSize(value, to, [comma], [decimal])

この機能は bytes、kbytes、mbytesのフォーマット(to)を使って、特定のサイズ(value)に変換します。

comma が true (デフォルト)の場合は、果はコンマでフォーマットされます。Decimal は、小数点の右に何桁の数字を表示するかを決定します。

例えば、ファイルサイズを MB で得るには以下のようになります:

<%= Units.convertSize(RecordSet.record.get('File Size') * 1024, "mbytes", true) %>

Mozilla JavaScript オブジェクト

以下の6つのオブジェクトは Mozilla JavaScript で設定され、NetPublish で利用することができます。詳細情報は、以下のサイトを参照して ください:http://www.mozilla.org

Array: Array オブジェクトは、Mozilla JavaScript インプリメンテーション内で設定されます。組み込まれた配列処理とソート、元に戻すな どが行えます。

Date: Date オブジェクトは、Mozilla JavaScript インプリメンテーション内で設定されます。

Math: Math オブジェクトは、Mozilla JavaScript インプリメンテーション内で設定されます。

String:String オブジェクトは、Mozilla JavaScript インプリメンテーション内で設定され、サブストリング、検索、小文字、大文字、区切 り文字に基づいた配列分割を作成することができます。

RegExp: RegExp オブジェクトは、Mozilla JavaScript インプリメンテーション内で設定されます。このオブジェクトは通常の構文解析を実行します。必要な時には非常にパワフルです。

File:File オブジェクトは、Mozilla JavaScript インプリメンテーション内で設定されます。開く、削除、コピー、リネーム、読み、書き、 リスト mkdir、などのローカルファイルオペレーションを実行します。

NetPublish コマンド

NetPublish コマンドは検索機能の実行に利用できます。ユーザーのコレクションにアイテムを追加/削除したり、.ZIP アーカイブファイル の作成等が行えます。これらのコマンドは get フォームと、HTML コード内のポストアクションで利用されます。

base コマンド

base コマンドは、JavaScript **RecordSet** オブジェクトを使用しないが、他の API を必要とする検索テンプレート(または他のテンプレート)に使われます。**RecordSet** オブジェクトは、**base** コマンドを使ったテンプレート内では利用できません。

base コマンドは、主にカタログからスキーマ情報にアクセスして、検索フォーム内のフィールド名を指定するのに使われます。

base - コマンド名

site - サイト名

template - ページ生成時に使うスクリプトテンプレート(拡張子.np)

QuickFind コマンド

QuickFind コマンドは、基本的なキーワード検索のためのシンプルな検索メカニズムです。特定されたテキストで始まるキーワードを検索します。

QuickFind:これはコマンド名ですが、検索キーワードを渡すパラメータでもあります。

site:リソースを利用するサイト

catalog:使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

template:ページ生成時に使うスクリプトテンプレート(拡張子.np)

sorton(オプション):レコードセットの並べ替えに利用するフィールドを特定します。ソートフィールドは、インデックスされた単一フ ィールドである必要があります。特定されない場合は、レコードセットの並び順は検索順に表示されます。

注意

Sorting は、複数カタログエイリアスではサポートされません。

ascending(オプション)- レコードセットの並び順を指定します。1 は昇順、0 は降順を表します。sorton パラメータが無い場合は、この パラメータは無視されます。sorton パラメータがあって、このパラメータが無い場合は、デフォルトソート順は1(昇順)です。

offset (オプション)- コレクションからすでに表示されているレコード数を表示する整数。パラメータが設定されていない場合は、コレ クション内の最初のレコードから表示されます。

GET フォーム例(クエリーストリング):

```
<A HREF="/netpub/server.np?quickfind
&site=sales
&catalog=fall
&template=results.np
&sorton=Filename
&ascending=1
&offset=10">...</A>
POST フォーム例:
<FORM ACTION="/netpub/server.np?quickfind" METHOD=POST >
<INPUT NAME="quickfind" TYPE="Text" VALUE="">
<INPUT NAME="quickfind" TYPE="Text" VALUE="">
<INPUT NAME="catalog" TYPE="HIDDEN" VALUE="sales">
<INPUT NAME="sales" TYPE="HIDDEN" VALUE="sales">
```

<INPUT NAME="template" TYPE="HIDDEN" VALUE="results.np">

<INPUT NAME="sorton" TYPE="HIDDEN" VALUE="Filename">

```
<INPUT NAME="ascending" TYPE="HIDDEN" VALUE="1">
```

```
<INPUT NAME="offset" TYPE="HIDDEN" VALUE="10">
```

```
<INPUT TYPE="submit">
```

```
</FORM>
```

find コマンド

find コマンドは、特定の Portfolio カタログ内で検索を実行し、検索結果を特定のレイアウトで返します。find コマンドでは以下の値を利用 できます。

find - コマンド名

site - リソースを利用するサイト

catalog - 使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

template - ページ生成時に使うスクリプトテンプレート(拡張子.np)

sorton(オプション):レコードセットの並べ替えに利用するフィールドを特定します。ソートフィールドは、インデックスされた単一フィールドである必要があります。特定されない場合は、レコードセットの並び順は検索順に表示されます。

ascending(オプション)- レコードセットの並び順を指定します。1 は昇順、0 は降順を表します。sorton パラメータが無い場合は、この パラメータは無視されます。sorton パラメータがあって、このパラメータが無い場合は、デフォルトソート順は1(昇順)です。

offset (オプション)- コレクションからすでに表示されているレコード数を表示する整数。パラメータが設定されていない場合は、コレ クション内の最初のレコードから表示されます。

defaultjoin(オプション)- 組み合わせの変数が各フィールドに設定されていない場合は、このパラメータが利用されます。これによって、 すべてのフィールド全体に対して、組み合わせパラメータをどうするかを設定することができます。この値は and または or のどちらでも可 能です。

以下のパラメータは find コマンドと一緒に使われ、NetPublish でどのように検索が実行されるかを決定します。これらは必要に応じてグル ープ化したり繰り返すことができます。各検索条件は、フィールド、一致オプション、値の3つの変数によって決定されます。次にくる条 件は、組み合わせの変数(and または or)によって組み合わせる必要があります。複合検索を作成するために最大10個の検索条件を含める ことができます。

field - 特定のデータベース内のインデックスされたフィールド。インデックスされていないフィールドが特定されている場合は、検索は失敗します。

op - 以下の一致オプションが利用可能です:

Matches / Does Not Match - データフィールド以外のすべてのフィールドで動きます。

Equals / Does Not Equal - データフィールドでのみ動きます。

Greater Than / Greater Than or Equal To - 数値フィールドでのみ動きます。

Less Than / Less Than or Equal To - 数値フィールドでのみ動きます。

Starts With / Does Not Start With - ストリングフィールドでのみ動きます。

value - 検索する値

join(オプション)-1つ以上の検索条件がある場合にのみ利用します。and または、or のどちらの値でも使えます。このパラメータが設定 されていない場合は、and が使用されます。10 個の検索条件まで、複合検索に利用できます。

Portfolio クライアントでサポートされているすべての一致オプションを NetPublish で利用できますが、すべての一致オプションが各フィー ルドで動くわけではありません。選択したフィールドで一致オプションが動かない場合は、検索条件はスキップされます。特定のフィールド で一致オプションがサポートされているかどうかが不明な場合は、Portfolio クライアントの検索機能を使って確認することができます。 Portfolio クライアントの検索ダイアログ内でフィールド名を選択してから、そのフィールド名でどの一致オプションがサポートしているか をプルダウンを使って見ることができます。

検索は、以下の基準に基づくプラグインによって確認されます:

- フィールド、一致オプション、値のすべての3つの変数は、各条件が入っている必要があります。
- 最初の次にくるすべての条件は、組み合わせ変数(and または or で始まる値)が必要です。
- 各フィールドの変数と一致オプション変数は、上記のルールに従う必要があります。

これらの確認のいずれかが、特定の条件で失敗した場合は、条件はスキップされます。すべての検索条件で失敗した場合は、プラグインは一 **致するレコードが無い** というページを返します。確認ができた場合は、残りのパラメータは有効になります。

検索には、最大10個の条件を含めることができます。

以下の例では、2つの検索条件コマンドを表しています(コメントはわかりやすいように含まれています)。様々なパラメータは、サイトの 需要に応じて表示したり、非表示にできます。この例では、ユーザーは最初の検索条件値フィールドに入力しますが、他のすべての値は非表 示になります。

add コマンド

add コマンドは、ユーザーのコレクションセットに1つまたは複数のレコードを追加してから、特定のテンプレートを使ってコレクション を表示します。カタログ内にユーザーのコレクションセットが無い場合は、新しいコレクションセットを作成してから、ユーザーに cookie を返します。

add - コマンド名

site - リソースを利用するサイト

catalog - 使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

name(オプション) - 複数の異なるコレクションをユーザーが作成するのを許可するかどうかを設定します。ストリングの名前値が必要です。

template - ページ生成時に使うスクリプトテンプレート(拡張子.np)

itemid - カタログ内の item ID を設定します。Item ID はカタログ内でユニーク値です。これは 1 レコードかまたは、レコードリストです (例えば、...&itemid=77&itemid=85&...)。無効な Item ID は無視されます。

sorton(オプション):レコードセットの並べ替えに利用するフィールドを特定します。ソートフィールドは、インデックスされた単一フィールドである必要があります。特定されない場合は、レコードセットの並び順は検索順に表示されます。

ascending(オプション)- レコードセットの並び順を指定します。1 は昇順、0 は降順を表します。sorton パラメータが無い場合は、この パラメータは無視されます。sorton パラメータがあって、このパラメータが無い場合は、デフォルトソート順は1(昇順)です。

offset (オプション)- コレクションからすでに表示されているレコード数を表示する整数。パラメータが設定されていない場合は、コレ クション内の最初のレコードから表示されます。

session(オプション)- http cookies の設定を使わずにコレクションを実行するために使われるユニークな整数。ユーザーはユニーク番号 を選択して、すべてのコレクションのコマンド用のパラメータとして利用することができます。

show コマンド

show コマンドは、特定のテンプレートを使って、ユーザーのコレクションセット内のレコードを表示します。

show:コマンド名

site:リソースを利用するサイト

catalog:使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

name(オプション) - 複数の異なるコレクションをユーザーが作成するのを許可するかどうかを設定します。ストリングの名前値が必要です。

template - ページ生成時に使うスクリプトテンプレート(拡張子.np)

sorton(オプション):レコードセットの並べ替えに利用するフィールドを特定します。ソートフィールドは、インデックスされた単一フ ィールドである必要があります。特定されない場合は、レコードセットの並び順は検索順に表示されます。

ascending(オプション)- レコードセットの並び順を指定します。1 は昇順、0 は降順を表します。sorton パラメータが無い場合は、この パラメータは無視されます。sorton パラメータがあって、このパラメータが無い場合は、デフォルトソート順は1(昇順)です。

offset (オプション)- コレクションからすでに表示されているレコード数を表示する整数。パラメータが設定されていない場合は、コレ クション内の最初のレコードから表示されます。

session(オプション)- http cookies の設定を使わずにコレクションを実行するために使われるユニークな整数。ユーザーはユニーク番号 を選択して、すべてのコレクションのコマンド用のパラメータとして利用することができます。

remove コマンド

remove コマンドは、ユーザーのコレクションセットから1つまたは複数のレコードを削除してから、特定のテンプレートを使ってコレクションを表示します。cookie が無いまたは、ユーザーの Cookie 内の ID がコレクションデータベース内と一致しない場合、cookie 内の ID がリクエスト内のカタログと一致しない場合は、レコードセットは空で返します。

remove:コマンド名

site:リソースを利用するサイト

catalog:使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

name(オプション):複数の異なるコレクションをユーザーが作成するのを許可するかどうかを設定します。ストリングの名前値が必要です。

template:ページ生成時に使うスクリプトテンプレート(拡張子.np)

itemid: カタログ内の item ID を設定します。Item ID はカタログ内でユニーク値です。これは 1 レコードかまたは、レコードリストです (例えば、...&itemid=70&itemid=75&itemid=85&...)。無効な Item ID は無視されます。

all(オプション):これが設定されていると、コレクション内のすべてのレコードが削除されます。このオプションを使う場合は、Itemid の設定は必要ありません。

sorton(オプション):レコードセットの並べ替えに利用するフィールドを特定します。ソートフィールドは、インデックスされた単一フィールドである必要があります。特定されない場合は、レコードセットの並び順は検索順に表示されます。

ascending(オプション)- レコードセットの並び順を指定します。1 は昇順、0 は降順を表します。sorton パラメータが無い場合は、この パラメータは無視されます。sorton パラメータがあって、このパラメータが無い場合は、デフォルトソート順は1(昇順)です。

offset (オプション)- コレクションからすでに表示されているレコード数を表示する整数。パラメータが設定されていない場合は、コレ クション内の最初のレコードから表示されます。

session(オプション)- http cookies の設定を使わずにコレクションを実行するために使われるユニークな整数。ユーザーはユニーク番号 を選択して、すべてのコレクションのコマンド用のパラメータとして利用することができます。

archive コマンド

archive コマンドは、特定のコレクションセット内のレコードのすべてのオリジナル画像を、.ZIP アーカイブ(圧縮なし)にまとめ、クラ イアントコンピュータ上にダウンロードを開始します。コレクションにレコードが無い場合は、空のアーカイブファイルが返されます。

archive:コマンド名

site:リソースを利用するサイト

catalog:使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

name(オプション) - 複数の異なるコレクションをユーザーが作成するのを許可するかどうかを設定します。ストリングの名前値が必要です。

filename(オプション):アーカイブに使う拡張子を含むファイル名を指定します。指定していない場合は、デフォルト名は archive.zip です。

format:フォーマットタイプを ZIP に設定します。

session(オプション)- http cookies の設定を使わずにコレクションを実行するために使われるユニークな整数。ユーザーはユニーク番号 を選択して、すべてのコレクションのコマンド用のパラメータとして利用することができます。

thumbnail コマンド

thumbnail コマンドは、特定のアイテムのサムネール画像をブラウザに返します。

thumbnail = itemID:これはコマンド名です。レコードのサムネール内の itemID も返します。

site:リソースを利用するサイト

catalog:使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

download(オプション):これが設定されていると、ブラウザに画像を表示する代わりに、**別名で保存**ダイアログを表示するように画像の レスポンスヘッダが変更されます。

filename(オプション):ダウンロードが指定されるとき、使用する特定のファイル名を指定します。

height(オプション):これが設定されていると、画像はブラウザに転送される前に、特定の高さに拡大縮小されます。この値が-1 の時は、 スケールは変更されません。

width(オプション):これが設定されていると、画像はブラウザに転送される前に、特定の幅に拡大縮小されます。この値が-1の時は、スケールは変更されません。

aspect(オプション):これが設定されていると、画像のアクペクト比にあわせて、画像は特定の高さと幅に拡大縮小されます。

注意

すべての NetPublish サイトで狙い通りに画像を表示するために、aspect オプションは画像の最大の高さと幅にあわせて最大画像サイズに します。これによって、オリジナル画像が縦横であってもリサイズして、同じようなサイズで表示させることができます。例えば、以下の コードラインはどちらも縦向きの画像の高さを 600 ピクセルに設定します。

...&width=200&height=600&aspect

...&width=600&height=200&aspect

format(オプション):作成される画像のファイルフォーマット。jpg、png、gifにすることができます。

preview コマンド

preview コマンド特定のアイテムのプレビュー画像(無い場合はサムネール)をブラウザに返します。

preview = itemID: コマンド名。レコードのサムネール内の **itemID** も返します。

site:リソースを利用するサイト

catalog:使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

download(オプション):これが設定されていると、ブラウザに画像を表示する代わりに、**別名で保存**ダイアログを表示するように画像の レスポンスヘッダが変更されます。

filename(オプション):ダウンロードが指定されるとき、使用する特定のファイル名を指定します。

height(オプション):これが設定されていると、画像はブラウザに転送される前に、特定の高さに拡大縮小されます。この値が-1の時は、 スケールは変更されません。

width(オプション):これが設定されていると、画像はブラウザに転送される前に、特定の幅に拡大縮小されます。この値が-1の時は、スケールは変更されません。

aspect(オプション):これが設定されていると、画像のアクペクト比にあわせて、画像は特定の高さと幅に拡大縮小されます。

...&width=200&height=600&aspect

...&width=600&height=200&aspect

format(オプション):作成される画像のファイルフォーマット。jpg、png、gifにすることができます。

original コマンド

original コマンドは、特定のアイテムのオリジナル画像をブラウザに戻します。オリジナル画像が無い場合は、サムネール画像を返します。 original = itemID:コマンド名。レコードのサムネール内の itemID も返します。

site:リソースを利用するサイト

catalog:使用するカタログのエイリアスを特定します。エイリアスはディスク上のカタログか、Portfolio サーバーで供給されるカタログの どちらを使うか、設定ファイルを使ってマップされます。

download(オプション):これが設定されていると、ブラウザに画像を表示する代わりに、**別名で保存**ダイアログを表示するように画像の レスポンスヘッダが変更されます。

filename(オプション):ダウンロードが指定されるとき、使用する特定のファイル名を指定します。

macbinary(オプション): これが設定されていて、オリジナル画像にリソースフォークが含まれている場合、ダウンロードが設定されて いると結果のファイルは MacBinary にエンコードされます。

height(オプション):これが設定されていると、画像はブラウザに転送される前に、特定の高さに拡大縮小されます。この値が-1の時は、 スケールは変更されません。

width(オプション):これが設定されていると、画像はブラウザに転送される前に、特定の幅に拡大縮小されます。この値が-1の時は、スケールは変更されません。

aspect(オプション):これが設定されていると、画像のアクペクト比にあわせて、画像は特定の高さと幅に拡大縮小されます。

すべての NetPublish サイトで狙い通りに画像を表示するために、aspect オプションは画像の最大の高さと幅にあわせて最大画像サイズにし ます。これによって、オリジナル画像が縦横であってもリサイズして、同じようなサイズで表示させることができます。例えば、以下のコー ドラインはどちらも縦方向の画像の高さを 600 ピクセルに設定します。

...&width=200&height=600&aspect

...&width=600&height=200&aspect

format(オプション):作成される画像のファイルフォーマット。jpg、png、gifにすることができます。

mgen コマンド

mgen コマンドは、NetPublish サイトから MediaScript スクリプトを実行するのに利用できます。このコマンドは URL リンク内から実行され、 NetMediaMAX Solution Pack を購入したユーザーしか利用できません。

このサイトの例:

http://example.com/netpub/server.np?original=401
&width=100
&aspect
&site=Effervescence
&catalog=catalog

mgen コマンドは以下のように埋め込めます:

http://example.com/netpub/server.np?mgen=ScriptFileName.ms
&src=original
&itemid=100
&site=Effervescence
&catalog=catalog
&script-function=retouchImage
¶m1=RotateLeft
¶m2=degauss_blur
http://example.com/netpub/server.np?mgen=CustomActions.ms
&src=preview
&itemid=100
&site=Effervescence
&catalog=catalog
&format=gif

利用できるパラメータ

mgen - これはコマンド名で必要になります。イコールの右の値は、実行する MediaScript スクリプトのファイル名です。

Portfolio Server のデフォルトインストールでは、MediaScript ファイルは以下の場所にあります:

Windows :

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\media-engine\Shared\Originals Macintosh:

/Application/Extensis/Portfolio Server/applications/media-engine/Shared/originals/Scripts

メディアエンジンは、このフォルダやサブフォルダ内にあるスクリプトしか実行しません。詳しくは**スクリプトの配置**(73ページの)を参照してください。

注意

フォルダ内のサブフォルダを特定する場合は、Mac、Windows サーバーのどちらでも、スラッシュ / を使ってフォルダを区切ります。

itemid:スクリプトが作用する Portfolio item ID。NetPublish はアイテムのファイルパスを見て、外部のメディアエンジンに srcFile1 とい う名前のパラメータとして渡します。パスは、file:~/Desktop/Images/FileName.jpg に似た、ローカルファイルシステムパスです。

src: NetPublish がメディアエンジンにどのバージョンのアセットを渡すかを決定します。このパラメータは、ハードコードされた original と preview 値を受け入れます。サムネイルの解像度が低いため、thumbnail 値は利用できません。リクエストに異なる値が含ま れている場合(スペルミスなどの場合)は、NetPublish はデフォルト値の original を提供します。original は、より高い品質の画像を提 供するため、preview を選択した方が速くリターンを得ることができます。

script-function: mgen パラメータからのスクリプトファイル内で実行する JavaScript 機能です。これはオプションのパラメータです。省 略された場合は、NetPublish はデフォルト値の **doPortImaging** を提供します。

download:画像を表示する代わりにダウンロードしなければならないことを示します。画像の内容には影響しません。その代わりに、 NetPublish に画像が提供できるよう、ブラウザにファイルをダウンロード(MIME タイプに変更するなど)を要求するように伝えます。これ はオプションです。(download=false を使う代わりに)ファイルダウンロードをしない場合は、この設定を省略しなければなりません。 filename:ファイルをダウンロードする際に、NetPublish にファイル名を伝えます。

optional other parameters: MediaScript ファイル用のストリングパラメータです。NetPublish は URL からすべての key+value を MR に変更 せず渡します。特定の MediaScript ファイルでは、これらのパラメータを解釈する必要があります。

format:NetPublish に予想される画像の拡張子を伝えます。このパラメータはオプションです。省略された場合は、NetPublish はデフォル ト値の **jpg** を提供します。

site:画像がどのサイトの一部であるかを NetPublish に伝えます。このパラメータはすべての NetPublish コマンドで必要です。

catalog:アセットデータフォームをどのカタログエイリアスから読み込みかを NetPublish に伝えます。このパラメータはすべての NetPublish コマンドで必要です。

NPの original や、thumb、Preview コマンドのように、mgen コマンドは、1 つのファイルに対してのみ実行され、1 つの画像ファイルを生成します。エラーが発生した場合は、NetPublish は「画像が表示できない」旨のエラーメッセージを含んだ画像をユーザーに戻します。 NetPublish のその他のダイナミックな画像編集(例えば拡大縮小や、ウォーターマークの追加など)でエラーが発生した場合も同じです。 ごくまれに、NetPublish がリクエストされたファイルの場所を特定できない場合は、壊れた画像のアイコンとして空の画像がブラウザに戻されます。このようなエラーを引き起こすいくつかの原因は以下のようなものがあります:

- Portfolio Server で NetMediaMAX のライセンスがされていない場合
- メディアエンジンが動いていない場合
- メディアエンジンがリクエストされたスクリプトが見つけられない場合
- メディアエンジンがスクリプトを解析できない場合

NetPublish カスケーディングスタイルシート

NetPublish テンプレートサイトは、カラーの使い方で2種類に分けられます。スタイルシートが確定したサイトと、スタイルシートから独立したサイトです。

CSS-specific サイトは、サイトに対して特定の1つのスタイルシートを使ってデザインされたサイトです。NetPublish アシスタント内では、 ユーザーにはひとつのスタイルシートオプションしか提示されません。

CSS-independent サイトは、カラーの使用に関して、より柔軟性が高く設計されます。一般的な共有された多くのスタイルシートのどれかと 組み合わせることができます。これらの一般的なスタイルシートは、red_theme.css や、blue_theme.css など、内容を表した名前がつい ています。

カスタム NetPublish スタイルシートの作成

NetPublish アシスタント内で、CSS インデペンデントなサイトを作成できるよう、カスタムスタイルシートを作成することができます。

カスタムスタイルシートを作成するには:

1. master.css ファイルを探します。このファイルは読み込みのみのテンプレートのため、編集してから新規ファイルとして保存しま す。

Windows: C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Extensis\Portfolio\NetPublish\Data\style sheets\master\

Mac では、このファイルは複数のパッケージ内に格納されています。Portfolio アプリケーションパッケージ内に NetPublish プラグ イン、NetPublish プラグインパッケージ内に master.css ファイルが含まれています。NetPublish プラグインを右クリックして、パ ッケージの内容を表示を選択します。

<Portfolio Package>/Contents/Plugins/<NetPublish Plugin.plugin>/Contents/Resources/Data/en/style sheets/master/

- 2. テキストエディタで master.css を開きます。
- 以下の4つのカラー値を検索置換します。スタイルカラーの選択については、この章の最後のセクションを参照してください。 注意:検索置換の操作をする際には、必ず#マークを含めます。
 - Background color を変更するには、**#BG**を検索して、**#XXXXXX**を選択した 16 進数値で置き換えます。
 - Primary color を変更するには、#ONE を検索して、#XXXXXX を選択した 16 進数値で置き換えます。
 - Secondary color を変更するには、#TWO を検索して、#XXXXXX を選択した 16 進数値で置き換えます。
 - Accent color を変更するには、#ACCENT を検索して、#XXXXXX を選択した 16 進数値で置き換えます。
- エディタ内でファイル > 別名で保存を選択して。編集した CSS ファイルを同じディレクトリ内に、新しい名前で保存します。 master.css ファイルは置き換えないでください。次回 NetPublish アシスタントを起動した際に、新しいスタイルシートがテンプレート内で利用できます。

適切な NetPublish スタイルシートカラーの選択

CSS-independent サイトは、色の柔軟性だけではなく、確実なカラー値のコントラストを持つように慎重にデザインされています。

すべての CSS-independent サイトで読みやすいカスタムスタイルシートを作成するには、特定のガイドラインに従った色の値を選択すること が重要です。新しい色はどんな色相や濃度を持っていようと、明暗に関する特定の必要条件を満たす必要があります。

以下の値は、適切な色を選択するのに役立ちます。色の明度パーセントで表されます。

Photoshop では、明度パーセントはカラーピッカー内の情報パレット内の HBS の B%に表示されます。また、16 進法値はフィールド内の下 に # マークが付いて表示されます。

Background color: 明度はだいたい 20%を選択します。許容範囲は 0~30%です。

Primary color:最適な明度はだいたい 60%です。許容範囲は 50~80%です。

Secondary color: 最適な明度はだいたい 80%です。許容範囲は 70~95%です。

Accent color:最適な明度はだいたい 80%です。許容範囲は 60~95%です。

デフォルトのスタイルシートでは、アクセントカラーを除いては単色カラーのバリエーションを使っています。単色ベースのスキームを選択 すると調和した結果を得ることができますが、必ずしも必要条件ではありません。

注意

CSS-independent サイトの多くは、定義済みのカラーをすべて利用しているわけではありません。従ってすべての CSS-independent サイト でカラーが変更されない場合もあります。

Portfolio Server API

Portfolio API では、Portfolio Server カタログ、アセットメタデータ、ビジネス向けシステムでのメディア処理、カスタムワークフロー、 Web インフラなど用の開発者向けインターフェイスを提供します。

単一のプログラムインターフェイスを使うことにより、将来的な Portfolio のバージョンへの対応も容易にすることができます。

Portfolio API は Portfolio Server Enterprise Edition の一部として SQL Connect と共に利用できます。Portfolio API は対応している SQL デー タベースを使ったデータ管理をしている開発環境に最適化されています。

Portfolio API を利用すると、Portfolio カタログのカスタムフロントエンドを作成することが可能です。またさらに大型のワークフローソリ ューション内に Portfolio を統合することができます。例えば:

- イメージの検索とダウンロードが可能なシンプルウィジェット
- 別のビジネスアプリケーションから直接 Portfolio カタログメタデータへアクセス
- アイテムへのメタデータ追加が可能なモバイルコンパチブルの Web サイト

技術付録

デフォルトカラープロファイルを変更

Portfolio Server が画像ファイルを変換する際に、異なるカラーモデル(CMYK など)を使うことができます。これは Media Engine の **local.properties** ファイル内で設定されるカラープロファイルを利用します。

Portfolio Server のインストーラは、Media Engine のプロファイルフォルダに **ISOcoated_v2_eci.icc** ("ISO Coated") プロファイルを追加 します。CMYK 変換に利用するにはこのプロファイルを設定します:

- 1. local.properties ファイルをテキストエディタ (Windows ノートパッドや Mac テキストエディット) で開きます。
- 2. DefaultCMYKProfile=というテキストが含まれた行を探します。
- 3. 行頭に #マークが付いている場合は削除します。
- =マーク以降のテキストを color:/ISOCoated_v2_eci.icc に置き換えます。
 行は以下のようになります:

DefaultCMYKProfile=color:/ISOCoated_v2_eci.icc

5. ファイルを保存して閉じます。

重要:local.properties に変更を行った場合は、Portfolio Server システムとすべての Media Engine システムでも同様に変更する必要があ ります。詳細は、**Making Media Engine クラスタユニフォームの作成** (71 ページの)を参照してください。

local.properties ファイルは以下の場所にあります:

64-bit Windows Portfolio Server システム:

C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Server\applications\media-engine\Properties\ 64-bit Windows Media Engine システム: C:\Program Files (x86)\Extensis\Portfolio Media Engine\media-engine\Properties\ 32-bit Windows Portfolio Server システム: C:\Program Files\Extensis\Portfolio Server\applications\media-engine\Properties\ 32-bit Windows Media Engine システム:

C:\Program Files\Extensis\Portfolio Media Engine\media-engine\Properties\ Macintosh Portfolio Server システム:

/Applications/Extensis/Portfolio Server/applications/media-engine/Properties/ Macintosh Media Engine システム:

/Applications/Extensis/Portfolio Media Engine/media-engine/Properties/

用語集

-A-

ALT キー

Windows キーボードにある修飾キー。マウスや他のキーと共に使うと、ショートカットになったり、機能やアクションを拡張することができます。

API

アプリケーションプログラミングインターフェイス(Application Programming Interface)。Portfolio Server は開発者向けに API を提 供しています。Portfolio カタログへのアクセスのカスタマイズ開発が可能です。

AppleScript

Mac OS X で利用できるスクリプト言語。アプリケーション間のデータ移動や自動化を実行できます。Portfolio デスクトップクライア ントでは、Mac OS X の AppleScript®を使った自動化が可能です。Visual Basic の項目も参照してください。

-D-

DBA ツール

データベース管理ツール(Database Administrator Tool)。Portfolio カタログが使う SQL データベースに、アクセスと管理機能を提 供する Windows 用のツール。

DNG

Digital Negative ファイル。Adobe が開発したファイルフォーマット。XMP メタデータ、プレビュー画像、その他の情報を含む RAW 画像。

DSN

Data Source Name。データソースへの接続を記述した情報。Portfolio Server は SQL データベース内のカタログを特定するために DSN を利用します。

-E-

EPS

Encapsulated PostScript。PostScript コマンドで書かれた画像や図形などを表す自己完結型の画像ファイル。他の PostScript ドキュメント内に配置することができます。

EXIF

Exchangeable Image File format。デジタルカメラにより利用される画像、音声、メタデータ用の標準フォーマット。EXIF データには 画像を撮影したデバイスの情報(モデル名やシリアル番号等)も一般的に含まれます。Portfolio では、EXIF タグを読み込んだり、書 き出したファイルに埋め込むことができます。

-F-

FDB

Portfolio Server が利用する、カタログ/データベースのネイティブファイルフォーマット。カタログファイルの拡張子も FDB です。

GPS

全地球測位システム(Global Positioning System)。GPS ユニットを備えたカメラや測位システムでは、画像内に GPS メタデータを埋め込むことができます。Portfolio ではこのメタデータを読み込むことができます。

-I-

IPTC

International Press Telecommunications Council。デジタルファイルのメタデータ追加に関する世界最初の標準システム。IPTC メタデ ータは、XMP が使われる前の多くのシステムやデバイスでサポートされています。Portfolio は埋め込まれた IPTC メタデータを読み 込むことができます。

IP アドレス

インターネットプロトコルアドレス(Internet Protocol address)。ネットワーク上のコンピュータや他のデバイスを特定するための 数字によるアドレスシステム。IP アドレスは通常、192.168.0.10 のように、ピリオドで分割された 4 つの 0~255 の間の値で構成さ れています。IP アドレスは変更されない静的に割り当てられる場合(ネットワーク上のプリンタや他のデバイスなど)と、同じデバ イスでもそのたびにダイナミックに異なるアドレスが割り当てられる場合(ネットワークから切り離されるノートコンピュータなど) があります。

-J-

JPEG/JPG

(1) Joint Photographic Experts Group が開発した標準圧縮形式。JPEG はロッシー圧縮で、より高い圧縮のためにデータの一部が失われます。 (2) ビットマップファイルフォーマット。一般的に写真によく使われます。

-L-

LDAP

ライトウェイトディレクトリアクセスプロトコル(Lightweight Directory Access Protocol)。ネットワークユーザーディレクトリの参照と編集を行う手段。

-M-

MediaScript (メディアスクリプト)

Portfolio Server で1つまたは複数のカタログで実行させるコマンド集。スクリプトはいつでも任意に選択したアイテムに対して実行 することができます。

-N-

NetMediaMAX

Portfolio Server の追加オプションで、追加のメディアエンジンライセンスとフォーマット変換の拡張、スクリプトが含まれています。

NetPublish

Portfolio Server の追加オプションで、カタログやギャラリーのコンテンツをウェブサイトに公開することができます。

-0-

ODBC

Open Database Connectivity。このソフトウェアはオペレーティングシステムとデータベース間を仲介し、アプリケーションからデー タベースへのアクセスを容易にします。Portfolio Server Enterprise 版は、ODBC を使って Microsoft SQL Server、Oracle、MySQL デー タベースに接続します。

Office ドキュメント

Microsoft Office アプリケーション(Excel[®]、Word、PowerPoint[®])で作成された表、文章、プレゼンテーションドキュメントのフォ ーマットの総称。Portfolio では、Office ドキュメントをカタログに登録してメタデータを抽出することが可能です。

-P-

PDF

ポータブルドキュメントフォーマット(Portable Document Format)。このファイルフォーマットは例えば印刷用の電子入稿時に利用 されます。PDF ファイルは PostScript をベースにしており、フォントの埋め込みや、様々なレベルのプロテクションを含めることが できます。

Portfolio Express

Mac OS X と Windows 用のデスクトップアプリケーションで、Portfolio カタログとアセットに接続できます。Portfolio Express はと ても軽いシステムのため、バックグラウンドで起動しておき必要な時にホットキーで呼び出すことができます。カタログ内の検索、サ ムネール表示、他のアプリケーションへ画像をドロップ、オリジナルファイルの場所の表示などが行えます。

-Q-

QuickTime

Apple が提供するマルチメディアアプリケーション。多くのビデオやオーディオフォーマットの再生や変換が可能です。Portfolio Server は QuickTime を使い、いくつかのメディアトランスコーディングに使用しています。

-S-

SQL

Structured Query Language。エスキューエルと読みます。SQL はデータベース操作のための最も一般的なプログラミング言語です。

SQL Connect

Portfolio Server Enterprise 版のコンポーネントで、カタログ用に Portfolio の内部データベースではなく、SQL データベースが利用で きるようになります。

SSL

Secure Sockets Layer。インターネット上の通信安全を提供する暗号プロトコル。SSL はメッセージの信頼性のために鍵のついたメッ セージ認証コードを使用します。

TIFF

タグ付けされた画像ファイルフォーマット(Tagged Image File Format)。高品質画像でよく利用されるグラフィックファイルフォー マット。TIFF ファイルはビットマップグラフィック、ベクターパス、複数レイヤー、複数ページを含めることができます。

-U-

URL

Uniform (または Universal) Resource Locator。ファイルやウェブページなどのインターネットリソースを参照するテキストストリン グ。Portfolio カタログアイテムは URL フィールドを持つことができるため、Portfolio ウェブクライアントのグリッド表示で、アセッ トに関連するウェブリソースのクリック可能なリンクが表示できます。

-V-

Visual Basic

Microsoft Windows で利用されるプログラミング言語と開発環境。Visual Basic®(省略 VB)を使うと Windows 上の Portfolio デスク トップクライアントで自動化が可能です。AppleScript の項目も参照してください。

-X-

XMP

拡張可能なメタデータプラットフォーム。XMP はフィールドを多く持っており、必要に応じてカスタムメタデータを含めることができます。

-Z-

ZIP

(adj.) データ圧縮とアーカイブに利用されるファイルフォーマット。 (v.) ひとつまたは複数のファイルを ZIP 形式ファイルに圧縮する こと。Portfolio はダウンロードファイルを ZIP 形式で提供します。圧縮の項目も参照してください。

-ア-

アイテム

Portfolio カタログに登録されたもの。メタデータを含む画像、ビデオ、ドキュメント、または他のファイルアセットを示すもの。 アイテムプロキシアイコン

対応していないアイテムに対する代理。Portfolio ウェブクライアントでは、いくつかのアイテムプロキシアイコンがあります。プロ キシアイコンはアイコンで表示され、見えいていないと難しいアイテムのグループ化などを可能にします。プロキシアイコンは、アイ テム検索(選択されている現在の検索またはオーガナイザの検索結果の全アイテム)、アイテム表示(メインウィンドウの現在のペー ジで表示されている全アイテム)、アイテム選択(現在のページで選択されているアイテム)に利用できます。

アクセスレベル

ユーザーが特定のカタログで利用できる機能を決定する階層ランク。ユーザーはメンバーになっているカタログごとにアクセスレベル を設定することができます。

アクティブディレクトリ

Windows ネットワークで提供されるディレクトリサービス。AD と省略されることがあります。

アシスタント

複雑な作業を単純なステップで提供するユーティリティ。Portfolio デスクトップクライアントには、NetPublish アシスタントやウェ ブページ作成アシスタントが搭載されています。

アセット

組織にとって価値がある、もしくは価値を生み出す、写真、画像、書類、オーディオ、ビデオ等のファイル

アップロード

ローカルコンピュータから、リモートコンピュータやサーバーにファイルを移動すること。ダウンロードの項目も参照してください。

-ウ-

ウェブアプリケーション

ウェブブラウザ内で起動し、複数のプラットフォームで簡単に利用できる強力なアプリケーション。ウェブアプリケーションはインタ ーネット上にある必要はありません。

ウェブサーバー

(1) ワールドワイドウェブ上にコンテンツを配信するため、またはローカルイントラネット上にウェブスタイルのコンテンツを配信す るためのソフトウェア。Microsoft の Internet Information Services (IIS)や Apache HTTP Server (Apache) など。 (2) ウェブコンテン ツ配信専用のハードウェアシステム。

-才-

オーガナイザ

Portfolio ウェブクライアント内で、利用されるカタログアイテムのグループ。オーガナイザには、カタログやフォルダなど実際のグ ループを表すものと、ギャラリーのようにバーチャルなグループを表すものがあります。

オートシンク

自動的にファイルをカタログに登録したり、カタログ内のアイテムを最新の状態に保つためのシステム。オリジナルが見つからない場合に、カタログからアイテムを削除する設定にすることもできます。監視フォルダ内のアイテムとカタログが同期している状態にできます。

オートシンクフォルダ

Portfolio Server カタログに追加したいファイルをユーザーが置く、ネットワーク上のフォルダ。Portfolio は指定された間隔でオート シンクフォルダをチェックし、新しく追加されたファイルや変更されたファイルが見つかると、ファイルをスキャンして、メタデータ の抽出とアップデート、パスの更新、サムネールとプレビューファイルの再作成を実行します。監視フォルダの項目も参照してください。

オープンディレクトリ

OS X サーバー上で動くディレクトリサービス。「Apple オープンディレクトリ」と呼ばれることもあります。

オフライン

ユーザーからアクセスできない Portfolio カタログ(例えばバックアップ中など)。オンラインの項目も参照してください。

オリジナル

カタログアイテム用の元ファイル。オリジナルファイルはカタログ内には保存されません。

オンライン

ユーザーからアクセス可能な Portfolio カタログ。オフラインの項目も参照してください。

-カ-

カスタムフィールド

Portfolio カタログ内でユーザーが設定したフィールド。ファイル用のあまり一般的ではない情報に利用します。典型的な使われ方としては、顧客コードや注文番号など、特定のワークフローやビジネスモデルで発生する情報などを格納するために使われます。

カタログ

(n.) デジタルアセットを集めたもの。(v.) カタログにデジタルアセットを追加する行為。Portfolio では、画像、グラフィック、デジタ ル写真、ドキュメント、その他のファイルをカタログと呼ぶデータベースファイルで管理します。カタログには、ファイルのサムネー ル画像と、埋め込まれたメタデータ、必要なカスタム情報、ディスク上のオリジナルファイルの場所を示す情報が保存されています。 カタログ内にはオリジナルファイル自体は含まれません。アセット、ファイル、メタデータ、サムネールの項目も参照してください。

カタログオプションプリセット

Portfolio デスクトップクライアントを使ってアイテムをカタログに登録する際に、適用する複数のアクションを設定して保存したもの。

カタログ管理者

カタログ内のアセットをどう扱えるかを決められるアクセスレベル。カタログ管理者は、そのカタログに関するすべての設定権限を持ちます。

カテゴリ

Portfolio デスクトップクライアント内で設定できるバーチャルグループ。カテゴリを使うと、カタログ内のアセットを階層的に整理 することができます。

カメラ RAW (Camera Raw)

デバイスのモデルやシリーズごとに用意されたファイルフォーマット。最低限に処理されたデータが含まれています。RAW ファイル は、デバイスのセンサーが直接捉えた情報をできる限り保持し、画像が撮影された状況をメタデータとして内蔵しています。

-+-

キーワード

アイテムに付けられる、そのアイテムを表現する言葉。似たようなアイテムを探したり、検索を容易にします。アイテムに付けたキー ワードは、カタログ内のアイテムのフィールド内に保存されます。マスターキーワードリストの項目も参照してください。

-ギ-

ギャラリー

カタログ内のアイテムの特定のセット。ギャラリー内には実際のアイテムが含まれるわけではなく、アイテムを表示するリストのみで す。そのためギャラリーへアイテムを追加したり削除したりしても、カタログそのものは変更されません。

-ク-

クイック検索

特定のフィールド内のテキストを素早く検索するためのツール。クイック検索の設定は、Portfolio Server 内の quickfind.xml ファイル を編集することで変更することができます。
クエリー

(n.) データベースからの情報リクエスト。(v.) データベースから情報をリクエストすること。

クライアントアプリケーション

非サーバーシステム(コンピュータ、タブレット、スマートフォン)で動き、サーバーに接続して機能するソフトウェア。Portfolio にはデスクトップクライアントアプリケーションと、ブラウザベースのウェブクライアントが用意されています。

クリップ

オーディオファイルやビデオの一部。Portfolio Server はカタログに登録したオーディオファイルやビデオメディアからクリップを作成します。サーバー管理者はカタログが作成される際にクリップの仕様を設定することができます。

クロップ

特定の縦横サイズに画像を切り抜くこと。オリジナル画像内の要素が削られます。

-コ-

コマンド (Command、 38 キー

Macintosh キーボードにある修飾キー。マウスや他のキーと共に使うと、ショートカットになったり、機能やアクションを拡張することができます。特に、Command-P で印刷、Command-C でコピーなど、多くのキーと組み合わせることで一般的なメニューアイテムを開けることがよく知られています。

コンタクトシート

 (1) Portfolio ウェブクライアント:カタログ内の画像やドキュメントの小さな画像と、各アイテムの情報が含まれた PDF ファイル。
 (2) Portfolio デスクトップクライアント:ギャラリーの内容を表す、同じようなサイズで表現された小さい画像。アナログ写真時代に、 写真印画紙の上に直接一連のネガフィルムを置いてコンタクトシート、コンタクトプリント、またはプルーフシートと呼ばれるものを 作成していました。ネガから印画紙に露光し、その後印画紙を処理します。ネガが印画紙と直接接触しているため、画像はネガフィル ムと同じサイズで焼き付けられます。最終的な画像のセレクトや、最終プリントのアイデアを練るために利用されていました。

コントロール/Ctrl キー

コンピュータキーボードにある修飾キー。マウスや他のキーと共に使うと、ショートカットになったり、機能やアクションを拡張する ことができます。

-サ-

サーバー

(1) ファイルやサービスを、ユーザーやファイルサーバー、プリントサーバーなどの他のコンピュータシステムに提供するために用意 される専用のコンピュータシステム。 (2) サービスをユーザーや他のコンピュータに提供するソフトウェアパッケージ。Portfolio Server など。

サーバー管理

ブラウザベースのアプリケーションで、Portfolio Server カタログやユーザーの作成や削除、カタログメンバーシップの設定などが行 えます。

サーバー管理者

サーバー管理アプリケーションを使ってカタログとユーザーを管理する責任者。

サイドカー

メタデータの埋め込みが許可されていないファイル形式用に、メタデータのみを持った別のファイル。一般的にサイドカーにはオリジ ナルファイルと同じファイル名に、その性質を示す拡張子が付きます(XMP サイドカーファイルには.XMP)。オートバイのサイドカ ーのように、サイドカーファイルはオリジナルファイルと一緒に移動します。

サブフォルダ

階層直下のフォルダ。フォルダ内のフォルダ。上位フォルダの項目も参照してください。

サムネイル

オリジナルファイルと比較して、サイズや解像度を下げたカタログ表示用のアイテム。

サムネールの再作成

Portfolio Server がオリジナルファイルからサムネールを再作成します。アイテムのサムネールの再作成はオリジナルファイルから行います。カタログ上のサムネールや、オリジナルファイルが変更された場合に利用します。

-ジ-

ジョブ

ユーザーによる指示で Portfolio Server が行うタスク。ジョブにはアップロード、ダウンロード、バッチ処理、自動処理も含まれます。

-ス-

スマートギャラリー

ー定の条件に合うアイテムを表示するギャラリー。スマートギャラリー内のコンテンツは、条件が変更されると変わります。また新し く条件に合うアイテムがカタログに追加されたり変更されると、スマートギャラリーの内容が変わります。

-ダ-

ダウンロード

リモートコンピュータやサーバーから、ローカルコンピュータにデータを移動すること。アップロードの項目も参照してください。

-デ-

ディレクトリ

(1) ネットワークデータリソース。組織内の人、部署、チーム、プリンタ、その他の類似のリソースのエントリ用。(2) ファイルが含まれるディスク管理の一般的な用語。通常はフォルダとして見えています。

ディレクトリサービス

ディレクトリにアクセスする方法を格納して、整理、供給するソフトウェア。Windows のサーバーでは、アクティブディレクトリが 最も一般的なディレクトリサービスです。OS X servers では、オープンディレクトリが一般的です。両方とも LDAP で実行されます。

ディレクトリサービスマッピング

ディレクトリサービスのグループ/ユーザーアカウントと、Portfolioユーザーアカウント間を関連づけすること。

データベース

様々な方法でアクセスが可能な、体系化されたデータセット。Portfolio カタログは、デジタルアセットを簡単に識別するためにデザ インされた、特定のフィールドを持つデータベースです。

-テ-

テンプレート

新しいものを作成する際に、よく使うデザイン、パターン、スタイル等を共有するために、あらかじめある程度のデザインやレイアウトがされたもの。NetPublishでは、カタログコンテンツの配信方法が保存された様々なウェブサイトの種類をテンプレートとして提

供しています。Portfolio デスクトップクライアントでは、カタログレイアウト(フィールド、メタデータマッピング、マスターキー ワードリスト等)を新規カタログタイプまたはテンプレートとして保存できます。

-ド-

ドキュメント (文書)

個人やグループの考えをまとめたコンピュータファイル。一般的には主にテキストからなるファイルを指して使われますが、写真や画 像、ビデオ、オーディオファイルを指すこともあります(「ドキュメント」という用語自体は古い歴史があるため、デジタルコンテン ツを指す場合にも様々な考え方があります)。

ドメインユーザーアカウント

ネットワークベースの Windows のユーザーアカウント。このアカウントはログインするとすぐにネットワークリソースを利用することができます。ローカルシステムアカウントの項目も参照してください。

ドラッグ&ドロップ

コンピュータマウスを使って、コンテンツを移動(ドラッグ)して、新しい場所で放す(ドロップ)操作。ドラッグ&ドロップはコン テンツによってデータの移動やコピーが行えます。

-ト-

トランスコード

ビデオやオーディオファイルを他のフォーマットに変換すること。

-パ-

パス

ディスク上のファイルやフォルダの位置を示すテキスト。

-バ-

バッチ処理

ー連のプロセスやジョブを手動で行わずに実行すること。Portfolio はカタログアイテムを変換してダウンロード用に用意する作業を バッチ処理します。

バッチ変換

1つの操作で、複数アイテムの変換を行うこと。Portfolio ウェブクライアントに搭載されているバッチ変換機能は、ファイル形式、解 像度、カラーモード、サイズを変換することができます。

パブリックギャラリー

カタログの全メンバーが見ることができるギャラリー。プライベートギャラリーの項目も参照してください。

パレット

他のウィンドウ上にフローティングウィンドウとして表示され、特定の機能やツールにすばやくアクセスできるウィンドウ。Portfolio デスクトップクライアントでは、カテゴリ、マスターキーワード、カタログオプションプリセット、カスタムフィールドへのデータ入 力などのパレットが用意されています。

ビット深度

1 ピクセル内のカラー表現に使われているビット数。8 ビット画像は、1 ピクセルにつき 1 バイトが使われており、256 色の表現が可 能です。24 ビット画像は、1 ピクセルごとに 3 バイトが使われ、それぞれレッド、グリーン、ブルーに割り当てられると、1600 万 色が表現されます。

-7-

ファイアウォール

コンピューアシステムやネットワーク内のアクセスをコントロールするソフトウェア。ファイアウォールは一般的に、ファイアウォー ルの外側にあるシステムやネットワークから、ファイアウォールの内部リソースへのアクセスブロックに使われます。

ファイル

オブジェクトコードのまとまったもの。コンピュータディスク内に、ひとつの名前で保存されているデータ。

フィールド

データベースに記録された一部。フィールドには一般的にアイテムに関連したデータ(例えば数字、日付、テキストなど)を持ちます。

フィルター

他のアプリケーションやプロセスで利用するためにデータを処理するソフトウェアの一部。Portfolio ウェブクライアントではプロパ ティパネルに表示する、検索や並べ替えに利用するフィールドリストをフィルターします。必要なフィールドだけを表示させることが できます。

フィルターされたフィールド

Portfolio ウェブクライアント内のプロパティパネルに表示するカタログフィールドのサブセット。フィルターされたフィールドは、 検索内選択や情報表示にも利用できます。Portfolio ウェブクライアントの各ユーザーは、各自の目的にあったフィールドを選択する ことができます。

フォルダ

ディスク上のファイルやフォルダをまとめておくための入れ物。

フォルダ階層

フォルダ内のフォルダなど、フォルダの配置。通常システムのファイル管理を指します。

-プ-

プライベートギャラリー

作成した人だけが見ることができるギャラリー。他のカタログメンバーは見ることができません。パブリックギャラリーの項目も参照 してください。

フラグ

(v.) アイテムに注意マークを付けること。(n.) アイテムに付けた注意マークのこと。

フラグアイテム

Portfolio ウェブクライアントに付いている整理機能。カタログ内のフラグが付いたアイテムだけを表示します。

プリセット

同じ変換作業を繰り返し実行する場合に、素早く行えるよう変換設定を保存したもの。Portfolio ウェブクライアントでは、ファイル 変換とダウンロード用にプリセットを作成して使うことができます。

プレビュー

(v.) 変更や印刷を行う前に画像やドキュメントを表示すること。(n.) オリジナルファイルを視覚的に認識するために、解像度を下げた りサイズを小さくした画像や、ドキュメントページの画像、ビデオフレームなど。

プロパティ

グラフィックのピクセル情報、PDFのページ数、写真家のコピーライトなど、アイテムに適用されたメタデータや情報。Portfolioウェブクライアントから多くのアイテムプロパティを表示したり、適用したり、編集することができます。

-^°-

ページ

カタログ内や検索結果のアイテムのサブセット。Portfolio ウェブクライアントでは、メインウィンドウにカタログアイテムの一定数 が表示されます。もし検索結果がメインウィンドウに表示できる数を超えるアイテムを持つ場合は、アイテムは複数のページに表示さ れます。

-ポ-

ポート

入ってくるデータを受け取るアプリケーションを決定するサーバーでのアドレスとして使われる数字。Portfolio Server はコンポーネ ント間のコミュニケーションに複数のポートを使用します。

ポストスクリプト (PostScript)

Adobe が開発したページ記述言語。デバイスに依存しない、ページ内のレイアウトやテキスト、グラフィックを記述する方法。 PostScript は Adobe Illustrator や PDF ドキュメントのベースになっています。

-ボ-

ボリューム

ディスクパーティション。ボリュームはユーザーからはディスクアイコンで見えますが、実際には複数のボリュームに分割されたひと つのディスクの場合もあります(ボリュームとディスクはしばしば混在して利用されています)。Portfolio では、アイテムのオリジ ナルファイルが保存されているボリューム名を記録しています。

-マ-

マスターキーワードリスト

カタログ管理者が定めたキーワードの一覧。キーワードを付ける際に、入力していく代わりに、ユーザーはあらかじめ用意されたマス ターキーワードリストから選択することができます。カタログ全体のキーワードの一貫性を保つことができます。キーワードの項目も 参照してください。

マッピング

あるデータセットを、別のセットに関連づけること。Portfolio にファイルを読み込む際に、特定のメタデータ情報をどのフィールド に取り込むのかを設定できます。どのメタデータがどのフィールドに格納されるかは、メタデータマッピングによって決定されます。

マルチスレッド

複数のコードが別々のプロセッサやコア上で同時に実行できるように書かれたコンピュータコード。マルチスレッドは、プログラムが より速く効率的に処理されます。Portfolio Server はマルチスレッド処理を実行するので、複数のプロセッサやシステム (NetMediaMAX 使用時)で、1つの重いタスクを分割することができます。

メタデータ

データについてのデータ。メタデータは、著作者名や文字数、場所、写真の撮影者、キーワードなどファイルの内容をあらわす情報。 メタデータは分類やデータの識別、アセットの置き場所などを決める際に重要なツールになります。

メディア

(1) オーディオやビデオファイルなどのように、一般的には時間軸のあるファイル。 (2) 独立した形をした、データが実際に格納されるコンピュータ記憶装置。例えば DVD ディスクなど。

メディアエンジン

Portfolio Server が多くの種類のファイル処理を依頼するハードウェア、ソフトウェアの組合せ。変換作業を速く行うために Portfolio Server は内部にメディアエンジンを持っています。また、大規模な処理を実行する場合は、1 つまたは複数の他のシステム上で動くメディアエンジンで処理を分散させることもできます。

メンバー

カタログへのアクセスを許可された Portfolio アカウントユーザー。

-ユ-

ユーザー

Portfolio Server にアカウントを持ち、アセットやカタログにアクセスできる人。

ユーザーアカウント

Portfolio システム内に保存されている、ログイン証明書(ユーザー名とパスワード)とユーザーに関連した情報

-ル-

ルート (root)

(1) ディレクトリ構造の一番上。(2)システムの全権限を持つユーザー。

ルート証明書

ルート証明機関を特定するサインがない公開鍵証明書または自己署名された証明書。

-ロ-

ローカルシステムアカウント

単独システムで利用するユーザーのための Windows アカウント。このアカウントはネットワークリソースへのアクセスが自動的には 適用されません。ドメインユーザーアカウントの項目も参照してください。

-ワ-

ワークフォルダ

(1) ワールドワイドウェブ上にコンテンツを配信するため、またはローカルイントラネット上にウェブスタイルのコンテンツを配信す るためのソフトウェア。Microsoft の Internet Information Services (IIS)や Apache HTTP Server (Apache) など。 (2) ウェブコンテン ツ配信専用のハードウェアシステム。

ワークフロー

制作工程の初めから終わりまでのステップ、またはプロセス。

一時ギャラリー

特定の作業やワークフロー用にアイテムを分類するのに利用できる、一時的なギャラリー。一時ギャラリーは通常のギャラリーとして も保存できます。

-上-

上位フォルダ

指定されたフォルダやファイルが含まれているフォルダ。

-仮-

仮レコード

Portfolio カタログ内で、まだ追加されていないファイル用に確保されたアイテム。

-公-

公開されたカタログ

オンラインでユーザーから利用できる状態のカタログ。

-共-

共有

ネットワークユーザーからアクセス可能なファイルが含まれたもの(フォルダやボリューム)。通常はボリュームとして表示されます。

-同-

同期

Portfolio カタログに登録済みのファイルが変更された際に、その変更を反映させる処理。例えば、Adobe Bridge を使って、すでにカ タログに追加されている InDesign ファイルにキーワードを追加した場合、カタログを同期して、新しいキーワードがカタログアイテ ムに追加されるようにします。

名前空間

ー組の名前のためのコンテナ。コンテナ内の名前は重複しませんが、他の名前空間内にある場合もあります。同じ名前の他の名前空間と区別するために、名前空間の名称には、通常名前空間識別子も含まれます。Portfolio Server 内の名前空間には、例えば IPTC のような様々なメタデータによって使われています。

-圧-

圧縮

ファイルサイズを減らしたり、転送時間を短くする目的で、使用されるビット総数を減らすためにファイルなどのデジタル情報をコード化する方法。多くの画像、ビデオ、オーディオフォーマットでは圧縮を利用しています。ZIPの項目も参照してください。

-埋-

埋め込み

他のファイルの中にオブジェクトを含めること。例えばフォントや画像などの構成要素を含む、自己完結型ドキュメントなどで利用します。ファイルにメタデータを追加する場合にも埋め込むと言います。

-変-

変換

ファイルフォーマットを他のフォーマットに変更すること。

-抽-

抽出

個別に認識が可能です。Portfolioでは、ファイルからメタデータを抽出して、アイテムが登録されたカタログのフィールドにそれぞれのメタデータを取り込むことができます。

-拡-

拡張子

ファイル名の最後に付く、ピリオドで始まる文字列。ファイル形式を表します。例えば.DOC(Microsoft Word ドキュメント)、JPG (JPEG 圧縮形式)、.INDD(Adobe InDesign ドキュメント)など。

拡張性

増大する仕事量にあわせて、または成長にあわせて拡張できるシステム。

画面プレビュー

ファイルがカタログに登録される際に、Portfolioが自動的に作成する低解像度画像。ファイルサイズが小さくなるため、オリジナル ファイルを開くより素早く内容を確認することができます。

-発-

発行者

カタログ内のアセットに対して行える作業を決定するアクセスレベル。発行者はギャラリーの作成、カタログのヘアイテムの追加や削除が行えます。

-監-

監視フォルダ

同期フォルダ。オートシンクフォルダ。Portfolio デスクトップクライアントで監視フォルダを設定できますが、ウェブクライアント からも使うことができます。

-管-

管理者

コンピュータハードウェアやソフトウェアシステムの設定を行うことができる人。アドミニストレータ。サーバー管理者、カタログ 管理者の項目も参照してください。

-編-

編集者

カタログ内のアセットに対して行える作業を決定するアクセスレベル。編集者はアイテムのメタデータを編集することができますが、 カタログへの追加や削除はできません。

-自-

自動化

システムが途中の操作無く一連の仕事を実行すること。Portfolio ウェブクライアントでは、スマートギャラリーを使ったファイルの 自動検索、変換プリセットを使ったファイル変換とダウンロードの自動化、NetMediaMAX を使った自動化スクリプトの実行などが可 能です。

解像度

(1) 画像やデバイスの縦横のピクセル数。例:HDTV の解像度は 1920×1080 ピクセルです。 (2) 画像やデバイスの画素密度(一般的 には dpi (dot per inch)、または ppi (pixel per inch))。例:レーザープリンタは 600 dpi の解像度を持っています。

-認-

認証機関

証明書に署名した名前が公開鍵を所有していることを保証するデジタル証明書をを交付する団体(例えば VeriSign)。Portfolio Server とウェブクライアントの間で暗号化されたコミュニケーションを許可するために、Portfolio Server でカスタムメイドの証明書を使う ことができます。SSL の項目も参照してください。

-読-

読み出しのみ

(1) パブリックギャラリーは、作成した人以外のユーザーは編集することができません。(2) 閲覧のみのアクセス権限のユーザーは、 アイテムを見ることはできますが変更や置き換えはできません。ディスク上の場所(読み出しのみになっているかもしれないファイル やフォルダ、ディスク全体)や、データベース内の記録やフィールドを参照することはできます。

-透-

透かし (ウォーターマーク)

(n.) オリジナル画像上に適用される目に見える画像やパターン。透かしは、著作権や所有者が誰かということを明示します。また画像の無許可の使用を阻止します。 (v.) オリジナル画像に透かし画像を適用すること。Portfolio はダウンロードした画像に透かし画像を 追加することもできます。

-閲-

閲覧者

カタログ内のアセットに対して行える作業を決定するアクセスレベル。閲覧者は、カタログ内のアイテムを見ることしかできない権限 です。



Extensis

1800 SW First Avenue, Suite 500 Portland, OR 97201 電話 (無料): (800) 796-9798 電話: (503) 274-2020 Fax: (503) 274-0530 Web: http://www.extensis.com

Extensis ヨーロッパ

Suite 18, Newton House Kings Park Road, Moulton Park Northampton NN3 6LG, United Kingdom 電話: +44 (0)1604 654 270 Fax: +44 (0)1604 654 268 Email: info@extensis.co.uk

カスタマーサービス

Web: http://www.extensis.com/customerservice/ パッケージ内の案内をご覧ください。

もしくは国内販売代理店までお問い合わせください。

技術サポート

技術サポートにご連絡いただく場合は、次の情報をご用意ください。

- お客様のシリアル番号
- お客様のコンピュータの設定(オペレーティングシステム、メモリ、ハードディスクドライブ、コンフィギュレーションなど)
- ご質問、または問題の説明(何がどういうときに起こったのかを具体的に)
- 電話番号(担当者からお客様への電話を希望される場合)

さらに、表示されたエラー番号またはメッセージおよび、関連するかもしれないと思われるその他の情報を書き留めておいてください。 よくある質問とその答え、トラブルシューティングのヒントについては、次のアドレスから Extensis の Web サイトをご利用ください。 http://www.extensis.com/

電話によるサポート

北米では、(503) 274-7030 にご連絡ください。 ヨーロッパでは、+44(0) 1604-654-270 にご連絡ください。 日本国内では、製品パッケージに同梱されている案内をご覧ください。

索引

A

Access Levels command, 18 asset processing log, 55

С

catalog using a MySQL Mac data source as a catalog, 86 Catalogs command, 18 CMYK, 138 commands Access Level, 18 Catalogs, 18 Directory Services, 18 Global settings, 19 Licenses, 18

Media Engines, 18 Ports, 18 Status, 17 Users, 18 connected users, 17

D

data source creating in MySQL Mac, 85 using a MySQL Mac data source as a catalog, 86 database creating in MySQL Mac, 83 DBA ツール, 92 SQL クエリーの実行, 94 データベースとの接続,92 データベースバージョンのアップグ レード,93 トラブルシューティング,94 起動,92 deleting a license, 20 Directory Services command, 18 DSN creating in MySQL Mac, 85

using a MySQL mac data source as a catalog, 86

E

Enterprise Module インストール, 78 最適化, 77 Enterprise モジュール, 77 extensis.admin.log, 55 extensis.server.log, 55 Extensis のお問い合わせ先, 155

F

file formats, 7 G

Global Settings command, 19

Η

help, 17 HTTPS, 25

ISO Coated, 138

J

I

JBoss AJP, 24 JBoss HTTP/ウェブサービスのポート, 22 JBoss ウェブサービス, 24 jetty.log, 55 Jetty ウェブアプリケーションのポート, 22 JMX プール済みポート, 24

L

language changing Server Admin display, 16 LDAP, 41 license removing, 20 Licenses command, 18 local.properties, 138 logout, 17

М

maximum users, 17 Media Engine version, 17 media engines 整合性,71 Media Engines command, 18 media generator log, 55 MediaRich 組み込みサーバーのポート, 24 MediaScripts 開発,72 組み込み.73 有効化,72 media-scripts.xml, 73 menu. 17 Microsoft SQL Server, 90 MySQL Mac, 78, 81 creating a database, 83 creating an ODBC data source, 85 database user permissions, 84 カタログの作成,82 サーバーインスタンスの作成,81 ダウンロード,79 ユーザーアカウントの作成,81 MySQL Server ダウンロード, 79 MySQL Windows, 86 DSN の作成, 89 MyODBC のインストール,88 MySQL server インストール, 87 データベースの作成,88 MySQL Workbench ダウンロード, 79 Ν

NetMediaMAX, 64

NetPublish, 64

Portfolio Media Engines, 65 インストール概要, 68 ウェブクライアント, 64 システム必要条件, 69 ネットワークアクセス, 69 活用事例, 66

0

ODBC /Connector ダウンロード, 79 ODBC Administrator ダウンロード, 79 ODBC ドライバ, 91 Oracle, 90

Р

Portfolio Enterprise モジュール, 77 Portfolio Server Admin ウェブインター フェイス, 15 Portfolio Server の起動, 21 Portfolio Server の再起動, 21 Portfolio Server の停止, 21 Portfolio version, 17 Ports command, 18

Q

QuickFind 検索パラメータの設定, 60

R

removing a license, 20 RMI ネーミングサービス, 24

S

script errors log, 55 SQL Connect インストール, 78 SQL server 最適化, 77 SQL データベース 公開, 91 SQL データベースアップデート, 93 SQL データベースのアップデート, 93 SQL データベース管理ツール, 92 SSL, 25 Status command, 17

Т

TextWrangler ダウンロード, 79 transferring a license, 20

U

uninstalling Portfolio Server, 11 user connections current, 17 maximum, 17 user permissions MySQL Mac database, 84 Users command, 18

V

version Media Engine, 17 Portfolio, 17

W

Windows 認証, 57 設定ファイル, 57

あ

アクセスレベル, 39, 40 アクティブディレクトリ, 41

い

インストール Portfolio Server, 10 インストール概要, 9 NetMediaMAX, 68

う

ウェブクライアント, 59 アクセスレベル, 39 管理, 59

お

オートシンク, 48, 51 フォルダの設定, 51 新規フォルダの作成, 49 停止, 52 オープンディレクトリ, 41 か

カスタマーサービス,155 カスタムフィールド,48 カタログ MySQL Mac での作成,82 カスタマイズ,48 バックアップ,53 ユーザーメンバシップ, 38, 41 新規作成, 32 カタログのバックアップ,53 カタログのメンバシップ,41 カタログの管理,48 カタログの種類.34 カスタム作成,35 カタログへのメンバシップ.38 カタログ管理者のアクセルレベル,39 カタログ作成,32 カタログ作成オプション,48 カラープロファイル,138

さ

サーバー 起動, 21 再起動, 21 停止, 21 サーバーインスタンス MySQL Mac での作成, 81 サーバー管理ウェブインターフェイス, 15

ι

システムの必要条件 Portfolio Server, 10 システム必要条件 NetMediaMAX, 69

す

スクリプト 開発,73 作成と組み込み,73 有効化,72 スクリプトの組み込み,73

せ

セールス, 155 セキュリティ認証, 25

た

ダウンロード MySQL Mac, 79

τ

ディレクトリサービス, 41 デスクトップクライアント アクセスレベル, 40 デフォルト表示, 59

な

ナビゲート,17

ね

ネイティブのサーバーコンポーネントの ポート,22 ネットワークアクセス NetMediaMAX,69

は

パスワードの変更 管理者,19

ふ

ブートストラップ JNP サーバーバイン ドアドレス, 24 ブラウザウィンドウ, 17 プレビュー, 33 カタログ登録済みファイルのプレビ ュー作成, 34 画面プレビューの有効化, 33

ほ

ポート,21

メディアエンジン, 70 外部, 22 競合, 24 内部, 24

ま

マスタキーリスト,48 マニュアルへのご意見,155

め

メインウィンドウ,17
メディアエンジン
ネットワークアクセス,69
ポート,70
外部エンジンのインストール,69
外部エンジンの設定,70
再起動,75
メディアエンジンの再起動,75

ゆ

 ユーザー
 アクセスレベル, 39, 40 カタログへの追加, 38 削除, 41 追加, 37 編集, 41
 ユーザーアカウント MySQL Mac での作成, 81
 ユーザーの管理 カタログメンバシップ, 38
 ユーザーの削除, 41

5

ライセンス入力 Portfolio Server, 19 ライセンス番号, 19

ŋ

リスナーIP, 57

ろ ログ,55 データベースイベント,58 ログカテゴリ,57

漢字

閲覧者のアクセスレベル,39 画面プレビュー, 33 有効化,33 外部メディアエンジン,69 Portfolio Server との組み合わせ,70 整合性,71 管理 Portfolio Server Admin ウェブイン ターフェイス,15 企業セールス,155 共有 マウント,51 共有のマウント,51 権限 ウェブクライアント,39 デスクトップクライアント,40 最谪化 Enterprise Module, 77 使い方,17 新機能,7 設定ファイル.57 IP アドレスの指定,58 Windows 認証, 57 データベースイベント,58 認証,41 発行者のアクセスレベル,39 必要条件,10 編集者のアクセスレベル,39 例 NetMediaMAX. 66